



セントラル マネージメント システム

CMS

取扱説明書

2011年11月



免責事項

品質、性能、商品としての適格性の保証や特定目的への適合性を含め、本書の内容に関して、明示または黙示を問わずいかなる保証もいたしません。本書の内容は、その信頼性に関して慎重に確認されていますが、誤りに関する責任は保証しません。本書の情報は、予告なく変更することがあります。

本製品や文書を使用した結果または適切に使用することができなかった結果、直接的または間接的に発生した出来事や損害に関して、そのような損害が発生する可能性があることが通知されている場合であっても、AVerMedia では、一切責任を負いません。

商標

「AVer」は AVer Information Inc. が所有する商標です。本書で使用されるその他の商標は、それぞれの会社にもみ属します。

著作権

©2011 AVer Information Inc. All rights reserved.

本書のいかなる部分もアバー・インフォメーション株式会社の書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、またいかなる手段によってもコピーまたは転送することができません。製品の特性、仕様、アクセサリおよび本書で触れたその他の情報は、予告なしに変更されることがあります。本書に含まれる情報とそれに関する公式書類に含まれる情報に相違がある場合、かかる情報の公式書類を優先するものとします。

本書で使用する記号

本書では、以下の記号が使用されています。



この注意記号は、使用者に重要な取り付け指示や使用指示に関して注意を促すために使用します。指示に従わなかった場合、システムにダメージを与えることがあります。



この情報記号は、指示を明確にする追加情報を提供するために使用します。

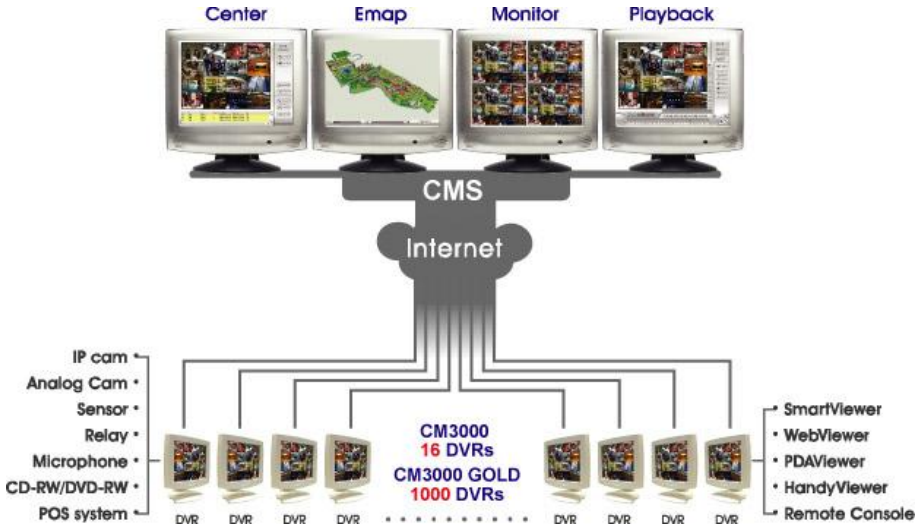
目次

第 1 章	はじめに	1
1.1	CMS GOLD バージョンへのアップグレード.....	2
1.2	デュアル モニタの設定.....	3
1.2.1	ATi チップセットのグラフィックカード.....	3
1.2.2	NVIDIA チップセットのグラフィックカード.....	6
第 2 章	ソフトウェアのインストール	7
2.1	最低システム要件.....	7
2.2	CM3000 ソフトウェアの Windows XP/VISTA/ 7 へのインストール.....	8
第 3 章	CMS を使用するには	9
3.1	CMS ソフトウェアの起動.....	9
3.1.1	仮想キーボードを使用する.....	9
3.2	CMS アプリケーションを使用するには.....	10
3.2	モニタを使用するには.....	13
3.3.1	モニタコントローラーを使用するには.....	14
3.3.1.1	iMatrix サーバーから CMS サーバをモニタするには.....	20
3.3.2	PTZ カメラコントロールパネルのボタン操作に慣れる.....	22
3.3.3	録画済みビデオの再生.....	23
3.3.4	モニタに GPS データを表示する.....	25
3.4	Minisenter ビューアを使用するには.....	30
3.4.1	リモートバックアップ.....	32
3.4.2	リモート設定.....	34
3.4.2.1	システムの設定.....	34
3.4.2.2	Camera Setting (カメラの設定).....	38
3.4.2.3	録画の設定.....	39
3.4.2.4	ネットワークの設定.....	41
3.4.2.5	スケジュールの設定.....	43
3.4.2.6	アラームの設定.....	45
3.5	アラームセンターを使用するには.....	50
3.5.1	ライブアラームイベントの管理.....	50
3.5.2	アラームイベントの検索.....	53
3.5.3	アラーム情報のナビゲート.....	57
第 4 章	CMS システムのカスタム化	59
4.1	システム設定.....	60

4.1.1	Google API キーを適用する方法	66
4.2	DVR の設定	68
4.2.1	DVR サーバーの追加と取外し	68
4.3	カメラ の設定	70
4.4	スケジュール の設定	75
4.4.1	ある時間内の特定部分のスケジュール設定	76
4.5	バックアップ の設定	77
4.6	E-マップ の設定	79
4.6.1	E-マップの設定	79
4.6.1.1	新しいマップの追加	81
4.6.1.2	DVR サーバーの追加	83
4.6.1.3	E-マップを使用するには	85
4.7	アラームの設定	88
4.7.1	アラーム条件の設定	88
4.7.1.1	呼び出しリストの設定	90
4.7.1.2	Eメール送信の設定	91
4.7.1.3	アラーム音の設定	92
4.7.1.4	プログラムの起動	92
4.7.1.5	MMS/SMS の設定	93
4.7.1.6	ポップアップ ビデオ	94
4.8	ユーザー設定	96
第 5 章	再生機能を使用するには	97
5.1	ビデオの再生	97
5.2	ローカル再生アプリケーションを使用するには	100
5.3	ダウンロードと再生アプリケーションを使用するには	103
5.4	リアルタイム再生アプリケーションを使用するには	105
5.5	録画済みビデオで希望の部分を切り取って保存	107
5.6	ビデオの部分をブックマークするには	107
5.7	ビジュアルサーチを使用して検索	108
5.8	イベントサーチを使用して検索	109
5.9	インテリジェントサーチを使用して検索	110

第1章 はじめに

AVer™ CM3000 は、インターネットを利用して最大 1000 台(GOLD バージョンへのアップグレード方法は [第 1.1 章](#) をご参照ください)の DVR サーバーまで対応可能な中央監視システムです。DVR プログラムのように、CMS システムは DVR サーバーを設置した離れた場所でもイベントが発生したときにも、自動的にビデオの録画・表示を実行します。また、ビデオファイルを部分的に再生したり、離れた場所に設置した DVR サーバーからダウンロードしたりすることもできます。



CMS システムは、1台から 4 台までのモニタのディスプレイに対応します。ユーザーは、それぞれ異なるモニタで CMS システムアプリケーションを操作することができます。



1.1 CMS GOLD バージョンへのアップグレード

CMS は、USB ソフトウェアライセンス(USB ドングル)を取り付けることによってアップグレードできます。USB ドングル取り付けると、CMS は最大 1000 台までリモート DVR サーバーをモニタすることができます。USB ドングルは、ユーザーの希望に合わせて 3 タイプの中から選ぶことができます。

1 ~ 64 クライアント(DVR)

65 ~ 150 クライアント(DVR)

151 ~ 1000 クライアント(DVR)



USB ドングルを取り付けずに使用した場合、CMS は 16 台の DVR のモニタのみが可能ですが、いくつかの機能は利用できません。

CMS のアップグレードについては、下記の手順に従って実施してください。

1. CMS アプリケーションを起動します。
2. USB ドングルを CMS サーバーに差し込みます。
3. CMS システムは自動的に検知して、ドライバをインストールするダイアログがポップアップ表示されます。**OK** をクリックすると、ドライバがインストールされます。
4. ドライバを後でインストールすることもでき、その場合は USB ドングルを取り外します。ドライバをインストールする際に、再度 USB ドングルを差し込みます。
5. インストールが完了した後で、CMS システムは自動的に再起動します。
6. DVR アプリケーションの動作中には、USB ドングルを絶対に**取り外さないでください**。アプリケーションの異常発生の原因になることがあります。

1.2 デュアル モニタの設定

VGA チップセットの種類によってビデオ構成が異なります。デュアルモニタディスプレイの設定方法については、下記の手順に従ってください。

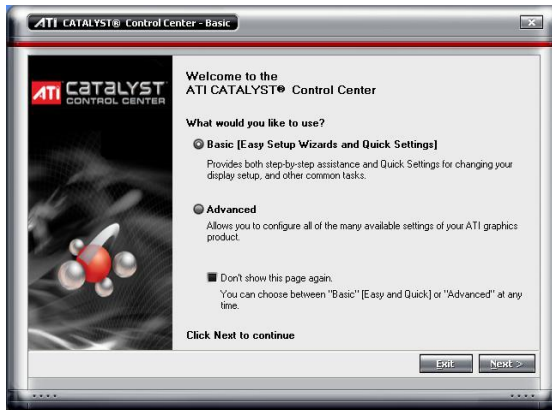
CMS アプリケーションは 1280 x 800、1024 x 768、1280 x 1024、1440 x 900、1680 x 1050、1920 x 1080、1920 x 1200 の解像度をサポートします。

1.2.1 ATi チップセットのグラフィックカード

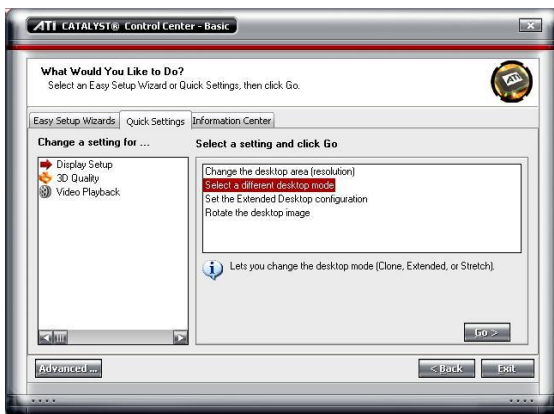
1. ATI Catalyst Control Center (ATI Catalyst コントロールセンター) に入ります。ユーザーは、スクリーン上のショートカットまたは右クリックで表示させることができます。



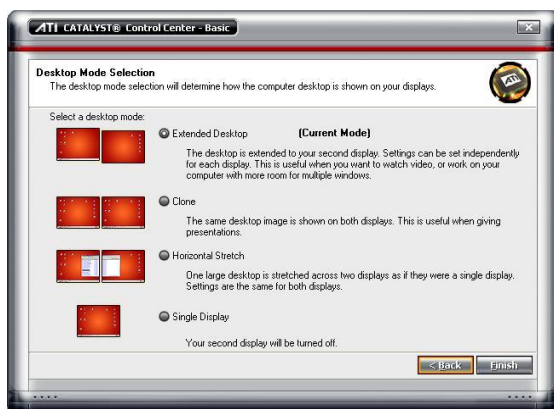
2. Basic (ベーシック) と Advanced (アドバンスド) の 2 つのモードから選択することができます。



3. ベーシックモードを選択した場合、**Quick Settings (クイック設定)** タブをクリックします。それから、**Select a different desktop mode (別のデスクトップモード選択)** を選択し、**Go (進む)** をクリックします。



4. **Extended Desktop (拡張デスクトップ)** を選択し、**Finish (完了)** をクリックします。



5. アドバンスドモードを選択した場合、**View (表示)** ボタンをクリックします。

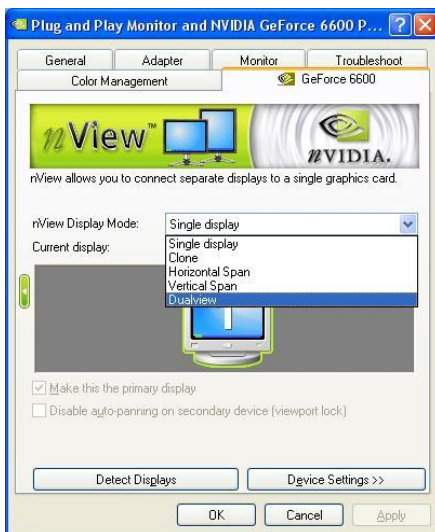
6. Display Manager (ディスプレイマネージャー) の右側に表示されているディスプレイの 2 を右クリックし、Extend Main onto monitor (モニタ上にメインを拡張) を選択します。



7. 各モニタの解像度を 1280 x 800、1024 x 768、1280 x 1024、1440 x 900、1680 x 1050、1920 x 1080、1920 x 1200 に調整します。

1.2.2 NVIDIA チップセットのグラフィックカード

1. NVIDIA nView (NVIDIA n ビュー) をクリックして、**Dualview (デュアルビュー)** モードを選択します。
2. 各モニタの解像度を 1280 x 800、1024 x 768、1280 x 1024、1440 x 900、1680 x 1050、1920 x 1080、1920 x 1200 に調整します。



3. ディスプレイモードが正しいかは、タスクバーの表示で確認できます。タスクバーは、モニタ1でのみ表示されます。



モニタ 1

モニタ 2

第2章 ソフトウェアのインストール

本章では、CM3000 ソフトウェアのインストール方法について説明しています。



ソフトウェアをインストールする前に、Windows OS とビデオグラフィックカードのドライバが最新版であることを確認してください。



CM3000 ソフトウェアが最新版であることを確認し、最新版でない場合は以下のサイトからダウンロードしてください。

ワールドワイド:

<http://surveillance.aver.com/download-center>

アメリカ / カナダ:

<http://www.averusa.com/surveillance/> → サポートをクリック → ダウンロード

2.1 最低システム要件

最初に、お使いのコンピューターが以下の最低システム要件を満たしているかご確認ください。

GPU	Pentium® 4 3.0GHz または、それ以上を推奨
OS	Windows XP Professional 32 bit / 7 32 ビット 及び 64 ビット
RAM	デュアルディスプレイ(2 台) 512MB、クワッドディスプレイ(4 台) 1GB
ハードディスク	120GB または、それ以上
メディア	CD-ROM ドライブ
VGA	256MB ビデオメモリ搭載 32 ビット ハイカラー SVGA グラフィックカード および DirectDraw® / YUV レンダリング対応
オーディオ	サウンドカード と スピーカー
インターネット	10/100 Base-T イーサネットカード または、ギガビット イーサネットカード

2.2 CM3000 ソフトウェアの Windows XP/VISTA/ 7 へのインストール

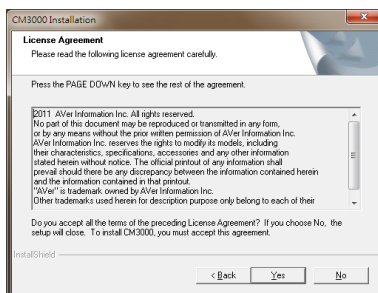


同じコンピュータに CMS アプリケーション、NV DVR アプリケーション、MXR クライアントソフトウェアを同時にインストールしないでください。

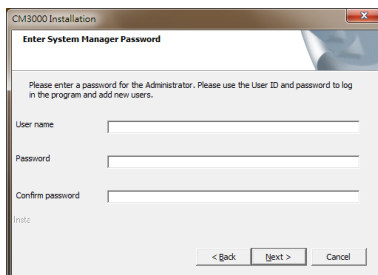
1. CD-ROM ドライブに CD をセットして、**Install CM3000 (CM3000 をインストール)** をクリックします。画面に表示される指示に従ってください。



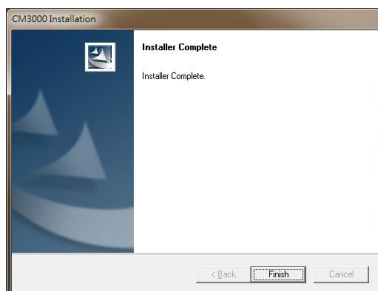
2. ライセンス同意書をよく読み、条項にすべて同意したら、**Yes (同意する)** をクリックしてください。



3. 管理者用 ID とパスワードを入力してください。



4. **Finish (完了)** をクリックしてください。



5. CMS プログラムを起動するには、デスクトップ上の  アイコンをクリックするか、または **Start (スタート) > Programs (プログラム) > CMS > CMS > CM3000** の順にクリックします。

第3章 CMSを使用するには


3.1 CMS ソフトウェアの起動

アプリケーションを起動するには、デスクトップ上の  アイコンをダブルクリックするか、または **Start (スタート) > Programs (プログラム) > CMS > CMS > CM3000** の順にクリックします。

セキュリティを確保するため、アクセスするまでにいくつかの場面で User ID (ユーザーID) と Password (パスワード) の入力を求められます。Authorization (認証) ダイアログボックスが表示されたら、ユーザーID とパスワードを入力してください。(初めて入力する場合、ソフトウェアをインストールする際に登録したユーザーID とパスワードを入力してください。)



3.1.1 仮想キーボードを使用する

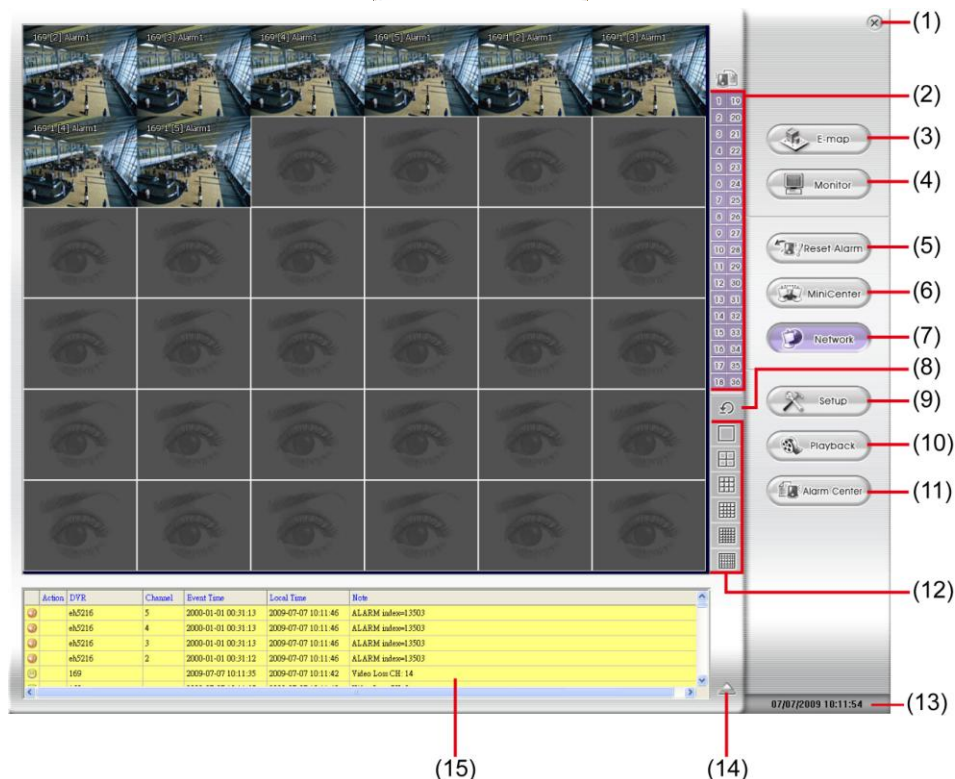
外付けのキーボードがない場合、仮想キーボードの使用ができます。  をクリックすると、仮想キーボードが表示されます。Shift キーで大文字と小文字の切り替ができます。



3.2 CMS アプリケーションを使用するには

DVR サーバーでアラームが起動すると、ビデオ画像が CMS とメインスクリーン上のディスプレイに送信されます。ビデオ画像は、約 3 秒間送信されます。送信されたビデオは画像またはライブビデオのどちらかです。**System setting (システム設定)** でビデオ送信のタイプを選択できます(第 4.1 章も参照)。イベントログをクリックすることによって、DVR サーバーからすべてのビデオ画像を直接ダウンロードし再生することができます。**アラームが起動した時に、ビデオ画像が CMS に送信されるようにメイン DVR サーバーが設定されていることを予め確認しておいてください。**

目の前のビデオストリームには、最新の事象が表示されます。また、最新の事象が表示されている画像には、赤色のフレームで縁取りがされています。



アラームライブビデオモードの CMS センター

名称	機能
(1) 終了	<p>Logout (ログアウト) ダイアログボックスを表示します。</p> <p>Logout (ログアウト) ダイアログボックスに、下記のように入力します。:</p>
	<div data-bbox="311 199 733 363" data-label="Image"> </div> <p>-CMS プログラムを終了する場合は、Exit (終了) をクリックします。管理者のみに、このコマンドを実行することが認められています。</p> <p>-違うユーザーでログインする場合は、Login (ログイン) をクリックします。</p> <p>- CM3000 をタスクボタンに最小化する場合は、Minimize (最小化) をクリックします。この際、認証が必要になりますので、パスワードを入力します。</p> <p>-Logout (ログアウト) ダイアログボックスを閉じる場合は、Cancel (キャンセル) をクリックします。</p> <p>-ソフトウェアや CMS アプリケーションの詳細情報を表示する場合は、About (説明) をクリックします。</p> <p>-最新の CM3000 アプリケーションにアップグレードする場合は、登録画面にある Update (更新) をクリックします。詳細につきましては、最寄りの販売店にお問い合わせください。Live Update (ライブ更新) ウィンドウで、Server Site (サーバーサイト) と Address (アドレス) を選択し Update (更新) をクリックします。</p>
(2) カメラ ID	表示されているカメラの数を表示します。シングル画面モードを開いているとき、カメラ ID 番号をクリックしてカメラを切り替え表示します。この機能は Alarm Live Video (アラームライブビデオ) モードでのみ利用できます。
(3) E-マップ (F3)	マップの表示とマップ上の DVR サーバー位置を表示: シングルモニタの場合、 エスケープキー で CMS メインアプリケーションに戻ることができます。(第 4.6.2 章 も参照)
(4) モニタ (F4)	選択した DVR サーバグループからのライブビデオを表示: シングルモニタの場合、 エスケープキー で CMS メインアプリケーションに戻ることができます。(第 3.3 章 も参照)。
(5) アラーム リセット	すべての DVR アラームステータスをリセットします。
(6) MiniCenter ビューア	MiniCenter ビューアの表示: MiniCenter ビューアは、スクリーンまたはアラームイベントをダブルクリックすることで表示させることができます。(第 3.4 章 も参照)
(7) ネットワーク	リモートアラームデータの受信を有効/無効に設定: CMS ソフトウェアが立ち上がったときは自動的に有効設定されます。
(8) リフレッシュ	画面に表示するアラームビデオをリフレッシュします。この機能は Alarm Live Video (アラームライブビデオ) モードでのみ利用できます。
(9) 設定	CMS システム構成の設定: 管理者のみこのコマンドを実行できます。(第 4 章 も参照)
(10) 再生	ローカルハードディスクまたはリモート DVR サーバーからビデオを再生します。(第 5 章 も参照)。
(11) アラームセンタ	アラームをビュー、検索、ナビゲートします。(第 3.5 章 も参照)。

名称

機能

- (12) 分割画面モード 6つの異なる分割画面タイプから選択して、すべてのカメラを表示します。シングル画面モードでカメラIDをクリックすることで、特定のカメラ番号に切り替えて表示することもできます。この機能は **Alarm Live Video (アラームライブビデオ)** モードでのみ利用できます。
- (13) ステータス 現在の日付と時間を表示します。
- (14) ログ拡張 ログビューアを拡大・縮小します。
- (15) ログビューア すべてのDVRサーバーから得られたイベントモードまたはテキストモードでの情報をリスト表示します。

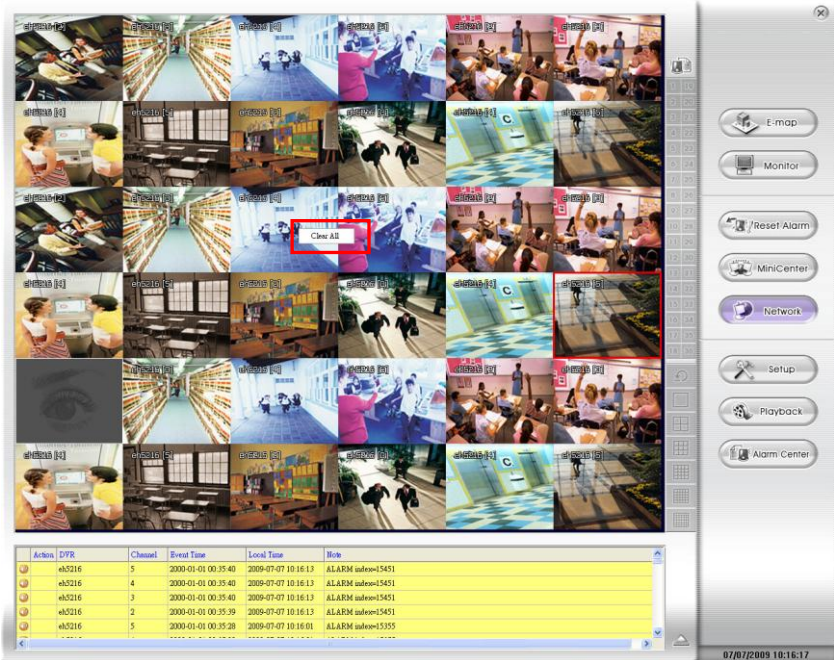


シングルモニタシステムでアプリケーションやディスプレイモードを簡単に切り替えられるように、いくつかのホットキーが設定されています。

- F1: CMS モニタスクリーンに現在の DVR サーバー情報を表示します。
- F3: E-マップモードに切り替えます。
- F4: モニタモードに切り替えます。
- Esc (エスケープ): CMS アプリケーションのメインスクリーンに戻します。



CMS センターの **Alarm Image (アラーム画像)** モードにて、アラーム画像の上に右クリックすると **Clear All (すべて消去)** ショートカットを呼び出すことができます。**Clear All (すべて消去)** を選択すると、現在表示されているアラーム画像が全て消クリアされます。



アラーム画像モードのCMSセンター

3.2 モニタを使用するには

カメラの設定(第4.3章も参照)の中のモニタを設定する際、選択したカメラのライブビデオを表示・再生するには **Monitor (モニタ)** をクリックしてください。モニタは、モニタモードに切り替わります。2 台以上のモニタを使用している場合、すべての有効なモニタがモニタモードに切り替わります。



チャンネルスクリーンを右クリックすることによって、録画の開始を選択できます。




デュアル モニタ スクリーン

モニタインターフェースのボタン機能について、下記に示します。




名称	機能
(1) センター	CM3000 メイン UI(センター UI)に戻ります。
(2) モニタ コントローラー	モニタコントローラーのダイアログボックスを呼び出します。ユーザーはモニタコントローラーのダイアログの中のモニタセットを管理することができます。(第3.3.1章も参照)

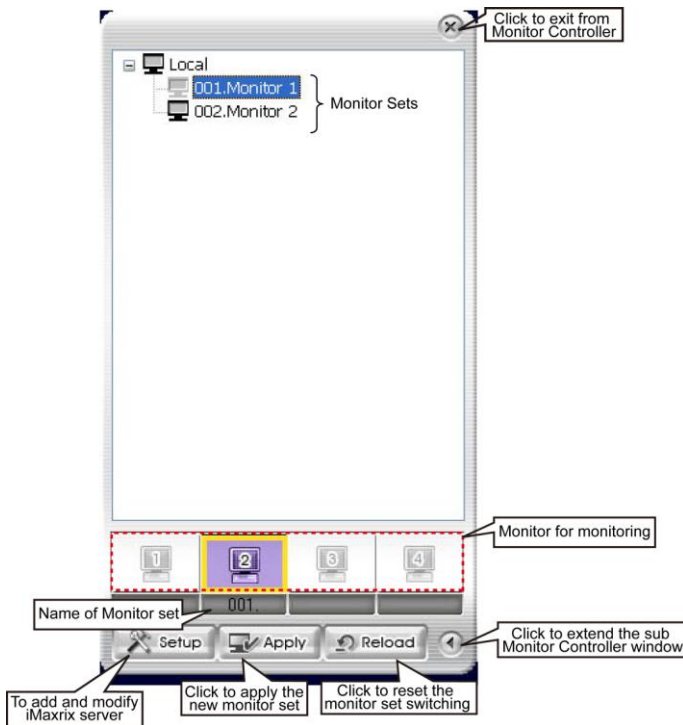
名称	機能
(3) PTZ	PTZコントロールパネルを呼び出します。(第3.3.2章も参照)
(4) オーディオ	オーディオを有効/無効にします。オーディオが有効な場合、スクリーン上にオーディオアイコンが表示され、アイコンをクリックすると緑色  に変わってオーディオが出力されます。オーディオは常に1チャンネルのオーディオのみ出力できます。
(5) モニタ名	現在のモニタセットの名称を表示します。

3.3.1 モニタコントローラーを使用するには

モニタコントローラーを使用することによって、モニタリングするモニタの切り替えやモニタセットのチャンネルの追加・削除ができます。

i モニタコントローラーを使用するには、モニタセットを作成する必要があります。モニタセットを作成するには、**Setup (設定) > Camera (カメラ)**の順にクリックしてください。(第4.3章カメラの設定も参照)

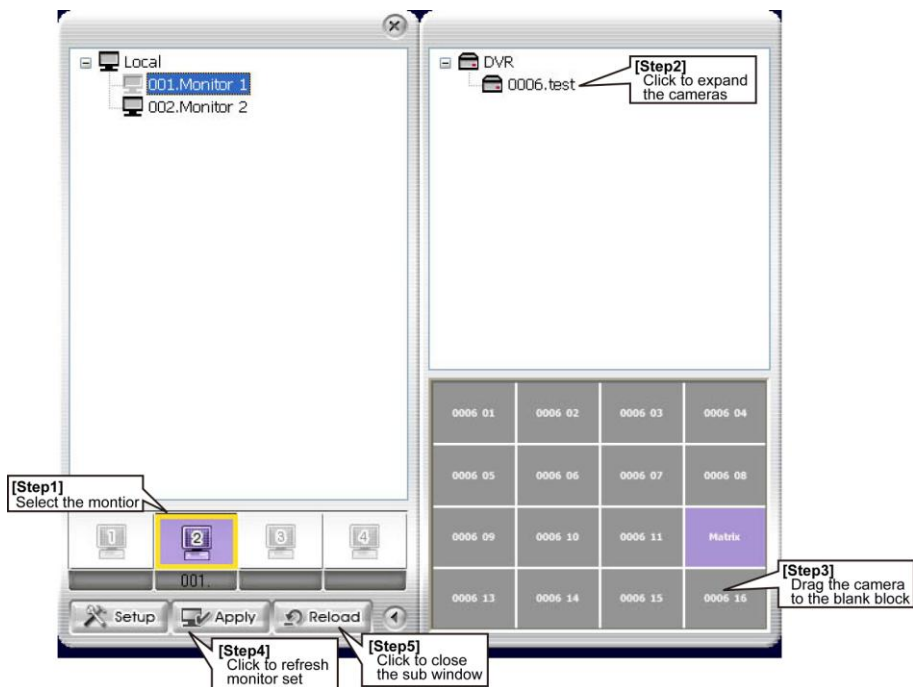
1.  をクリックします。
2. モニタコントローラーのウィンドウが下記のように表示されます。:



- i**
- 選択してモニタできるモニタセットは灰色で表示されます。
 - モニタ 1 ~ 4 でモニタリングしているモニタは紫色で表示されます。
 - モニタを右クリックして **Recover (回復)** を選択すれば、モニタをリセットすることができます。

3. モニタリストからモニタセットを選んでモニタ(1~4)にドラッグし、**Apply (適用)** をクリックすれば、そのモニタセットを有効にできます。モニタリンググループをリセットするには、**Reload (リロード)** をクリックします。
4. モニタリングセットの構成については、矢印ボタンをクリックしてサブモニタコントローラーのウィンドウを開いて確認します。

5. モニタを選んでください。モニタセットの中に含まれている DVR サーバーは、サブモニタコントローラーのウィンドウにリスト表示されます。サブモニタコントローラーのウィンドウの下部に、モニタセットの中でモニタできるすべてのチャンネルが表示されます。
6. 新たにチャンネルを追加するには、有効なカメラを展開表示するため DVR サーバー をクリックします。チャンネル番号と名称が表示されていない空きチャンネルブロックにカメラをドラッグします。
7. モニタしているチャンネルの位置を変更するためには、モニタしているチャンネルを一旦削除してから、新しい位置にチャンネルをドラッグします。モニタセットからチャンネルを削除するには、チャンネルを右クリックしてから **Recover (回復)** を選択します。
8. モニタセットを更新するには、**Apply (適用)** をクリックします。
9. サブモニタコントローラーのウィンドウを閉じるには、矢印ボタンをクリックします。



■ リモートの iMatrix サーバーを追加するには

1つ以上の iMatrix サーバーを追加したり、リモートの iMatrix サーバーに監視されたチャンネルの修正を行ったりすることができます。Delete (削除) と Edit (編集) ボタンをクリックすることによって、iMatrix サーバーの削除および変更を行うことができます。



リモートの iMatrix サーバの場合は、モニタチャンネルの表示および編集のみ操作可能です。モニタチャンネルの追加、削除ができません。

1. モニタコントローラーのダイアログボックスの **Setup (設定)** をクリックします。
2. iMatrix Select ウィンドウが表示されます。

NO	Type	Name	IP/Domain Name	Port	User	Password	Description
01	Local	Local	127.0.0.1	80	1		

3. リモート iMatrix サーバーを追加するには **Add (追加)** ボタンをクリックします。
4. リモート iMatrix サーバーの **Name (名称)**、**IP/Domain Name (IP/ドメイン名)**、**Port (ポート)**、**User (ユーザー)** (ログイン ID)、**Password (パスワード)**、**Description (説明)** をすべて入力します。緊急連絡先の **Contact Information (連絡先情報)** (電話、携帯電話、電子メール、住所、説明) を入力します。Monitor Controller (モニタコントローラー) ウィンドウにチャンネルの画像を表示する場合、**Show Image in Monitor block (モニタブロックに画像を表示)** をマークします (第 3.3.1 章も参照)。
5. 次に、**OK** をクリックして設定を保存します。

Name: []

IP/Domain Name: []

Port: 0

User: []

Password: []

Show Image in Monitor Block

Contact information

Phone: []

Mobile: []

Email: []

Address: []

Description: []

OK Cancel

6. iMatrix は、iMatrix Select ウィンドウの iMatrix リストに追加されます。
7. iMatrix サーバーを切り替えるには、iMatrix サーバーを選んで **Apply (適用)** をクリックします。



1度には選択できるのは1台の iMatrix サーバーのみです。

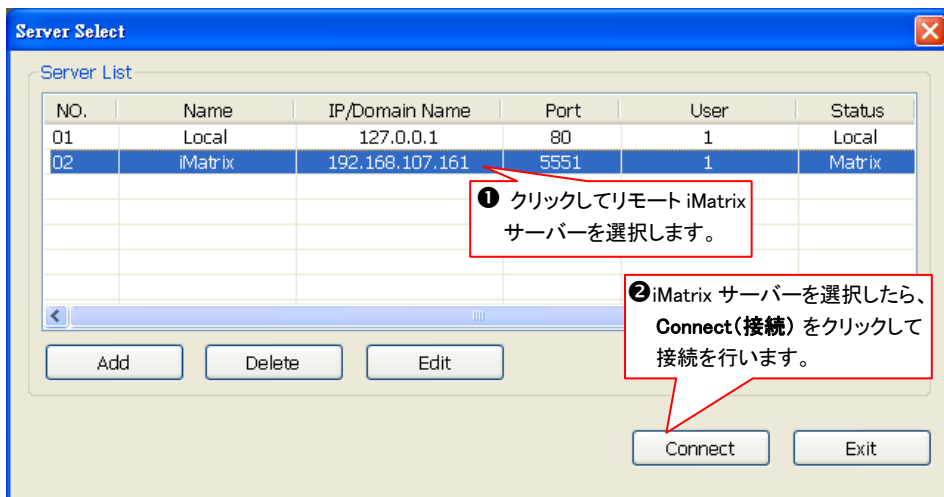
8. iMatrix サーバーを削除するには、iMatrix サーバーを選んで **Delete (削除)** をクリックします。**Edit (編集)** をクリックすれば、修正することができます。

■ **リモートの iMatrix サーバを編集するには**

Monitor Controller (モニタコントローラー) ウィンドウでモニタに設定されたチャンネルの変更ができます。また、変更をリモート iMatrix サーバーに適用できます。

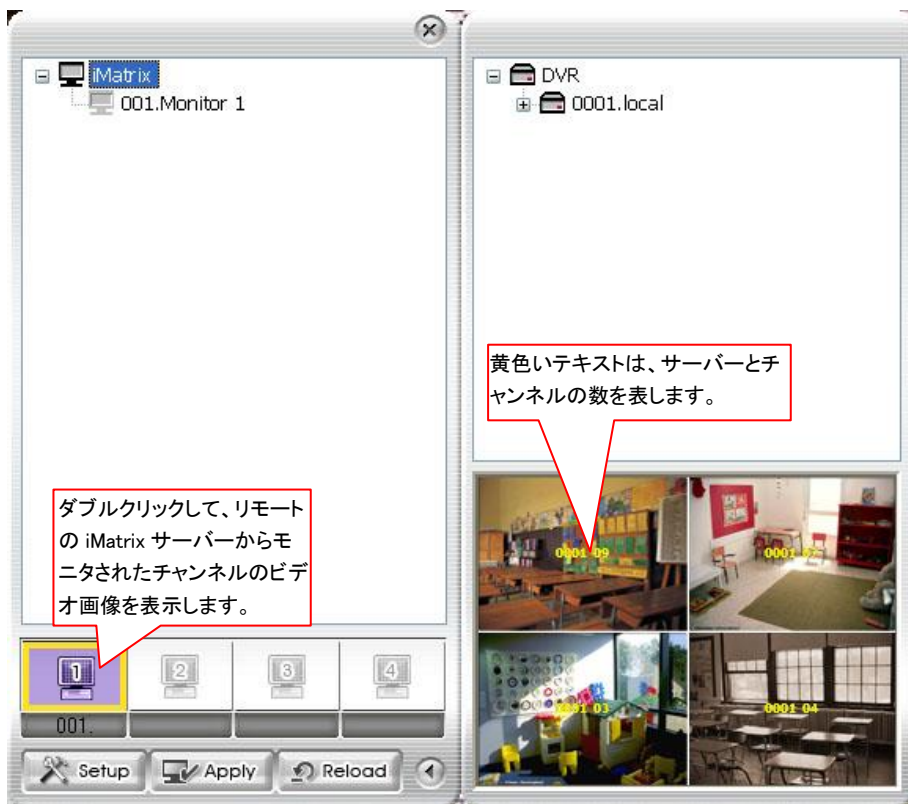
【ステップ 1】リモート iMatrix サーバーを選択します。

1. **Setup (セットアップ)** ボタンをクリックして、Monitor Controller (モニタコントローラ) ウィンドウから **Server Select (サーバー選択)** ウィンドウを呼び出します。
2. **Server Select (サーバー選択)** ウィンドウからリモートの iMaxtrix サーバーを選択します。リモートの iMaxtrix サーバーが追加されていない場合、**Add (追加)** をクリックしてリモートの iMatrix サーバーを追加します(**リモートの iMatrix サーバーを追加するには**も参照)。
3. リモートの iMatrix サーバーを選択したら、**Connect (接続)** をクリックして接続を行います。



【ステップ 2】リモートの iMatrix サーバーからモニタされたチャンネルのビデオ画像を表示するには

1. モニタアイコンをダブルクリックして、リモートの iMatrix サーバーからモニタされたチャンネルのビデオ画像を表示します。
2. sub-Monitor Controller (サブモニタコントローラ) ウィンドウの下部部分に、モニタされたチャンネルディスプレイのビデオ画像が表示されます。



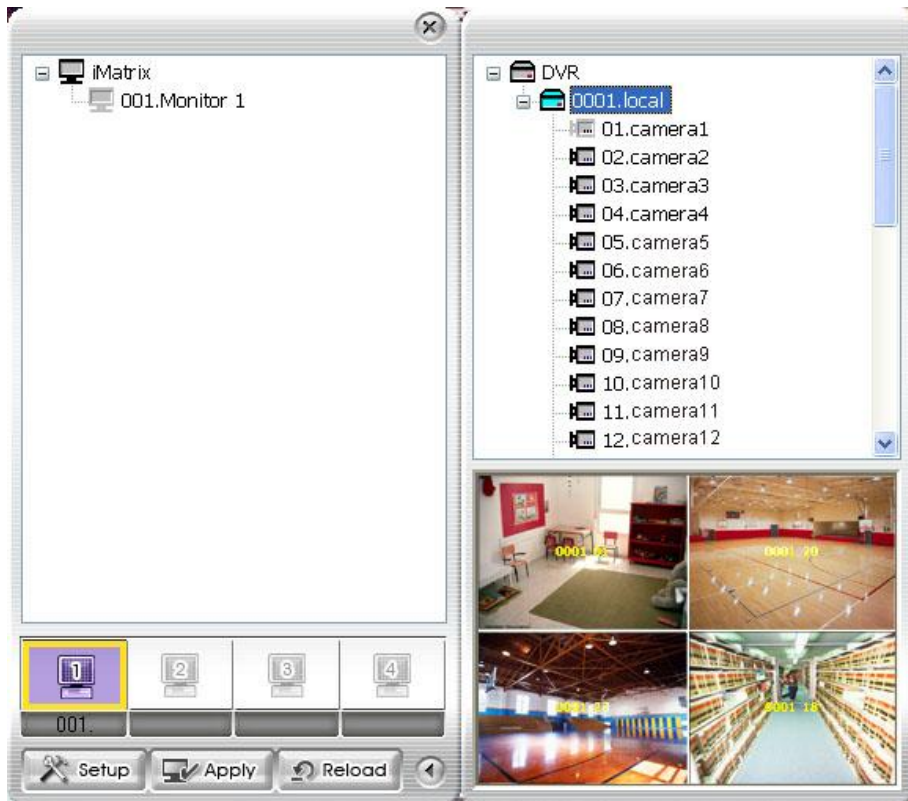
【ステップ3】リモート iMatrix サーバのモニタされたチャンネルを変更するには

1. DVR サーバーアイコンの+をクリックすると、sub-Monitor Controller (サブモニタコントローラ) ウィンドウにチャンネルのリストが展開されます。
2. モニタしたいチャンネルを sub-Monitor Controller (サブモニタコントローラ) ウィンドウの下部部分にあるチャンネルにドラッグします。チャンネルが切り替えられます。



グレイのカメラアイコンは、カメラが選択されモニタされていることを示します。

3. **Apply(適用)** をクリックして、変更をリモートの iMatrix サーバーに適用します。
4. iMatrix サーバーをポイントして、モニタされたチャンネルが直ちに変更されたかチェックできます。



3.3.1.1 iMatrix サーバーから CMS サーバをモニタするには

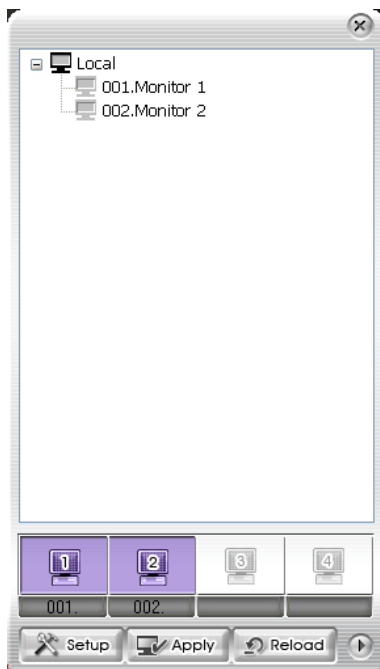
iMatrix サーバは CMS とリモートのモニタ CMS に接続することができます。

リモートの CMS サーバをモニタに追加できます。Matrix Select (マトリクス選択) ウィンドウの **Delete (削除)** と **Edit (編集)** ボタンをクリックして、追加されたリモートの CMS サーバを削除および変更ができます。

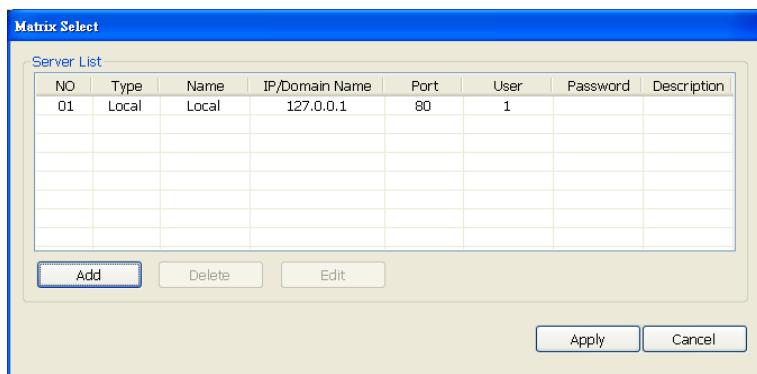


リモートの CMS サーバの表示のみ操作可能です。モニタにセットされたカメラの追加と削除はできません。

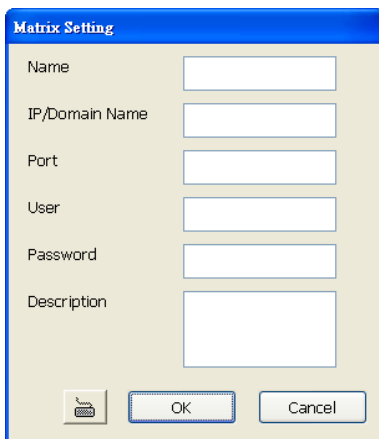
1. iMatrix メイン UI から  をクリックします。
2. 次の画面のように、モニタコントローラウィンドウが表示されます。



3. Monitor Controller(モニタコントローラ)ダイアログボックスから **Setup (セットアップ)** をクリックします。
4. iMatrix Select(iMatrix 選択)ウィンドウが表示されます。



5. **Add (追加)** ボタンをクリックして CMS サーバを追加します。
6. リモートの CMS サーバの **Name (名称)**、**IP/Domain Name (IP/ドメイン名)**、**Port (ポート)**、**User (ユーザー)** (ログイン ID)、**Password (パスワード)**、**Description (説明)** を入力します。次に、**OK** をクリックして設定を保存します。



The image shows a 'Matrix Setting' dialog box with a blue title bar. It contains several input fields: 'Name', 'IP/Domain Name', 'Port', 'User', 'Password', and 'Description'. At the bottom, there are three buttons: 'Add' (with a plus icon), 'OK', and 'Cancel'.

7. CMS サーバ iMatrix Select (iMatrix 選択) ウィンドウの iMatrix リストに追加されます。
8. CMS サーバに切り替えるには、iMatrix サーバを選択して **Apply (適用)** をクリックします。

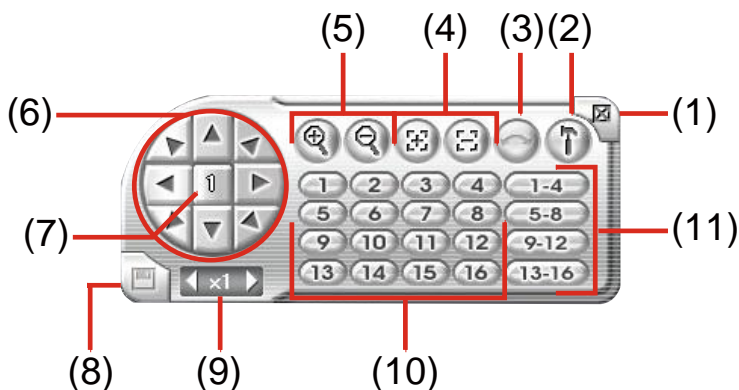
i 一度に1つのCMSサーバしか選択できません。

9. モニタ画面には、選択されたリモートの CMS サーバ画面ビューが表示されます。



iMatrix サーバの監視画面

3.3.2 PTZ カメラコントロールパネルのボタン操作に慣れる




名称	機能
(1) 閉じる	PTZ カメラコントローラーを終了します。
(2) 設定	PTZ カメラのコントロールを選択します。
(3) 自動パン	選択されたカメラグループのプリセット位置番号に従って、自動的に PTZ カメラを操作します。
(4) フォーカス +/-	画像をクリアに表示するために、手でフォーカスを調整します。
(5) ズーム +/-	画像を拡大または縮小します。
(6) 方向ボタン	PTZ カメラの焦点を調整し位置付けます。
(7) カメラ ID ペイン	現在使用中の PTZ カメラ番号を表示します。
(8) カメラプリセット位置の保存	PTZ カメラのプリセット位置番号を保存します。カメラを選択して、プリセット位置番号をクリックして保存します。
(9) カメラレンズ速度コントローラー	PTZ カメラレンズの移動する速度を調整します。
(10) カメラプリセット位置番号	PTZ カメラをプリセット位置に移動させます。
(11) グループ自動パン	グループ内の PTZ カメラを自動的に作動させます。

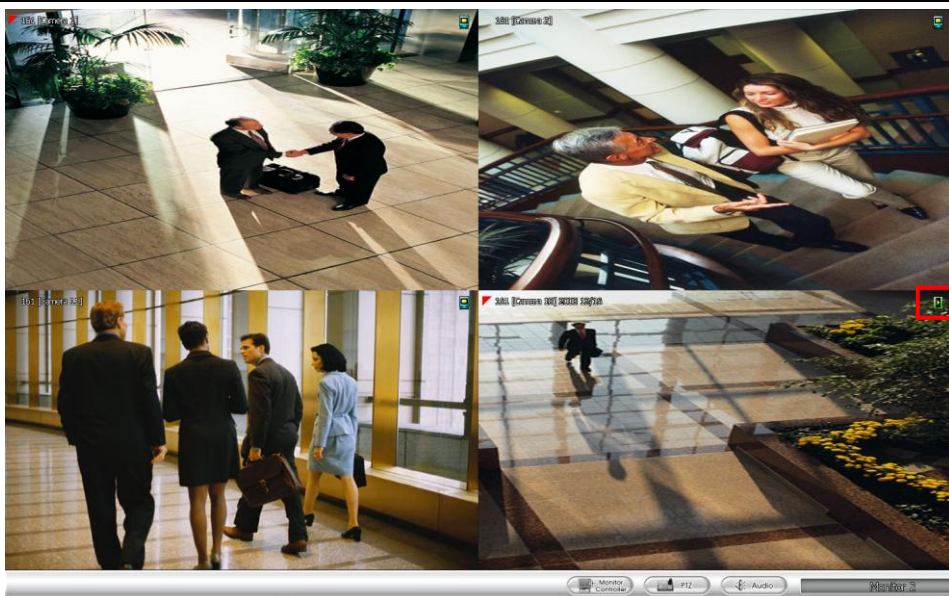
3.3.3 録画済みビデオの再生

録画機能が有効になっていれば、遠隔地にある DVR サーバーやローカル CMS サーバーの録画済みビデオを再生することができます。

- i** - 再生機能を有効しておく必要があります。**Setup (設定) > Camera (カメラ)** に進んで、モニターセットを選択して再生機能を有効にします。(第 4.3 章 **カメラの設定** も参照)
- EB シリーズでは再生機能はサポートしていません。

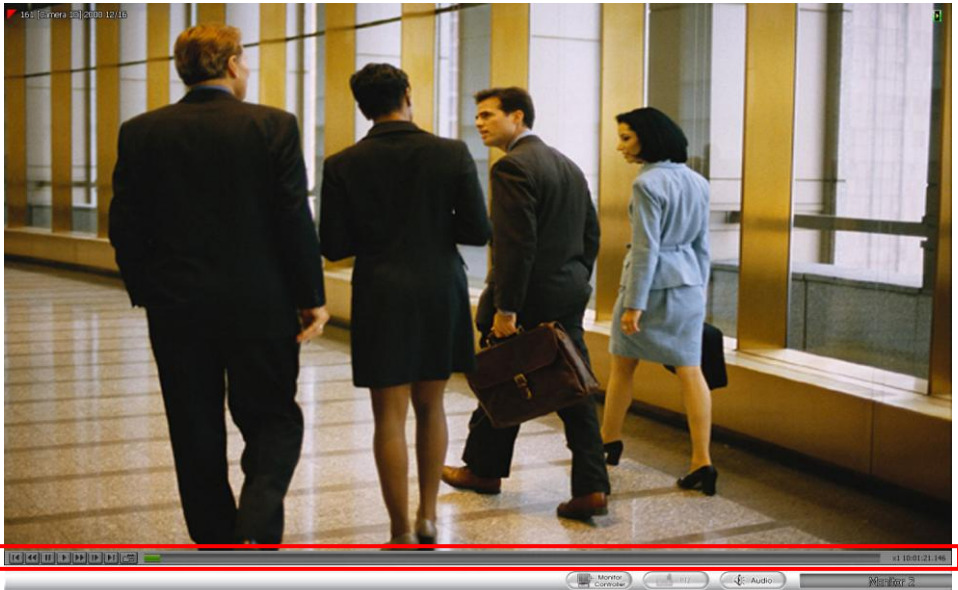
1. チャンネルのプレビューアイコンをクリックすれば、そのチャンネルの再生を開始します。

- i** - 再生モードのチャンネルには  アイコンが表示されています。
- マウスのカーソルをスクリーン下部に移動させると、再生用のコントロールバーが表示されます。



2. 再生用のコントロールボタンで、再生画面を操作することができます。

- i** - チャンネルをクリックすれば、再生コントロールボタンが簡単に操作できるようにフルスクリーンモードに切り替えることができます。
- iMatrix は、同時に 4 チャンネルのみの再生をサポートします。



ボタン

機能



頭出し: ビデオのスタート位置に移動します。



スロー: 録画済みビデオを 1/2、1/4、1/8、1/16、1/32 の速度でスロー再生します。



一時停止: 再生を一時停止します。



再生: ビデオを再生します。



スキップ: 次のフレームに移動します。



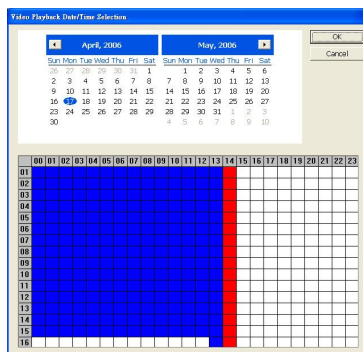
早送り: 録画済みビデオを 2x、4x、8x、16x、32x の速度で早送り再生します。



エンドサーチ: ビデオのエンド位置に移動します。



リモート DVR サーバーのハードディスクから、再生したい録画済みビデオを選択します。カレンダーから日付、00 時から 23 時までの時間、再生を始めたいビデオファイルの位置を選びます。



x1 10:00:01.261

再生速度と録画時間を表示します。

3.3.4 モニタに GPS データを表示する

MOB DVR サーバーをモニタした場合、GPS 情報を表示することができます。また、Google Map に MOB DVR サーバーの場所を表示することもできます。

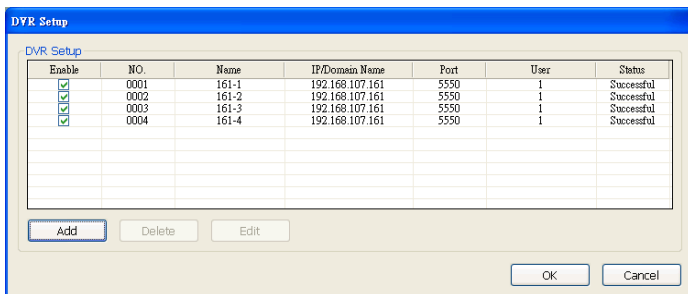
モニタに GPS データを表示する:

以下のステップに従って、モニタに GPS データを表示します。

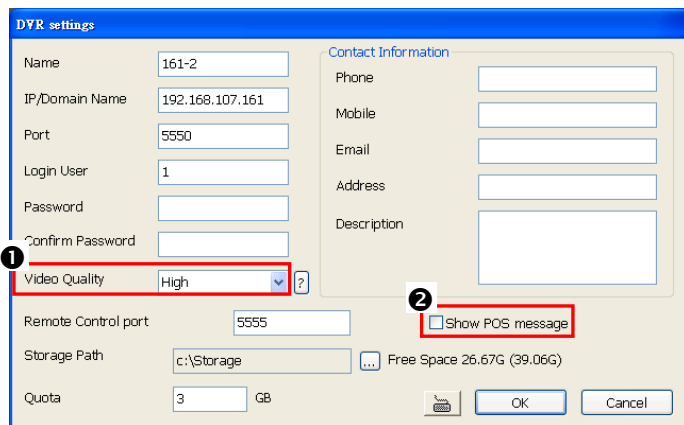
1. センターインターフェースで、**Setup (セットアップ)** をクリックします。
2. 認証用のパスワードを入力します。CMS 構成選択が表示されたら、**DVR** をクリックします。



3. DVR ウィンドウで、MOB DVR サーバーを選択するか、MOB DVR サーバーを追加します(第 4.2.1 章も参照)。

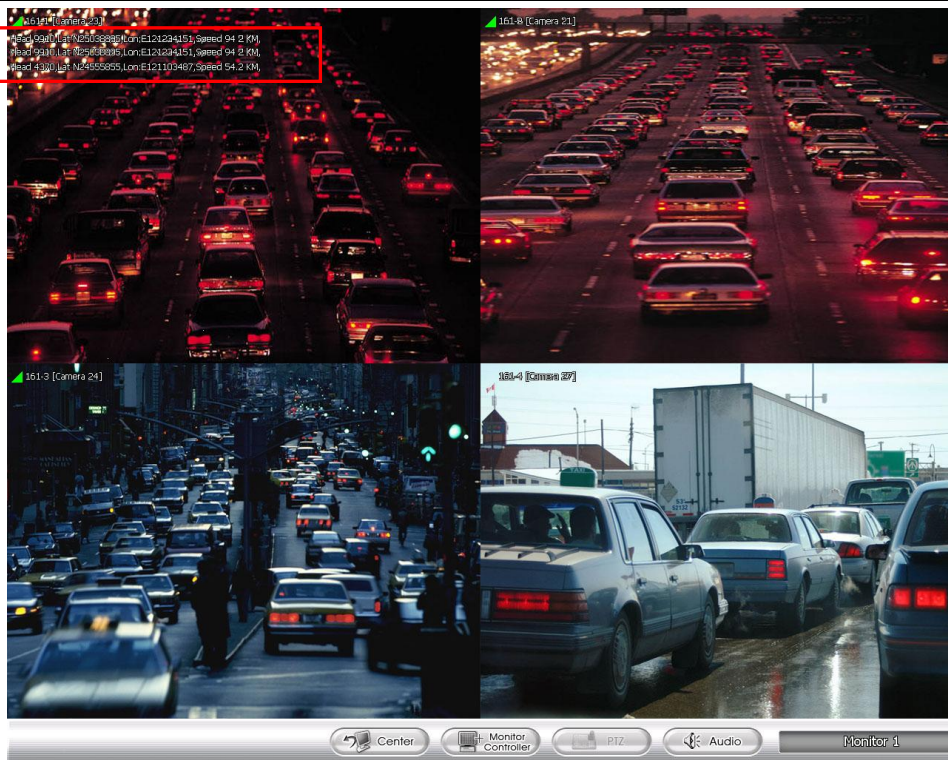


4. MOB DVR サーバーの選択後、**Edit (編集)** をクリックします。DVR Setting(DVR 設定)ウィンドウが表示されます。



5. **Video Quality (ビデオ画質)** を **High (高)** に選択したら、**Show POS message (POS メッセージの表示)** をマークしてモニタに GPS データを表示します。
6. **OK** をクリックして、変更を保存して完了します。
7. MOB DVR サーバーにモニタリング用チャンネルが追加されていない場合、第 4.3 章を参照してモニタリング用チャンネルを追加してください。
8. **Monitor (モニタ)** をクリックしてモニタモードに切り替えます。次のように、モニタ UI に GPS データが表示されます。

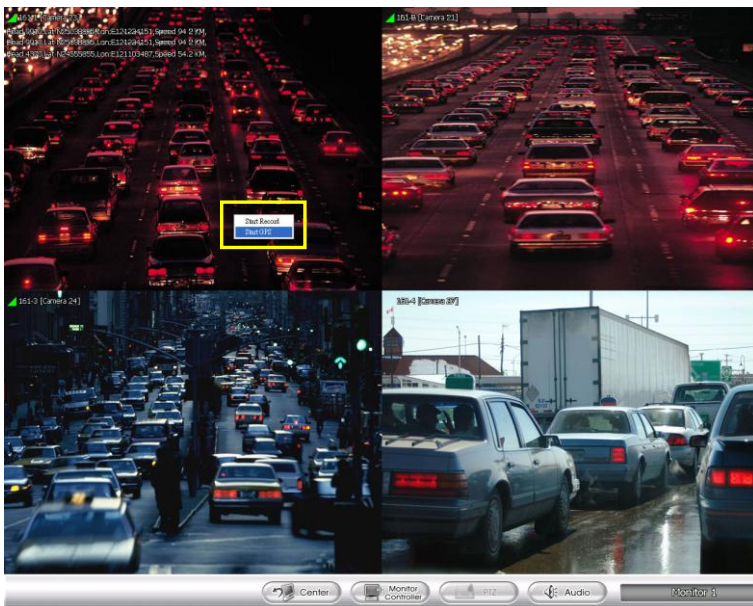
i GPS データの表示位置については、システム設定の **Monitor Text Setting (テキスト設定のモニタ)** にて設定変更できます。



Google Map に GPS データを表示する

以下のステップに従って、Google Map に GPS データを表示します。

1. モニタモードで、MOB DVR サーバーからモニタされるチャンネルを右クリックします。
2. ショートカットメニューが表示されます。Start GPS (GPS の開始) を選択します。



3. Google Map View (Google Map ビュー) ウィンドウが表示されます。



4. **Maximum (最大化)** ボタンをクリックして Google Map View(Google Map ビュー)ウィンドウを拡大します。

クリックして異なる表示モード(マップ、ハイブリッド、サテライト、地形)を選択します

Google Map を有効にしたすべてのチャンネルを一覧します。

Google Map のズームイン/アウト。

クリックして、Google Map の複数のチャンネルがある場合、異なる分割画面モードで表示します。

5. **Setup** をクリックし、Google Map の表示ウィンドウの設定変更ができます。

Setting Dialog

Dialog mode

Simple mode

Full mode

Map mode

All DVR in one map.

Select Server

OK Cancel

- **ダイアログモード:** Google Map View (Google Map ビュー) ウィンドウの表示方法。シンプルモードにて、**Select Server (サーバーの選択)** 画面からサーバーの選択ができます。

Google Map View(Google Mapビュー)ウィンドウの設定をセットアップします。



シンプルモード



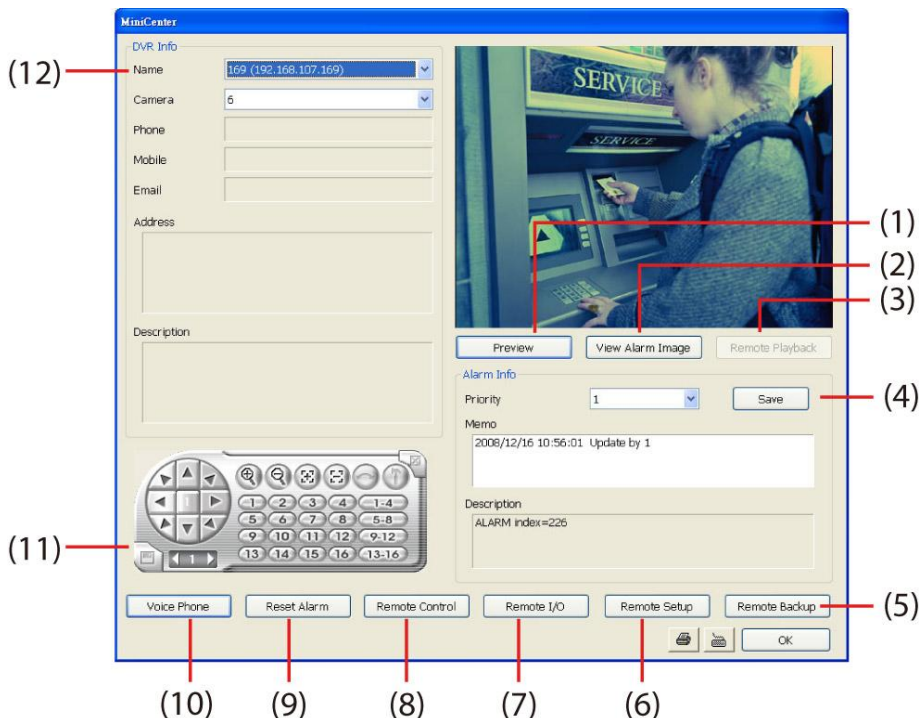
フルモード

- マップモード: Google Map のチャンネルの表示方法。All DVR in one map (マップのすべてのDVR) は1つのGoogle Map ウィンドウのすべてのチャンネルディスプレイを有効にします。

6. Google Map ビューを閉じるには、Xをクリックします。

3.4 Minisenter ビューアを使用するには

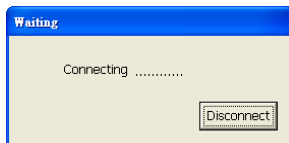
Minicenter では、リモート DVR の構成、バックアップ、操作ができます。また、アラームのリセット、アラーム優先順位の変更、リモート DVR のカメラの設定ができます。



名称	機能
----	----

(1) プレビュー

ライブビデオを表示します。接続時間が長すぎる場合は、**Disconnect (接続解除)** ボタンをクリックすることによって、接続を解除することができます。

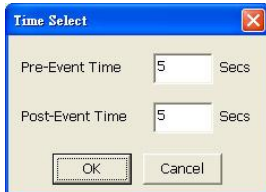


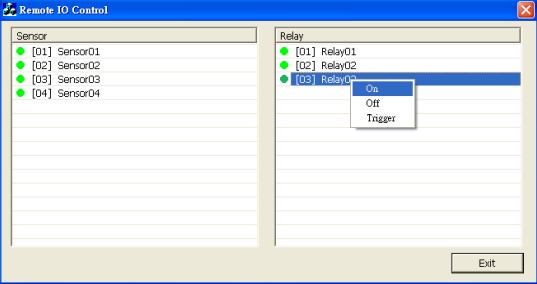

(2) ビュー アラーム イメージ

ローカルハードディスクに保存されたアラームビデオクリップを再生します。

(3) リモート再生

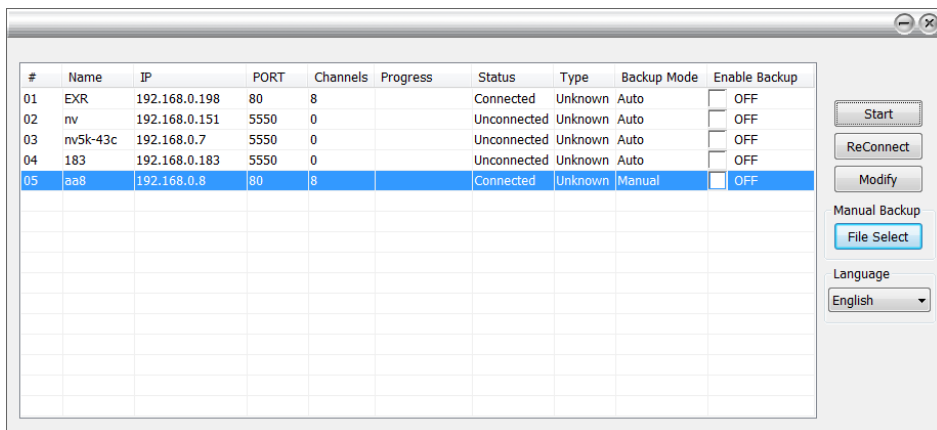
DVR サーバーから再生したいイベントの前後の時間を設定します。OK をクリックすればビデオを再生することができます。再生を中止する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。(第 5.3 章も参照)



名称	機能
(4) アラーム情報	DVR サーバーで定義されたアラームイベント情報を表示します。アラームイベントの優先順位を選ぶことができ、メモ欄にコメントや説明を入力することができます。 Save (保存) ボタンをクリックして設定を保存します。
(5) リモートバックアップ	リモートバックアップ機能は、リモート DVR サーバーの *.dvr ファイルのバックアップのみに使用します。(第 3.4.1 章 も参照)
(6) リモート設定	リモート DVR サーバーの設定を変更します。(第 3.4.2 章 も参照)
(7) リモート I/O	センサーまたはリレーを選び、右クリックで on (オン)、off (オフ)、trigger (トリガー) を表示させて、操作内容を選択することによって、センサーやリレーの表示、リレーやリモート DVR のオン/オフ操作をすることができます。
	
(8) リモート コントロール	リモート DVR サーバーの接続やアプリケーションの操作をします。DVR サーバーを、ドラッグしたリストの Name (名前) から選択し、 Remote Control (リモートコントロール) ボタンをクリックします。この機能を使用するには、DVR リモートサーバーが有効になっていることを確認してください。ソフトウェアに関する詳細は、DVR の取扱説明書をご参照ください。
	 この機能は、NV シリーズ v 5.7 以上でのみ動作します。
(9) アラーム リセット	DVR サーバーのアラームリストをすべて削除します。
(10) 音声電話	双方向音声通信の有効/無効を設定します。この機能は CMS と DVR サーバーがインターネット経由で、マイクを使用して話しをすることができます。この機能を使用する前に、マイクとスピーカーが正しく機能することを確認してください。DVR サーバーの設定が有効になっていない場合は、相手方からの声を聞くことはできません。
(11) PTZ コントロール	PTZ カメラをコントロールします。(第 3.3.2 章 も参照)
(12) DVR 情報	プレビューのためにユーザーが選んだ DVR 情報を表示します。名前またはカメラリストをドラッグすることによって、別の DVR 映像やカメラ映像に切り替えることができます。DVR サーバーが設定されたときに、電話、住所、携帯、Eメール、説明などが定義されます。

3.4.1 リモートバックアップ

リモートバックアップ機能は、NV DVR サーバーの *.dvr ファイルのバックアップのみに使用します。自動バックアップと手動バックアップのどちらか一方を選択することができます。自動バックアップでは、決められた日付から開始して一度に 1 時間分の記録データを継続的にバックアップします。手動バックアップでは、選択した日付の記録データのみバックアップします。

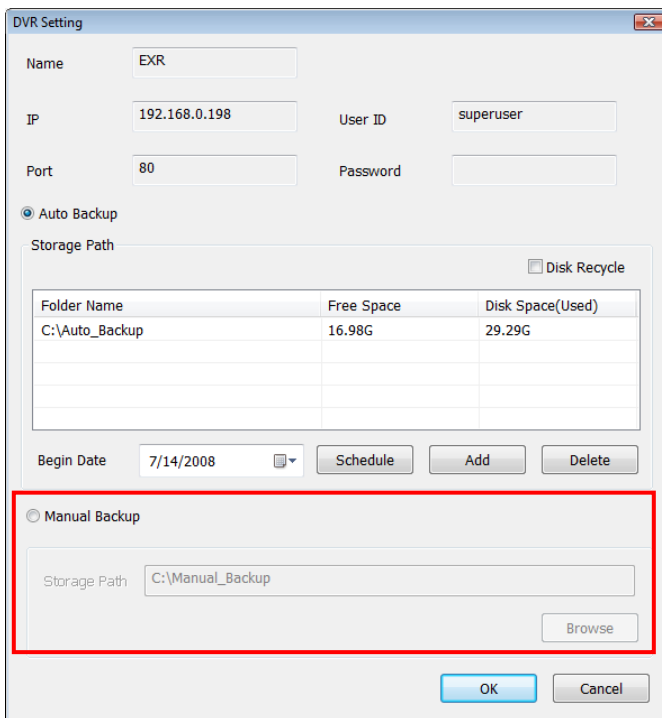


自動バックアップ:

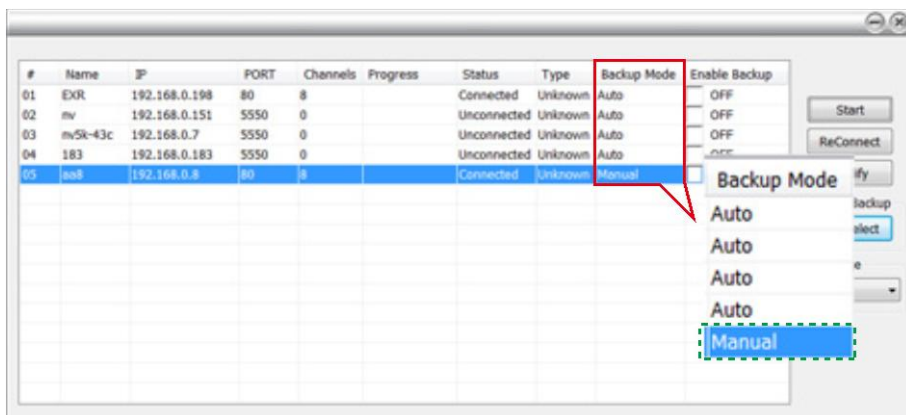
1. Minicenter UI の **Remote backup (リモートバックアップ)** ボタンをクリックします。
2. リモートバックアップのウィンドウが表示され、追加されたすべての DVR サーバーがリスト表示されます。
3. CMS が DVR サーバーに接続していることを確認してください。DVR サーバーとの接続が切れている場合、DVR サーバーを選んで **Reconnect (再接続)** ボタンをクリックしてください。
4. バックアップしたい DVR サーバーの **Enable Backup (バックアップ有効)** のチェックボックスをクリックしてチェックマークを入れてください。チェックマークを入れた Enable Backup (バックアップ有効) 欄が **ON (オン)** の状態に変わります。
5. CMS がバックアップを開始します。

手動バックアップ:

1. Minicenter UI の **Remote backup (リモートバックアップ)** ボタンをクリックします。
2. DVR サーバーを選び、**Modify (修正)** ボタンをクリックします。
3. DVR 設定ダイアログの **Manual Backup (手動バックアップ)** を選択します。そして、**Browse (閲覧)** ボタンをクリックすることによって、バックアップする方向を変えることができます。
4. **OK** をクリックして、設定を保存します。



5. DVR サーバーの Backup Mode (バックアップモード) が Manual (手動) に変わります。



6. 手動でバックアップを実行するには、最初にファイルを選びます。File Select (ファイル選択) をクリックしてから、バックアップしたいファイルを選んで OK をクリックします。
7. Start (開始) をクリックして、バックアップを行います。

3.4.2 リモート設定

リモート設定機能によって遠隔地から DVR サーバーの設定を行うことができます。

Remote Setup (リモート設定) ボタンをクリックして、DVR サーバー設定のウィンドウを呼び出します。

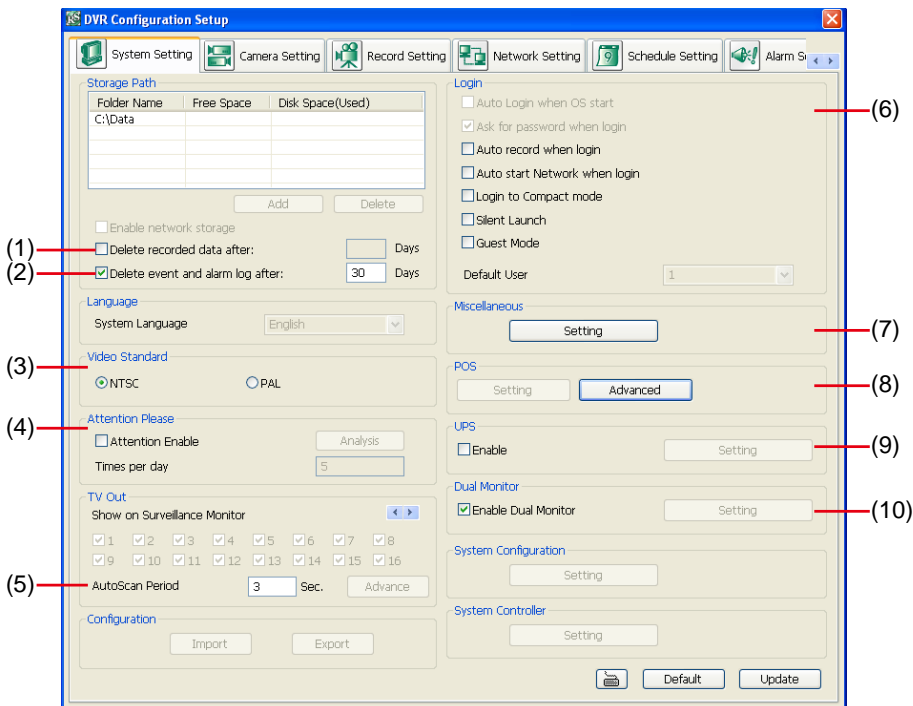


リモートセットアップの内容は、監視されている DVR (NV シリーズ、SA シリーズ、NX シリーズ、EB シリーズ、EH シリーズ、EXR シリーズ) の機種によって、異なります。

下記の設定内容は、NV シリーズについて記載しています。NX シリーズと EB シリーズでは、いくつかの機能はご利用頂けません。

3.4.2.1 システムの設定

新しい設定内容に変更する場合は、**Update (更新)** をクリックします。保存せずに終了する場合は、**Exit (終了)** をクリックします。工場出荷時の設定状態に戻す場合は、**Default (初期設定状態)** をクリックします。



(1) Delete recorded data after (何日後かに記録データを削除する)

何日後かにデータを自動的に削除させたい場合、**Delete recorded data after (何日後かに記録データを削除する)** のチェックボックスにチェックを入れ、**Days (日)** テキストボックスに日数を入力します。

(2) Delete event and alarm log after (何日後かにイベントやアラームログを削除する)

何日後かにイベントやアラームログファイルを自動的に削除させたい場合、**Delete event and alarm log after (何日後かにイベントやアラームログを削除する)** のチェックボックスにチェックを入れ、**Days (日付)** テキストボックスに日数を入力します。

(3) Video Standard (ビデオ規格)

使用しているカメラビデオシステムに合わせて適合するビデオシステム(NTSC または PAL)を変更および選択します。ビデオシステムの設定が間違っている場合、画面が正しく表示されません。

(4) Attention Please (アテンション ブリーズ)

システムの監視者がどの程度注意を払っているかをチェックします。**Times per day (1 日の回数)** テキストボックスを使用して、1 日にアテンションダイアログボックスを表示させる回数を設定することができます。この機能を作動させると、**Attention (アテンション)** ダイアログボックスが表示されます。システムの監視者は、左のテ

キストボックスに表示される数字と同じ数字を右のテキストボックスに入力して、OK ボタンをクリックしなければなりません。

(5) TV Out (テレビ出力)

- AutoScan Period (自動スキャン間隔)

次のカメラに切り替わるまでの時間として、3~10 秒間のギャップを設定します。

(6) Login (ログイン)

システムに対して自動的に実行させたいログインセクションの条件を有効にします。

- Auto record when login (ログイン時の自動録画)

NV DVR システムを実行したときに、自動的にビデオ録画を開始します。

- Auto start Network when login (ログイン時の自動ネットワーク接続)

NV DVR システムを実行したときに、自動的にネットワークに接続します。

- Login to compact mode (コンパクトモードへのログイン)

NV DVR システムを実行したときに、コンパクトモードに直接切り替わります。

- Silent Launch (サイレント起動)

スタートアップ直後に、自動的に DVR システムをシステムトレイに最小化します。

- Guest Mode (ゲストモード)

NV DVR システムを実行したときに、自動的にゲストモードでログインします。ゲストモードでは、使用できる機能がプレビューと再生のみに制限されます。

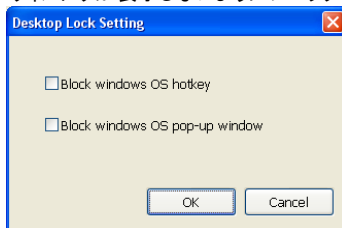
(7) Miscellaneous (その他)

Miscellaneous (その他) セクションでは、システムにどのような状態を実行させたいかを選択することができます。

- Desktop Lock (デスクトップ施錠)

✓ **Block window OS hotkey (ウインドウズ OS ホットキーのブロック):** [Ctrl+Alt+Del] キーと [Windows] キーボードのキー機能を使用できないようにします。

✓ **Block windows OS pop-up window (ウインドウズ OS ポップアップウィンドウのブロック):** ウィンドウズシステムからポップアップウィンドウが表示しないようにブロックします。



- Beep if no signal (無信号時のビーブ音)

ビデオ信号が途絶えた場合に、警告音を出します。

- Mandatory Record (常時録画)

ソフトウェアの実行中は、常に録画します。

- Enable Overlay (オーバーレイの有効化)

ビデオ画質を向上させるため、ビデオ信号を増幅します。



NV6000T でのみサポートします。

- Screen Saver (スクリーンセーバー)

システムがアイドル状態になった時に、スクリーンセーバーモードに入るまでの時間の間隔を設定します。

- Auto Scan Period (自動スキャン間隔)

自動スキャン機能のギャップ時間を 3~10 秒の間で設定します。設定したギャップ時間に応じて、自動的に次のビデオに順々に切り替わります。

- Playback Mode (再生モード)

ビデオの再生モードを選択します。

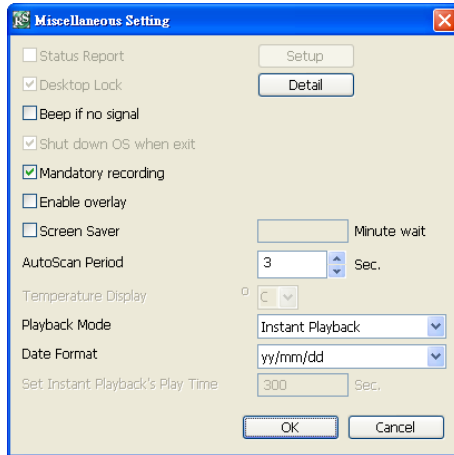
✓ **Select date and time (日付と時刻の選択):** 再生させたい日付と時刻を選択します。

✓ **Play the last file (最後のファイルを再生):** 最後の 1 時間分のビデオを自動的に再生します。

✓ **Instant Playback (インスタント再生):** たった今録画したビデオを再生します。

- Date Format (日付フォーマット)

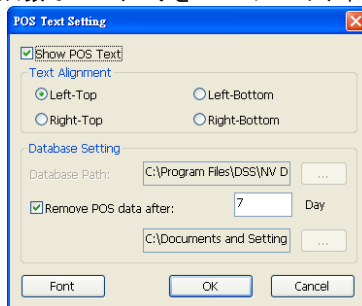
再生モードで表示させたい日付フォーマットを **Select date and time (日付と時刻の設定)** プルダウンメニューから選択します。



(8) POS

どのカメラ画面から POS 装置のデータを表示させるかを設定します。テキストフロー、カラーフォーマット、POS データベース出力を設定するには、**Advanced (アドバンスド)** をクリックします。

1. **Show POS Text (POS テキスト表示)** チェックボックスにチェックを入れると、POS データを監視画面に表示させることができます。
2. POS データを監視画面のどの位置に表示させるか選択します。- 左上、左下、右上、右下
3. POS データのフォントと色を変更させるには **Font (フォント)** ボタンをクリックします。
4. **Remove POS data after (後で POS データ削除)** チェックボックスにチェックを入れて、テキストボックスに日数を入力すれば、設定した日数で POS データを DVR のハードディスクから削除することができます。

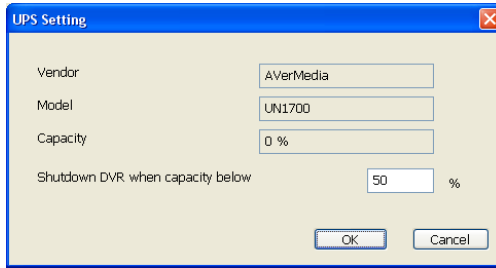


(9) UPS (Uninterruptible Power Supply) (無停電電源装置)

電圧サージや電圧低下などからシステムを保護します。**Enable (有効)** チェックボックスにチェックを入れ、**Setting (設定)** をクリックします。バッテリーのバックアップ電源が低下したときでも、NV DVR システムを正しくシャットダウンできるように、バックアップ電源の許容値を **Shutdown when capacity below (容量が～以下でシャットダウン)** テキストボックスにパーセント表示で入力し、バックアップ電源が設定値以下になったときに自動的に NV DVR システムをシャットダウンするように設定します。コンピューターに UPS 装置が接続されている必要があります。(ご使用の UPS 装置の取扱説明書をご参照ください)

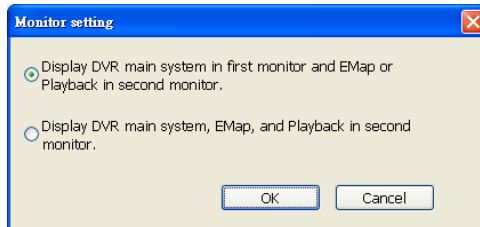


UPS アプリケーションが Windows XP または Windows Vista のシステム要件を満たしている必要があります。



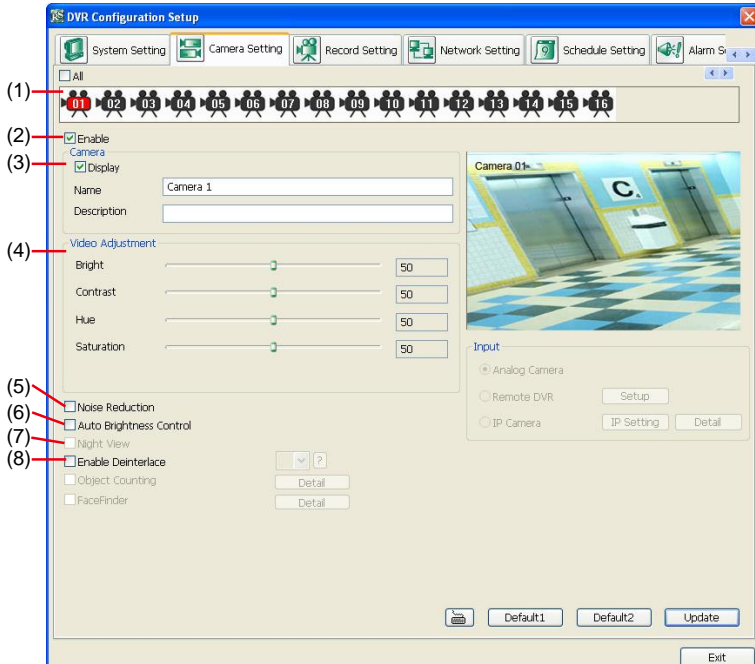
(10) Dual Monitor (デュアルモニタ)

デュアルモニタ表示の有効/無効を設定します。**Setting (設定)** ボタンをクリックして、デュアルモニタのディスプレイモードを選択します。



3.4.2.2 Camera Setting (カメラの設定)

新しい設定を適用し、その内容を保存するには、**Update (更新)** をクリックします。保存せずに終了する場合は **Exit (終了)** をクリックします。工場出荷時の設定状態に戻す場合には、**Default1/ Default2 (初期設定状態 1/ 初期設定状態 2)** をクリックします。



(1) カメラアイコン

ビデオ設定を調整したいカメラ番号を選択します。全部のカメラを選択するには、**ALL (すべて)** のチェックボックスにチェックを入れます。2 台以上のカメラを選択する場合、カメラアイコンを右クリックします。カメラを 1 台だけ選択する場合、カメラアイコンを左クリックします。選択されると、カメラアイコンが赤色に変わります。

(2) Enable (起動)

選択したカメラの起動または解除を設定します。カメラにビデオソースがない場合、システムがビデオ消失エラーを検出しないように、そのカメラを解除することをお勧めします。

(3) Camera (カメラ)

- Display (表示)

ビデオの表示を作動または解除します。選択されたカメラのビデオが隠されていても、ビデオを録画し再生モードでプレビューすることができます。

- Name (名前)

カメラの名前を変更します。

- Description (説明)

短いコメントを追加します。

(4) Video Adjustment (ビデオ調整)

選択されたカメラの明るさ、コントラスト、色調、色相を調整します。

(5) Noise Reduction (ノイズ低減)

不要なビデオ信号を低減して、ビデオの画質を向上させます。



ノイズ低減には多くの CPU リソースを使用するため、本当に必要な場合にのみ使用してください。

(6) Auto Brightness Control (明るさの自動調整)

明るさを自動的に調整します。

(7) Night View (夜間撮影)

特に撮影現場が暗いときに、露出を自動的に調整することで画像をより見やすくします。この機能は、**Auto Brightness Control is enabled (明るさの自動調整)** にチェックを入れて有効になっているときにのみ使用でき

ます。

(8) Enable Deinterlace (デインターレース適用)

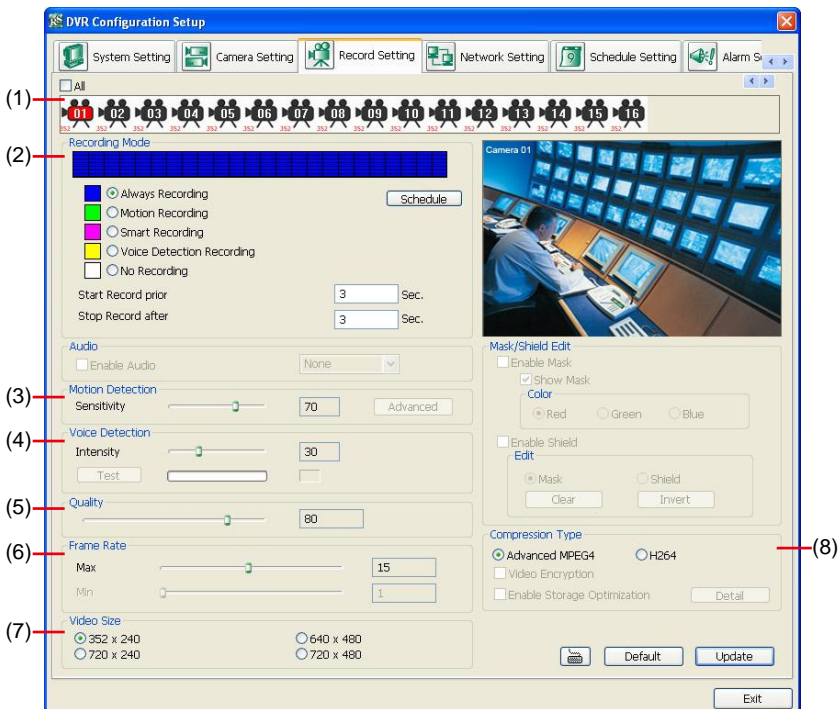
ビデオ画質を強化するには デインターレース適用 にチェックを入れます。動きのない画像をキャプチャする場合はデインターレースモードを 1 番に設定し、動きの多い画像をキャプチャする場合はデインターレースモードを 2 番に設定します。



デインターレース機能は、EB DVR シリーズでは使用できません。

3.4.2.3 録画の設定

新しい設定を適用するには **OK** をクリックします。保存せずに終了する場合は **Exit (終了)** をクリックします。工場出荷時の設定状態に戻す場合には、**Default (初期設定状態)** をクリックします。



(1) Camera Icons (カメラアイコン)

録画設定を行いたいカメラ番号を選択します。全部のカメラを選択するには、**ALL (すべて)** のチェックボックスにチェックを入れます。2 台以上のカメラを選択するには、カメラアイコンを**右クリック**します。カメラを 1 台だけ選択するには、カメラアイコンを**左クリック**します。選択されると、カメラアイコンが赤色に変わります。

(2) Recording Mode (録画モード)

00 から 23 までのブロックは、24 時間表示の各時間を表しています。24 時間全てを録画するには、録画モードを選択して **○** ボタンをクリックします。特定の時間または特定の日のみを録画したい場合には、**Schedule (スケジュール)** ボタンをクリックしてから **Recording Mode (録画モード)** を選択し、時間または日付のブロックをクリックします。システムが録画を開始すると、画面の左上に赤色の三角マークが表示されます。

録画モードは、以下の通りです。:

- Always Recording (常時録画)

選択されたカメラからビデオを録画して、指定された保存パスで保存します。

- Motion Recording (モーション録画)

システムが動きを検知したときにのみ、選択されたカメラからビデオの録画を開始します。動きを検知すると、システムは自動的に以前のフレームを保存して、**Start Record Prior (録画開始時刻)** と **Stop Record After (録画停止時刻)** の設定に基づいて停止します。

- **Smart Recording (スマート録画)**

動きを検知すると自動的に最大フレーム速度設定に切り替わり、動きがないと最小フレーム速度設定で録画されます。最大フレーム速度と最小フレーム速度は **(6) Frame Rate (フレーム速度)** のセクションで設定します。

- **No Recording (録画なし)**

システムは録画を行いません。

(3) Motion Detection (モーション検出)

モーション検出の感度を調整します。数値が大きいほど高い感度で検出されます。システムが動きを検出すると、画面の左上に緑色の三角マークが表示されます。

(4) Voice Detection (ボイス検出)

オーディオ検出の強度を調整します。システムは、音が強度の設置値を超えたときに検出します。

(5) Quality (画質)

ビデオの画質を調整します。数値が大きいほど圧縮レベルが低くなり、ハードディスクの使用スペースが増加します。

(6) Frame Rate (フレーム速度)

動きがある場合と動きがない場合の録画されるフレームの最大値を設定します。フレーム速度は、NTSC では 1 から 30 まで、PAL では 1 から 25 まで設定できます。フレーム速度が速いほど、ハードディスクの使用スペースが増加します。

(7) Video Size (ビデオサイズ)

Enable Deinterlace (インターレース解除) を実行すると画質が向上します。動きのない画像をキャプチャする場合は **Enable Deinterlace (インターレース解除)** のモードを 1 番に設定し、動きの多い画像をキャプチャする場合は **インターレース解除** のモードを 2 番に設定します。

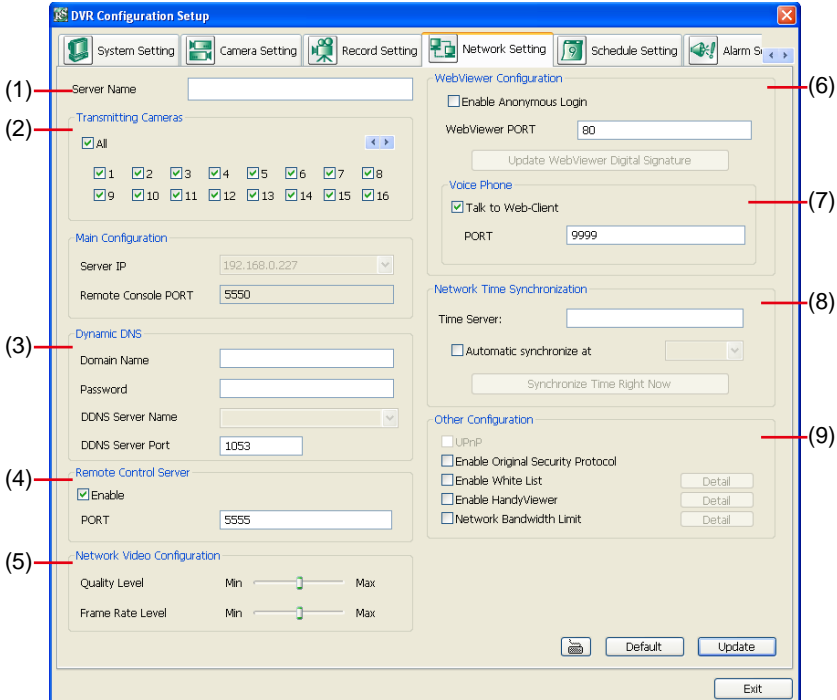
(8) Compression Type (圧縮タイプ)

NV カードがどのような圧縮タイプをサポートするか、下表を参照して確認してください。H264 は最新の高度ビデオ圧縮フォーマットで、ビデオの画質が優れており、ファイルサイズも小さくなりますが、多くの CPU リソースを使用します。高度 MPEG4 と MJPEG は、両方ともカラー画像の圧縮率の標準を提供します。MPEG4 はより高い圧縮率を使用しているため、ファイルサイズが小さくなります。一方、MJPEG は圧縮率がわずかに小さいため、ファイルサイズは大きくなります。

	MPEG4	MPEG 4 暗号化	H264	H264 暗号化	MJPG
NV6240T	✓	✓	✓	✓	
NV6480T	✓	✓	✓	✓	
NV9416T	✓				

3.4.2.4 ネットワークの設定

新しい設定を適用するには、**Update (更新)** をクリックします。保存せずに終了する場合は、**Exit (終了)** をクリックします。工場出荷時の設定状態に戻す場合には、**Default (初期設定状態)** をクリックします。



(1) Server Name (サーバー名)

DVR ユニットに名前を付けます。アルファベットと数字のみを使用できます。

(2) Transmitting Cameras (送信カメラ)

インターネットを介して、ウェブカム、リモートコンソール、PDA ビューワ、ハンドビューワ (静止画像) を使用してアクセスさせたいカメラについて、送信カメラのセクションでカメラ番号を選択してクリックします。全部のカメラを選択するには、**ALL (すべて)** のチェックボックスにチェックを入れます。

(3) DDNS Server Port (DDNS サーバーポート)

ドメイン名とパスワードを入力します。この機能を使用するには、<http://ddns.avers.com.tw> にアクセスして登録 ([Appendix \(付録\) A](#) も参照) する必要があります。DDNS サーバーに接続する際に使用するポートを入力します。

(4) Remote Control Server (リモートコントロールサーバー)

リモートアプリケーション (例えば、CM3000) からのリモートコントロールの有効/無効を設定します。Port (ポート) 欄にリモートアクセスポートを入力します。初期設定値は 5555 です。

(5) Network Video Configuration (ネットワークビデオ構成)

リモートプログラムに送信したりビデオを見るためのビデオ画質とフレーム速度を設定します。調整バーをスクロールさせて、**Quality level (画質レベル)** と **Frame Rate level (フレーム速度レベル)** を設定します。

(6) WebViewer Configuration (ウェブビューア構成)

パスワードなしで DVR サーバーにリモートアクセスするには、**Enable Anonymous Login (匿名ログイン)** を有効します。

(7) Voice Phone (音声電話)

Talk to Web-Client (ウェブクライアント間通話) 機能は、クライアントとサーバーとの間でマイクロホンを使ってインターネットを介して会話できる双方向トーク機能です。この機能を使用する前に、マイクロホンとスピーカーが正しく動作することを確認してください。**Talk to Web-Client (ウェブクライアント間通話)** を有効にしない場合、ウェブカムの双方向でトークボタンを押したときに、NV DVR サーバー側の人のみが、クライアント側の

音声を聞くことができます。

(8) Network Time Synchronization (ネットワーク時計との同期)

NV DVR システムの内部時計をネットワーク時間サーバーと同じになるように調整します。**Time Server (時間サーバー)** の IP アドレスまたはドメイン名をすべて入力します。**Automatic Synchronize (自動同期)** を選択すると、毎日、自動的に時間が同期されます。または、**Synchronize Time Right Now (同期実行)** をクリックすると、その時点で時間の同期が実行されます。

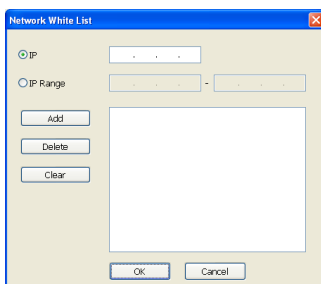
(9) Other Configuration (その他の構成)

- Enable Original Security Protocol (独自セキュリティプロトコルの起動)

DVR システムが旧バージョンのリモートアクセスアプリケーションからもアクセスできるようにします。例えば、バージョン 7.1 の CMS を使用してバージョン 7.3 以降の DVR サーバーに接続できるようになります。この機能を使用するには、独自セキュリティプロトコルの起動にチェックを入れて有効にしなければなりません。DVR システムは新しいセキュリティプロトコルを有していますが、旧バージョンのリモートアクセスソフトウェアには対応していないため、この機能の有効/無効はユーザーの判断で行います。

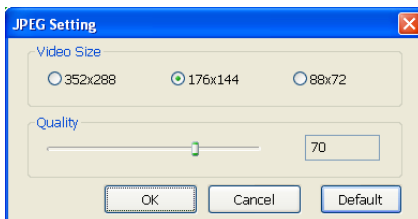
- Enable White List (ホワイトリストの起動)

NV DVR サーバーがリモートアクセスできるようにするためのアクセス許可リストです。IP アドレスを入力して **Add (追加)** をクリックします。または、IP アドレスの範囲を入力して **Add (追加)** をクリックします。リストから IP を削除するには、IP を選択して **Delete (削除)** ボタンをクリックします。入力をリセットするには **Clear (クリア)** ボタンをクリックします。



- Enable HandyViewer (ハンディビューアの起動)

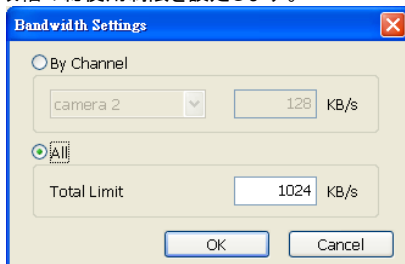
リモートユーザーが PDA または携帯電話を使って NV VDR サーバーにアクセスできるようにし、その際のビデオサイズや画質を選択します。



- Network Bandwidth Limit (ネットワーク帯域幅制限)

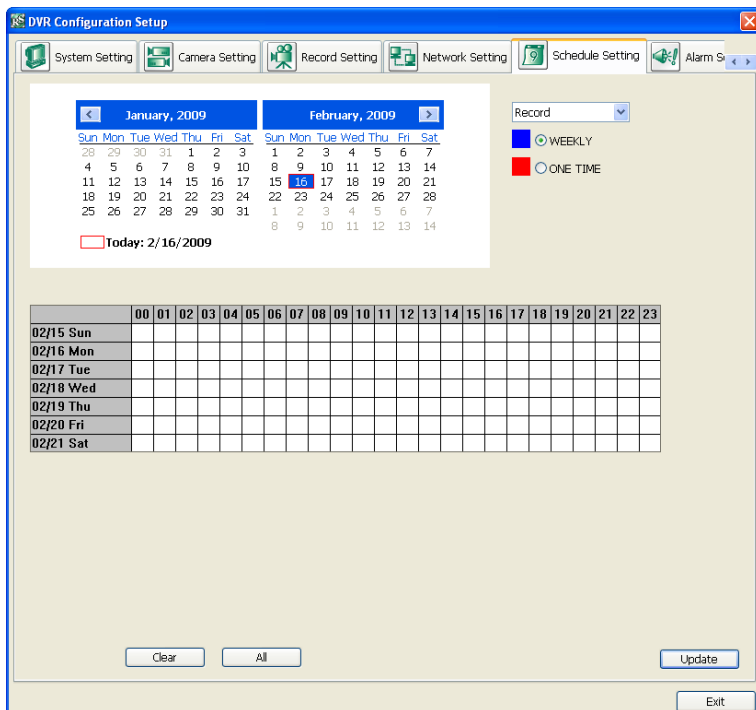
By Channel (各チャンネル): 各チャンネルごとにネットワーク帯域幅を設定します。

All (すべて): ネットワーク帯域幅の総使用制限を設定します。



3.4.2.5 スケジュールの設定

すべてのカメラに対して、週毎または単発で、録画、バックアップ、ネットワークの起動、再起動、アラームの解除などのスケジュールを行います。00 から 23 までの数字は、24 時間表示の時間を表しています。一番左の列には、1 週間分の日付が表示されます。



スケジュールの設定方法

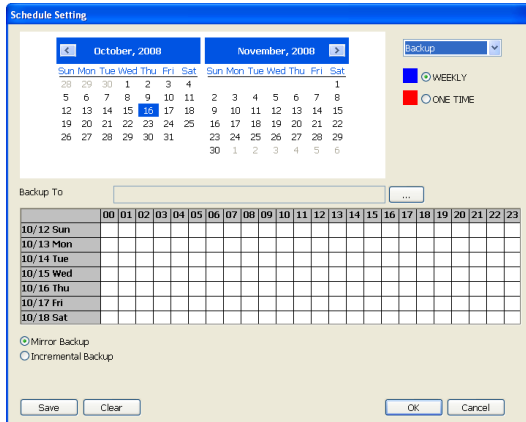
1. カレンダーの日付を選びます。◀と▶のボタンでカレンダーを左右に移動させることができます。
2. ドロップダウンリストからスケジュールに組み込みたい条件を選択します。

- **Record (録画)**

録画設定に基づいて、設定時刻にすべてのカメラでビデオ録画を開始させます。

- **Backup (バックアップ)**

バックアップするファイルパスを ボタンをクリックして指定します。



- ✓ **Mirror Backup (ミラーバックアップ):** すべてのデータのコピーを決められた時刻に設定されたバックアップパスに従って保存します。
- ✓ **Incremental Backup (増分バックアップ):** 前回のデータからの増分のみバックアップします。

i バックアップするフォルダと保存するフォルダが同じドライブ上にないことを確認してください。

- **Enable Network (ネットワークの起動)**

NV DVR リモートシステムが設定時刻にアクセスするようにします。設定時刻後は、ネットワーク機能が解除されます。ネットワーク機能が既に有効になっている場合、設定時刻が終了してもネットワーク機能は解除されません。

- **Reboot (再起動)**

設定した時間に PC を再起動します。

i この機能を使用する場合、ログイン時に Windows OS がユーザー名とパスワードを要求しないように設定されていなければなりません。そうすれば、システムは NV DVR プログラムを実行させることができます。

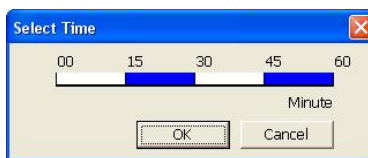
- **Disable Alarm (アラーム解除)**

一時的に設定した時刻のアラームを解除します。

- **Turn on Relay # (作動リレー番号)**

設定時刻にリレーを作動させることができます。リレーが接続されていない場合、作動リレー番号機能はドロップダウンリストに表示されません。リレー番号は接続されているリレーの個数によって変わります。

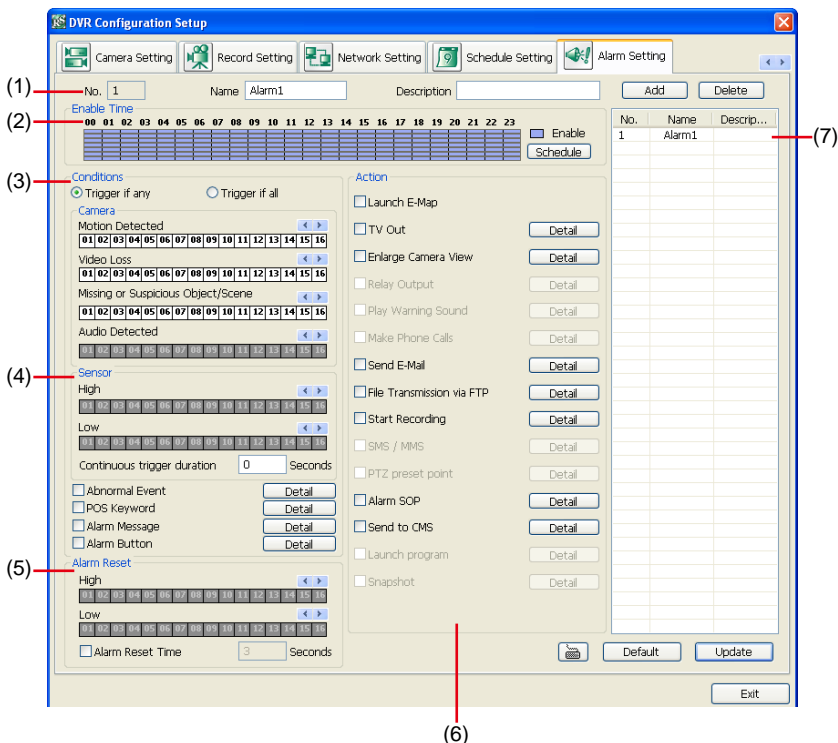
3. 1 週間単位か単発かを指定します。☉ をクリックして選択します。
4. ブロックをクリックして、スケジュールを設定します。または、**ALL (すべて)** をクリックしてすべてのブロックを選択します。設定を保存するには、**Save (保存)** をクリックします。設定を解除するには、**Clear (クリア)** をクリックします。



5. スケジュールの設定を終了するには、**OK** をクリックすると設定が保存されて終了します。**Cancel (キャンセル)** をクリックすると設定を保存しないで終了します。


3.4.2.6 アラームの設定

新しいアラーム設定を追加するには、**Add (追加)** をクリックします。選択したアラーム設定を削除するには **Delete (削除)** をクリックします。設定を保存しないで終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。工場出荷時の設定状態に戻す場合には、**Default (初期設定状態)** をクリックします。



アラームの設定方法:

1. **Add (追加)** をクリックして、新しいアラーム設定を挿入し設定します。アラーム設定を変更したい場合は、(7) **Alarm Setting List (アラーム設定リスト)** で該当する項目をクリックしてください。
2. (1) **Alarm Setting number/Name/Description (アラーム設定番号/名称/説明)** では、下記のリストに選択されたアラームの設定番号が表示されます。アラームの名称と説明を記入します。
3. (2) **Enable Time (起動時刻)** の 00 から 23 までの数字は、24 時間表示の時間を表しています。時刻を選択して、アラーム機能を起動または解除したいブロックをクリックしてください。解除されると、ブロックの色が白色に変わります。
4. (3) **Conditions (条件)** では、“**Trigger if any (どれかが合致したら起動)**”を設定すると、条件のどれかが合致したときにアラームを起動させることができ、“**Trigger if all (すべてが合致したら起動)**”を設定すると、条件がすべて合致したときにアラームを起動させることができます。
 - カメラセクションでは、**Motion Detected (モーション検出)** や **Video Loss (ビデオ消失)** でカメラ番号(01~16)を選択してクリックすると、システムがアラームを起動させる条件を設定することができます。
 - **Missing and Suspicious Object Detected (物体消失または疑わしい物体の検出)** でカメラ番号(01~16)をクリックして、画面上的特定の物体を選択(詳細設定でカメラ番号を右クリック)しておく、その特定の物体が消失したり疑わしい物体である場合、システムがアラームを起動します。*(NV 取扱説明書の第 5.9.12 章も参照)* **Scene Change (場面変更)** では、カメラが動かされたときにもシステムがアラームを起動します。

- **Voice Detection (音声検出)** でカメラ番号(01~16)をクリックすると、異常な音声を検出したときにシステムがアラームを起動します。
5. **(4) Sensor (センサー)** では、センサー番号を選択(◀と▶を使用してセンサーを選択)をクリックして、システムがアラームを起動する条件を設定します。センサーの通常の状態が高の場合、センサー状態を低に設定します。
- **Continue trigger duration (継続起動期間)**: センサーが検知してシステムがアラームを起動している時間を設定します。設定した時間だけアラームは鳴り続けます。
 - **Abnormal Event (異常イベント)** のチェックボックスを有効/無効に設定して、システムがアラームを起動するイベントの条件を設定します。
 - **Normal Reboot (通常の再起動)**: 異常な条件なしに DVR システムが再起動すると、システムが警告メッセージを送信します。
 - **Abnormal Reboot (異常な再起動)**: 異常な条件下で DVR システムが再起動すると、システムが警告メッセージを送信します。
 - **Recording is switched off (録画オフ)**: 録画が停止した場合、システムは警告メッセージを送信します。
 - **Network is switched off (ネットワークオフ)**: DVR システムのネットワーク接続が切れた場合、システムは警告メッセージを送信します。
 - **Hard Disk failed (ハードディスク不具合)**: ハードディスクが正常に作動しない場合、システムは警告メッセージを送信します。
 - **Temperature (温度)**: システムが警告メッセージを送信する制限温度を設定します。DVR システムの温度が制限温度を超えた場合、システムが警告メッセージを送信します。
-
-  温度設定は NV6000T カードでのみ使用できます。
-
- **Illegal Entry (不法侵入): Object Counting (物体計数)** セクション(*NV取扱説明書 第 5.2.1 章*も参照)で設定された選択区域の間で物体が移動した場合、システムは警告メッセージを送信します。入力値(物体が区域 1 から区域 2 へ移動したか、または、区域 2 から区域 1 へ移動したか)と、システムアラーム検出用カメラを選択します。
- **POS Keyword (POS キーワード)** のチェックボックスにチェックを入れることによって、POS からのデータがキーワードとマッチするかどうかスキャンすることができます。(第 5.9.10 章も参照)
 - **Alarm Message (アラームメッセージ)** のチェックボックスにチェックを入れることによって、ユーザー自身のプログラムで外部アラームメッセージを起動させることができます。構成などの詳細については、最寄りの販売店にお問い合わせください。
 - **Alarm Button (アラームボタン)** のチェックボックスにチェックを入れることによって、手動アラーム機能を使用することができます。(NV取扱説明書 第 4.3 章 No.(17)も参照) アラームボタンをクリックして、アラームボタン番号を選び説明の欄に説明を記入すれば、手動でアラームが起動されたときのアラームメッセージを定義することができます。
6. **(5) Alarm Reset (アラームリセット)** でカメラ番号(◀と▶を使用してアラームを選択)をクリックして、アラームのリセット条件を設定します。アラームがリセットされると、その時点ですべてのアラームの作動が停止します。センサーの通常の状態が高になっている場合、センサー状態を低に設定してください。
- **Alarm Reset Time (アラームリセット時間)**: アラームを自動的にリセットする時間を設定することができます。動きを検出したリビデオ消失などでアラームが起動された場合、アラームはアラームリセット時間でリセットされます。
7. **(6) Action (動作)** では、アラーム条件が合致してアラームが起動されたときにシステムが実行するアラーム動作を設定することができます。
- **Launch E-Map (E-マップ起動)**
ミニ E-マップ画面を表示します。
 - **TV Out (テレビ出力)**
アラームが起動した時点以降のビデオのみを TV に表示させるように切り替えます。
 - a. ドロップダウンリストからカメラを選択することによって、アラームが起動したときにテレビ画面に表示させるカメラビデオを指定できます。
 - i. **Alarm Camera (アラームカメラ)**: アラームが起動されたときのチャンネルの画像をテレビ画

面に表示します。

- ii. **Camera # (1~32) (カメラ番号 1~32):** アラームが起動されたときに、テレビ画面に表示したいカメラを指定します。

b. **Retrieve time (復帰時間):** システムが自動的にテレビ画面を元の表示モードに復帰させるまでの時間を設定します。設定されていない場合、アラームビデオは手動で通常表示モードに戻すまで表示し続けます。復帰時間は 3 秒~600 秒までの間で設定できます。

- **Enlarge Camera View (カメラ画面拡大)**

アラームが起動した時点以降で、プレビュー/アドバンスモードでのみビデオを表示させるように切り替えます。

1. アラームが起動したときに画面に拡大表示するカメラビデオを指定するため、ドロップダウンリストからカメラを選択します。
 - i. **Alarm Camera (アラームカメラ):** アラームが起動されたときのチャンネルの画像を拡大表示します。
 - ii. **Camera # (1~32) (カメラ番号 1~32):** アラームが起動されたときに、拡大表示したいカメラを指定します。
2. **Retrieve time (復帰時間):** システムが自動的にテレビ画面を元のプレビューモードに復帰させるまでの時間を設定します。設定されていない場合、アラームビデオは手動でプレビューモードに戻すまで拡大表示し続けます。Retrieve time (復帰時間) は 3 秒~600 秒までの間で設定できます。

- **Send E-mail (E メール送信)**

電子テキストメッセージを送信します。

設定するには Send Email (E メール送信) チェックボックス横の **Detail (詳細)** をクリックしてください。E メール設定のダイアログボックスが表示されます。設定内容を保存して終了する場合は **OK** をクリックします。設定内容を保存せずに終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

(1) **Mail Server (メールサーバー)**

SMTP サーバーとポートを入力します。E メールシステムがユーザーIDを要求する場合、**Authentication (認証)** のチェックボックスにチェックを入れ、ユーザーID とパスワードを入力します。

(2) **Mail (メール)**

正しく動作するかチェックするには **Test Account (アカウントテスト)** ボタンをクリックします。

From (送信元): 送信者の E メールアドレスを入力します。

To and CC (受信者とコピー受信者): 受信者の E メールアドレスを入力します。複数の場合は、カンマまたはセミコロン(;)で区切ります。

Subject (件名): メッセージの件名を入力します。

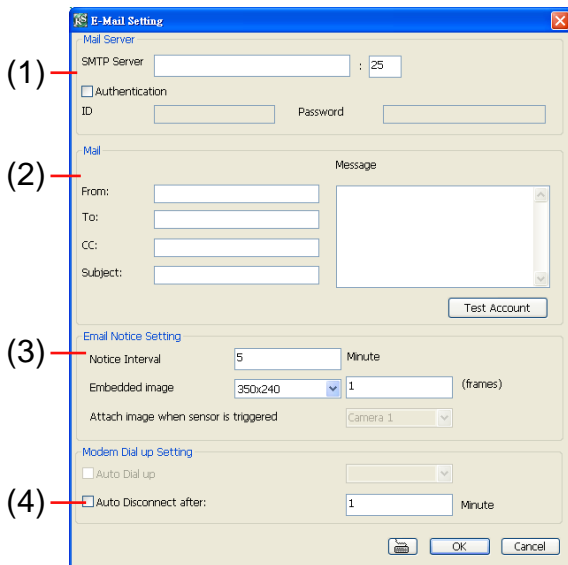
Message (メッセージ): メッセージを入力します。

(3) **Email Notice Setting (E メール通知設定)**

- **Notice Interval (通知間隔):** 別の E メール通知を送信するまでの時間間隔を設定します。
- **Embedded image (埋め込み画像)** : 画像のサイズを選択し、フレーム数を設定します。
- **Attach image when sensor is triggered (センサーが起動したときに画像を添付):** センサーが起動すると、システムは画像をキャプチャし、アラームメッセージと一緒に指定の E メールアドレスに画像を送信します。

(4) Modem Dial up Setting (モデムダイヤルアップ設定)

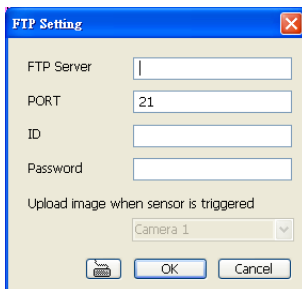
Auto Disconnect after (自動切断) チェックボックスにチェックを入れて時間を設定すれば、設定した時間で自動的に接続を解除することができます。



- File Transmission via FTP (FTP 経由のファイル送信)

FTP(ファイル送信プロトコル)を介してリモートコンピューターにファイルをアップロードします。

1. FTP によるファイル送信のチェックボックスの横にある **Detail (詳細)** をクリックします。
2. FTP 設定ダイアログボックスに、FTP IP、ポート、ユーザーID、パスワードを入力します。
3. **OK** をクリックすると設定が保存されて作業が終了します。**Cancel (キャンセル)** をクリックすると設定が保存されずに終了します。

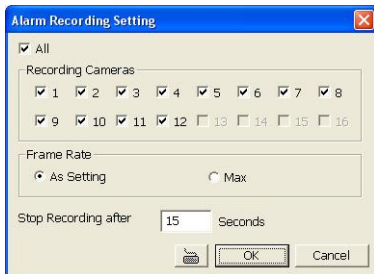


- Start Recording (録画開始)

選択したカメラからのビデオを録画します。

1. 録画開始のチェックボックスの横にある **Detail (詳細)** をクリックします。
2. アラーム録画設定ダイアログボックスで、ビデオ録画を動作/解除するカメラを選択します。**ALL (すべて)** をクリックするとすべてのカメラが選択されます。
3. フレーム速度の選択で **As Setting (設定通り)** を選択すると、録画設定に基づくフレーム枚数を録画し、**Max (最大)** を選択すると、利用可能な速度に基づいて最大フレーム枚数を録画します。
4. 録画停止時間のテキストボックスに、アラームが終了した後もプログラムが録画を継続する時間を秒数で入力します。

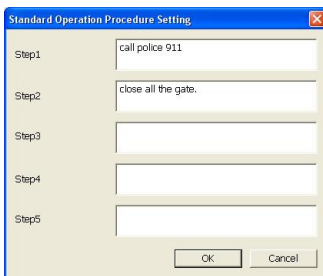
5. **OK** をクリックすると設定を保存して作業を終了し、**Cancel (キャンセル)** をクリックすると設定を保存せずに終了します。



- **Alarm SOP (Standard Operation Procedure) (アラーム標準操作手順)**

アラームが起動した際の手順に関する指示をリスト表示します。

アラーム SOP のチェックボックスの横にある **Detail (詳細)** をクリックします。ステップのテキストボックスに、アラーム起動時の標準プロトコルを入力します。アラームが起動すると標準操作手順設定のダイアログボックスが表示されます。**Next (次へ)** をクリックすると次の指示が表示され、**Back (戻る)** をクリックすると前の指示に戻り、**Finish (終了)** をクリックすると終了し、**Abort (中断)** をクリックすると手順が中断されます。



- **Send to CMS (Central Management System) (CMS へ送信)**

アラームが起動したときにビデオを CMS に送信し選択されたカメラを起動または解除します。

Send to CMS (CMS へ送信) のチェックボックスの横にある **Detail (詳細)** をクリックします。CMS 設定で、CMS にビデオを送信するカメラの起動または解除を選択します。**All (すべて)** をクリックすると、すべてのカメラが選択されます。**OK** をクリックすると設定が保存されて作業が終了します。**Cancel (キャンセル)** をクリックすると設定が保存されずに終了します。

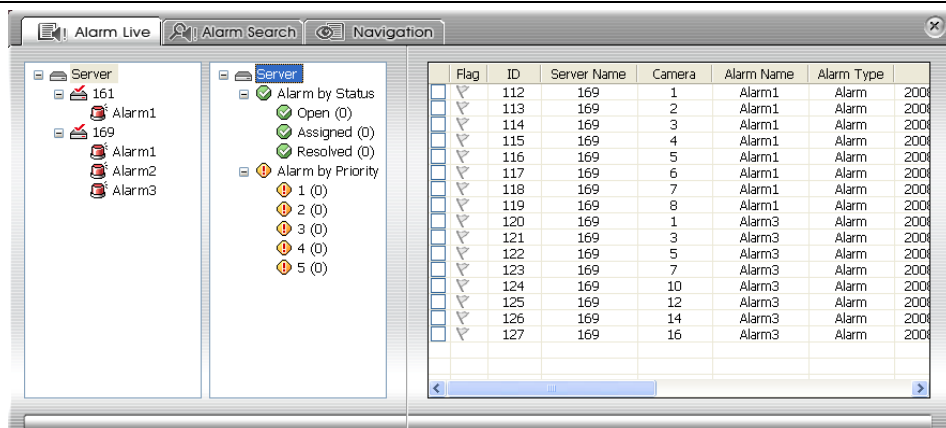


3.5 アラームセンターを使用するには

ライブアラームイベントの管理やアラームイベントの検索、モニタする DVR、カメラ、アラームフィルターの関連パラメータのナビゲートを行うことができます。



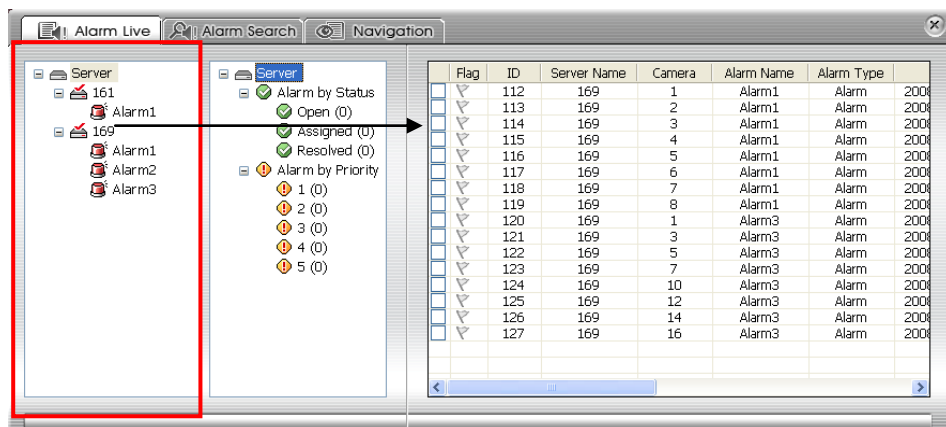
CMS GOLD バージョンのみアラームセンターのすべての機能が使用できます。



3.5.1 ライブアラームイベントの管理

別のオペレータにアサインするためアラームを選択することができ、アラーム優先度の変更やアラームのステータス変更ができます。

1. **Alarm Center (アラームセンター)** をクリックします。
2. **Alarm Live (アラームライブ)** タブを選択します。
3. DVR を選択するかアラームのツリーを展開させて、アラームライブ ウィンドウの左欄からアラームを選択します。




4. 選択した DVR またはアラームのすべてのアラームイベントが表示されます。
5. 選択するアラームイベントのチェックボックスをクリックして、チェックマークを入れてください。
6. ユーザーが管理したいアラームをダブルクリックすると、アラーム情報設定のウィンドウが表示されます。

Alarm Information Setting [X]

Server Name:	Alarm Name:	Alarm Type:	Alarm Description:
161		Video Loss	Video Loss CH: 14
Time:	Priority:	State:	Operator:
2008/12/16 11:37:40	3	Open	1

Note:




7. **Edit Information (情報編集)** をクリックして、アラームを編集します。

Alarm Information Setting [X]

Server Name:	Alarm Name:	Alarm Type:	Alarm Description:
169	Alarm1	Alarm	ALARM index=226
Time:	Priority:	State:	Operator:
2008/12/16 10:55:36	3	Open	1

Note:



8. アラームの **Priority (優先度)**、**State (状態)**、**Operator (オペレータ)** を変更できます。説明やメモを **Note (備考)** 欄に入力します。そして、**Save (保存)** をクリックして、変更内容を保存します。

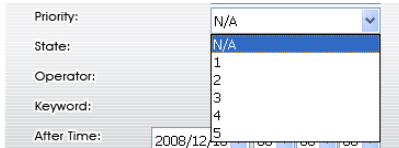
9. 終了するには、**Cancel (キャンセル)** をクリックします。
10. **Run MiniCenter (Minicenter 起動)** をクリックして、Minicenter ウィンドウを呼び出します。(第 3.4 章も参照)
11. ステータスや優先度によって、アラームイベントを表示させることができます。アラームライブ ウィンドウの中央の欄からアラームイベントのステータスまたは優先度を選択すれば、右側の欄にその結果が表示されます。

i アラームイベントの優先度は、リモート DVR サーバーで設定されます。CMS システムが受信したアラームイベントの優先度をカスタム化することができます。再アサインされたすべてのアクションは、CMS システムに記録されます。

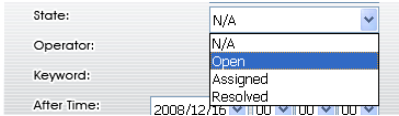
Flag	ID	Server Name	Camera	Alarm Name	Alarm Type	
<input type="checkbox"/>	112	169	1	Alarm1	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	113	169	2	Alarm1	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	114	169	3	Alarm1	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	115	169	4	Alarm1	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	116	169	5	Alarm1	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	117	169	6	Alarm1	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	118	169	7	Alarm1	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	119	169	8	Alarm1	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	120	169	1	Alarm3	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	121	169	3	Alarm3	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	122	169	5	Alarm3	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	123	169	7	Alarm3	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	124	169	10	Alarm3	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	125	169	12	Alarm3	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	126	169	14	Alarm3	Alarm	2008
<input type="checkbox"/>	127	169	16	Alarm3	Alarm	2008

12. アラームイベントを管理するには、上記のステップ 6 から 10 に従って操作してください。

- **Priority (優先度):** 検索するアラームの優先度を選択します。

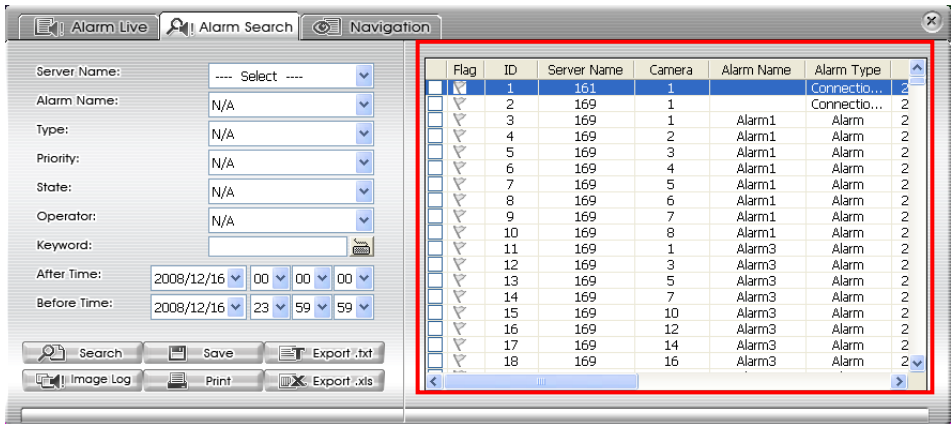


- **Status (ステータス):** 検索するアラームステータスを選択します。



- **Operator (オペレータ):** 検索するオペレータを選択します。
- **Keyword (キーワード):** 検索する特定の文章を入力します。
- **After/Before Time (前後の時間):** 検索する前後の時間を入力します。

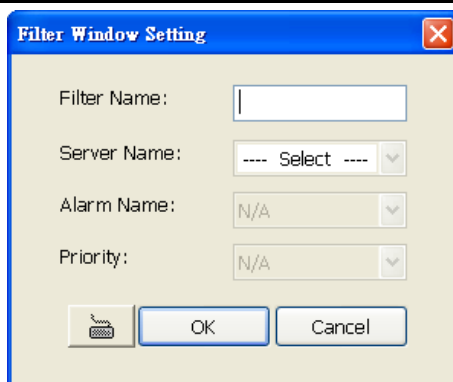
検索条件を設定し **Search (検索)** をクリックすれば検索を開始します。検索条件が何も設定されなかった場合、すべてのアラームイベントが結果として表示され、再度 **Search (検索)** ボタンがクリックされるまで検索は継続されます。検索結果は、アラーム検索ウィンドウの右側の欄に表示されます。





別のオペレータにアサインするためアラームを選択することができ、アラーム優先度の変更やアラームのステータス変更ができます。(第 3.5.1 章 も参照)

検索条件に基づいてフィルターを作成することができます。**Save (保存)** ボタンをクリックすると、**Filter Window Setting (フィルターウィンドウ設定)** ダイアログボックスが表示されます。フィルター名を入力して、**OK** をクリックしてください。

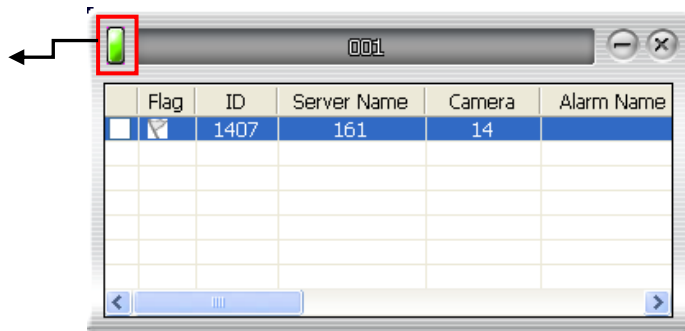
i **Navigation (ナビゲーション)** セクションで、フィルターを作成することもできます。(第 3.5.3 章も参照)



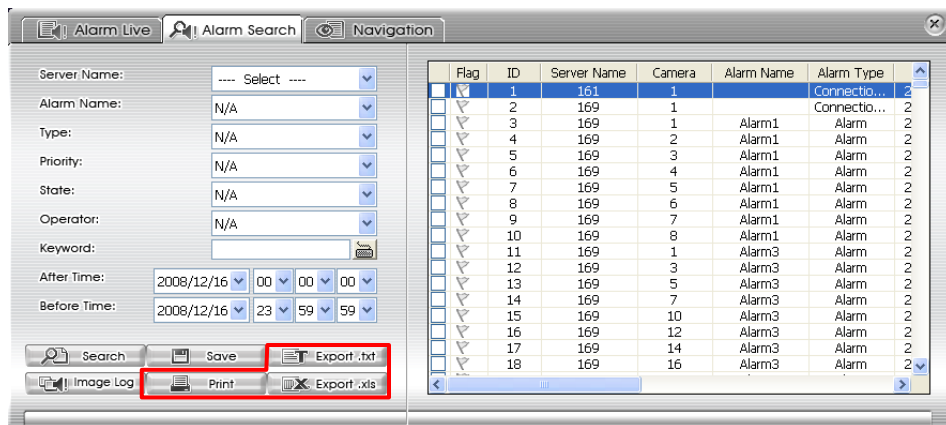
The dialog box titled "Filter Window Setting" has a blue title bar with a close button (X). It contains four input fields: "Filter Name:" with a text box, "Server Name:" with a dropdown menu showing "---- Select ----", "Alarm Name:" with a dropdown menu showing "N/A", and "Priority:" with a dropdown menu showing "N/A". At the bottom, there is a printer icon, an "OK" button, and a "Cancel" button.

CMS システムが同じアラームイベントを受信した場合、フィルターは赤色の点滅になります。フィルターを最小化する場合は  をクリックし、フィルターを閉じる場合は  をクリックします。

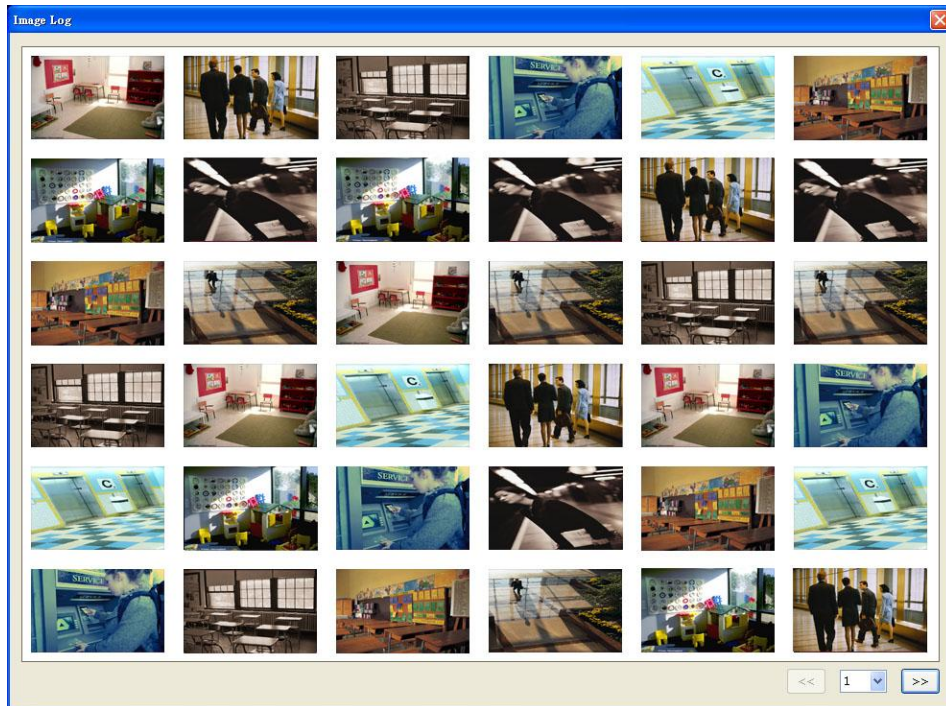
アラームを受信すると赤色の点滅になります。



Print (印刷) ボタンをクリックすることによって、検索結果を印刷することができます。また、**Export .txt (.txt エクスポート)** ボタンまたは **Export .xls (.xls エクスポート)** ボタンをクリックすることによって *.txt 形式や *.xls 形式で検索結果を保存することができます。



アラームイメージを表示させるには、**Image Log (イメージログ)** ボタンをクリックします。イメージログ ウィンドウが表示されます。イメージログをダブルクリックして、MiniCenter ウィンドウ(第3.4章も参照)を呼び出します。<< や >> ボタンをクリックして、前ページや次ページを表示することができます。

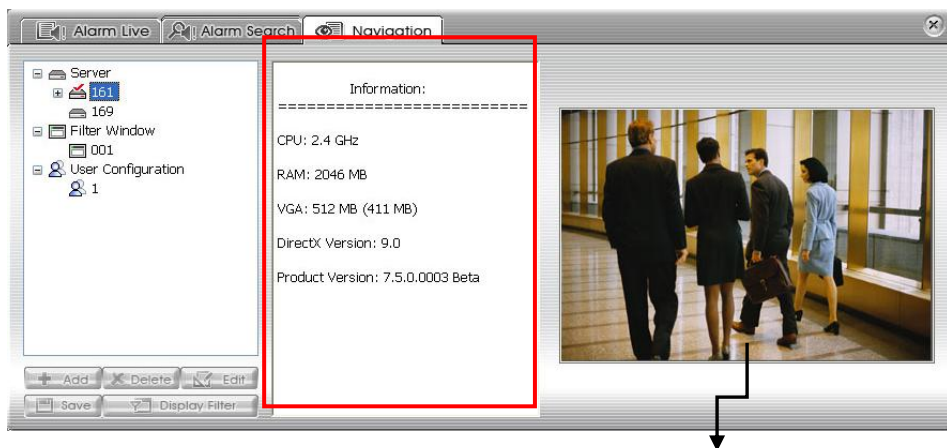


3.5.3 アラーム情報のナビゲート

DVR、アラーム、フィルター、ユーザーの各情報を表示することができます。



ナビゲーション機能は、USB ドングル(CMS GOLD バージョン)が取り付けられているとき使用できます。

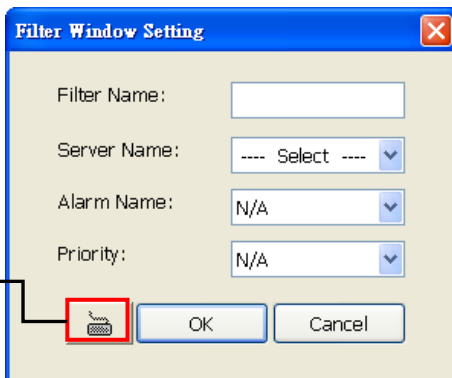


選択されたアラームのイメージ

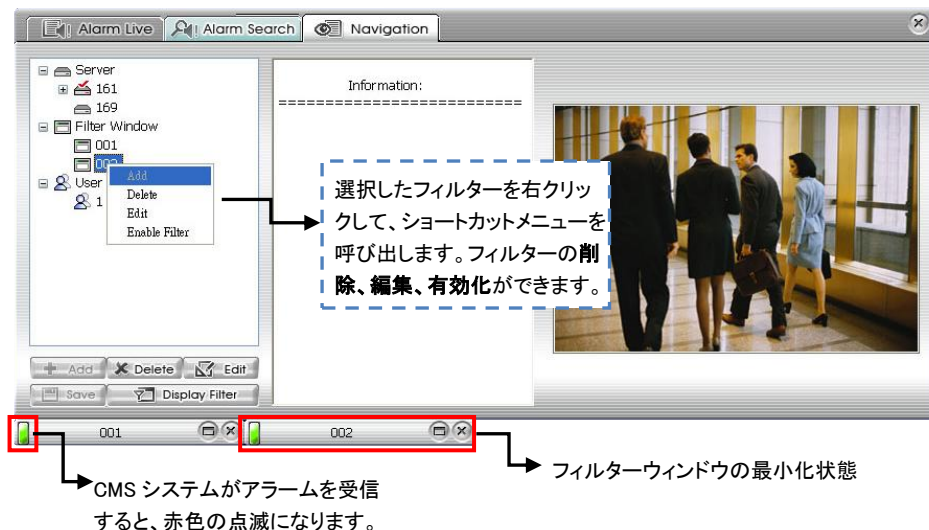
表示させたい DVR、アラーム、フィルター、ユーザーを選択してください。中央の欄に情報が表示されます。また、右側の欄にはアラームのイメージが表示されます。

フィルターウィンドウは、現在存在するフィルターを表示し、**Add (追加)** をクリックすることによってフィルターを追加できます。Filter Window Setting (フィルター ウィンドウ設定) のダイアログボックスにフィルター名を入力し、DVR サーバー名、アラーム名、アラームの優先度を選択します。

キーボードが使用できない場合、クリックするとスクリーンキーボードを表示できます。

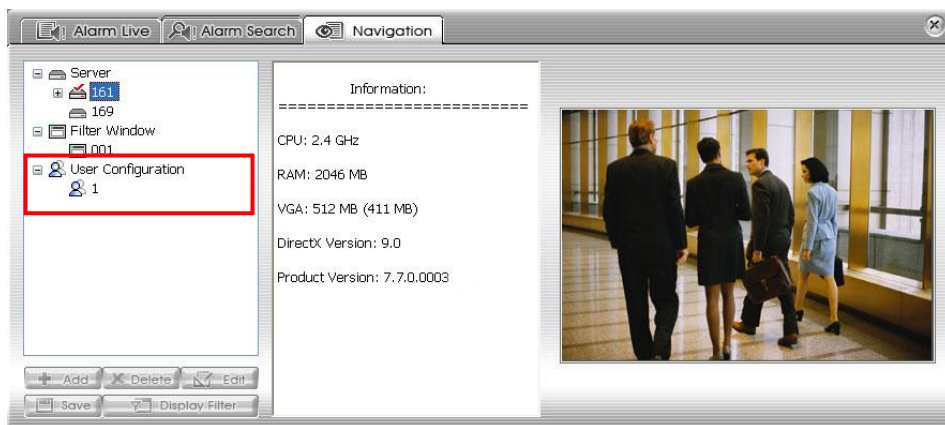


フィルターを削除するには、フィルターを選択して **Delete (削除)** をクリックします。フィルターを編集するには、**Edit (編集)** をクリックします。フィルターを選択して **Display filter (表示フィルター)** をクリックすると、フィルターが閉じている場合に表示するフィルターを呼び出すことができます。




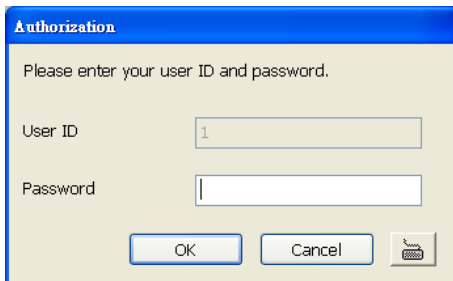
■ ユーザーアカウントを表示する

User Configuration にて、現在オンラインになっている人を表示できます。



第4章 CMS システムのカスタム化

CMS アプリケーションでは、 ボタンをクリックすることによって CMS システムのカスタム化ができます。Authorization (認証) ダイアログボックスには、管理者ユーザーID とパスワードを入力します。



The image shows a dialog box titled "Authorization" with a blue header. The main area is light beige and contains the text "Please enter your user ID and password." Below this text are two input fields: "User ID" with the value "1" and "Password" which is empty. At the bottom of the dialog are three buttons: "OK", "Cancel", and a small icon of a hand pointing to a screen.

CMS のコンフィグレーションを設定するセクションが表示されたら、設定を変更したいボタンを選んでクリックします。



4.1 システム設定

システム設定ダイアログボックスでは、**OK** をクリックすると新しい設定のリロードを開始し、**Cancel** (キャンセル) をクリックすると保存せずに終了します。

The screenshot shows the 'System Setting' dialog box with the following fields and sections highlighted by numbered callouts:

- (1) Alarm network port: 80
- (2) Database: Local (selected), MySQL (unselected). Fields for Port (3306), Password, and Alarm Record path (C:\CMS\alarm) are visible. Free Space: 25.55G (50.00G).
- (3) Miscellaneous: Date Format (mm/dd/yy), Display position (Detail), System controller (Setting), Google API key (Setting), Block windows OS hotkey, Auto Login when OS start, Default User (1).
- (4) Attention Please: Attention Enable, Times per day (5).
- (5) Configuration: Import, Export buttons.
- (6) Language: Language (English).
- (7) Alarm Video: One frame (selected), Video (unselected). Pre-Event Time: 0 Secs (0 ~ 10), Post-Event Time: 0 Secs (0 ~ 10).
- (8) Show when receive DVR alarm: Alarm image (selected), Alarm live video (unselected).
- (9) Monitor Text Setting: Show Information Text First (A/B), Left-Top (selected), Right-Top, Left-Bottom, Right-Bottom.

(1) Alarm Network Port (アラームネットワークポート)

DVR サーバーからのアラームビデオを受信するポートを選択します。現在のネットワークサービスと競合しないポートであれば、どのようなポートも指定することができます。

(2) Database (データベース)

- **Local (ローカル):** デフォルト設定。
- **MySQL:** CMS サーバーが Remite iAlarm エージェントに受信したアラームを送信している場合、データベースとして **MySQL** を選択してください。MySQL サーバーの通信 **Port (ポート)** とログイン **Password (パスワード)** を入力してください。



CMS システムが受信したアラームを Remote iAlarm センターに送信している場合、データベースとして **MySQL** を選択してください。

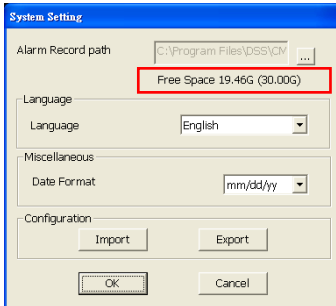
➤ Alarm Record Path (アラーム録画パス)

アラームフォルダは、アラームビデオクリップやログファイルを保存するため、初期設定では CMS アプリケーションがインストールされたフォルダに自動的に作成されます。アラームビデオの保存用として、ハードディスク容量は 30GB を推奨します。

1. **Setup (設定)** をクリックします。
2. 認証ダイアログボックスには、管理者ユーザー ID とパスワードを入力します。
3. **System (システム)** > ... の順にクリックします。Browse For Folder (フォルダ閲覧) ダイアログボックスにアラームビデオクリップを保存したい場所を指定します。新しくフォルダを作成したい場合は **Make New Folder (新規フォルダ作成)** をクリックします。**OK** をクリックすれば設定は完了し、**Cancel (キャンセル)** をクリックすれば設定されずに終了します。



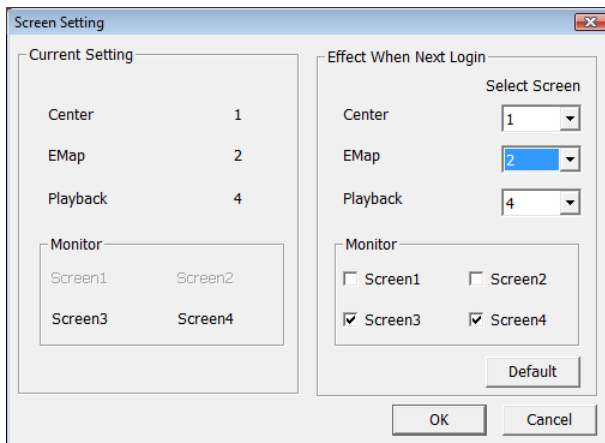
4. Alarm Record path (アラーム録画パス) テキストボックス下に表示されるテキストはハードディスクの空き容量を示しており、カッコ内はハードディスクの全容量を示しています。



5. システム設定ダイアログボックスで **OK** をクリックすると新しい設定のリロードを開始し、**Cancel (キャンセル)** をクリックすると新しい設定を保存せずに終了します。

(3) Miscellaneous (その他)

- **Date Format (日付形式)** – 異なる日付形式から選択します。
 1. **Setup (設定)** をクリックします。
 2. 認証ダイアログボックスには、管理者ユーザーID とパスワードを入力します。
 3. **System (システム)** をクリックします。
 4. Date Format (日付形式) ドロップダウンリストから希望する形式をクリックして選択します。
 5. システム設定ダイアログボックスで **OK** をクリックすると新しい設定のリロードを開始し、**Cancel (キャンセル)** をクリックすると新しい設定を保存せずに終了します。
- **Display position (表示場所)** – CMS システムでは、最大 4 台のモニタまで使用することができ、センター、E-マップ、モニタ、再生をどのモニタ画面に表示させるか表示場所をカスタム化することができます。**Detail (詳細)** をクリックして、表示画面の設定を選択します。表示画面について新たに設定した内容は、次のログイン時から有効になります。

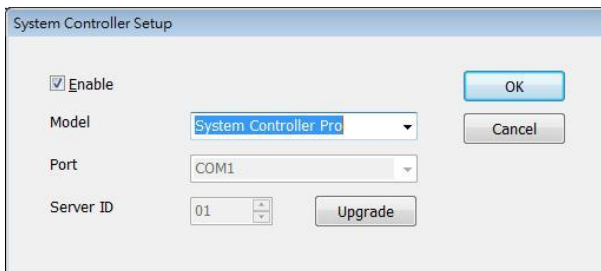


- **System Controller (システムコントローラー)** - システムコントローラー(オプション製品)を使用して、通信に関するパラメータを設定することができます。[第 4.1.1 章](#) または *user manual of the System Controller (システムコントローラーの取扱説明書)* もご参照ください。**Setting (設定)** をクリックして、システムコントローラーを設定します。

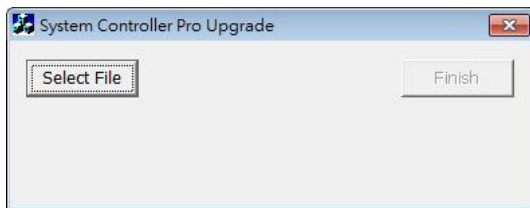


Model (モデル) 欄は、システムコントローラーのモデル名と一致させる必要があります。

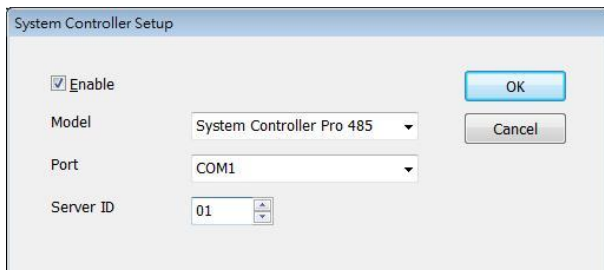
- **USB Connection (USB 接続)** :USB 経由でシステムコントローラーと CMS を接続することができます。下記の手順に従って、接続を設定します。



- ✓ **Enable** - チェックボックスにチェックを入れると、システムコントローラー機能を有効にできます。
- ✓ **Model - Model (モデル)** 欄で **System Controller Pro (システムコントローラープロ)** を選択します。
- ✓ **Upgrade - Upgrade (アップグレード)** - システムコントローラーのファームウェアをアップデートします。**Upgrade (アップグレード)** ボタンをクリックした後、**Select File (ファイル選択)** をクリック、ファイルを選択して **OK** ボタンをクリックすると、アップグレードが開始されます。**OK** をクリックした後、ファームウェアのファイルをアップグレードしたファイルへ移動させます。全ての手順が終了したら、**Finish (終了)** をクリックして終了します。



- **RS485 Connection (RS485 接続)** :システムコントローラーの RS485 ポートを経由して、CMS とシステムコントローラーを接続することができます。以下の手順に従って、接続を設定します。



- ✓ **Enable** – チェックボックスにチェックを入れると、システムコントローラー機能を有効にできます。
 - ✓ **Model** – **Model (モデル)** 欄で **System Controller Pro 485 (システムコントローラープロ 485)** を選択します。
 - ✓ **Port** – システムコントローラーと接続する通信ポートを選択します。**Setup (設定)** をクリックして、通信ポートの値を設定します。
 - ✓ **Server ID** – CMS サーバの ID を設定します(0~99)。この ID はシステムコントローラーが CMS サーバを選択する際に使用されます。
- **Google API Key(Google API キー)** : グーグルから提供された Google API キーを入力します ([Chapter 4.1.1](#) を参照)。Detail ([詳細](#)) をクリックして API キーを入力すると、Google map を E-Map として使用できます ([Chapter 4.6.1.1](#) を参照)

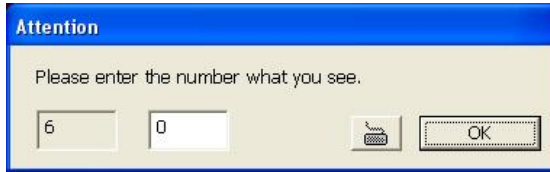


Goole map 機能は CM3000 Gold でのみサポートされています。

- **Block window OS hotkey (ウインドウズ OS ホットキーのブロック)**: [Ctrl-Alt-De] キー と [Windows] キーボードのキー機能を使用できないようにします。
- **Auto Login when OS start (OS スタート時に自動ログイン)**: オペレーティングシステムがスタートしたときに、CMS が起動します。

(4) **Attention Please (アテンションプリーズ)**

システムの監視者がどの程度注意を払っているかをチェックすることができます。**Times per day (1日の回数)** テキストボックスを使用して、1日にアテンションダイアログボックスを表示させる回数を設定することができます。**Analysis (分析)** をクリックすると、システムの監視者がどのくらいすばやく反応しているかをグラフでチェックすることができます。この機能を作動させると **Attention (アテンション)** ダイアログボックスが表示されます。システムの監視者は、左のテキストボックスに表示される数字と同じ数字を右のテキストボックスに入力して、**OK** ボタンをクリックしなければなりません。



(5) **Configuration (構成)**

CMS システム設定内容をインポート/エクスポートします。

(6) **Language (言語)**

選択した言語でツールのヒントやダイアログを表示できるように、システムをカスタム化することができます。初期設定言語は、英語です。

1. **Setup (設定)** をクリックします。
2. 認証ダイアログボックスには、管理者ユーザーID とパスワードを入力します。
3. **System (システム)** をクリックします。
4. Language (言語) ドロップダウンリストから希望する言語をクリックして選択します。

(7) **Alarm Video (アラームビデオ)**

アラームが発生したときに送信するビデオの形態を設定します。


- **One frame (1 フレーム):** アラームが発生したとき1つのビデオフレームのみ送信されます。
- **Pre/Post Event Time (イベントの前後時間):** 送信するイベントの前後の時間を設定します。

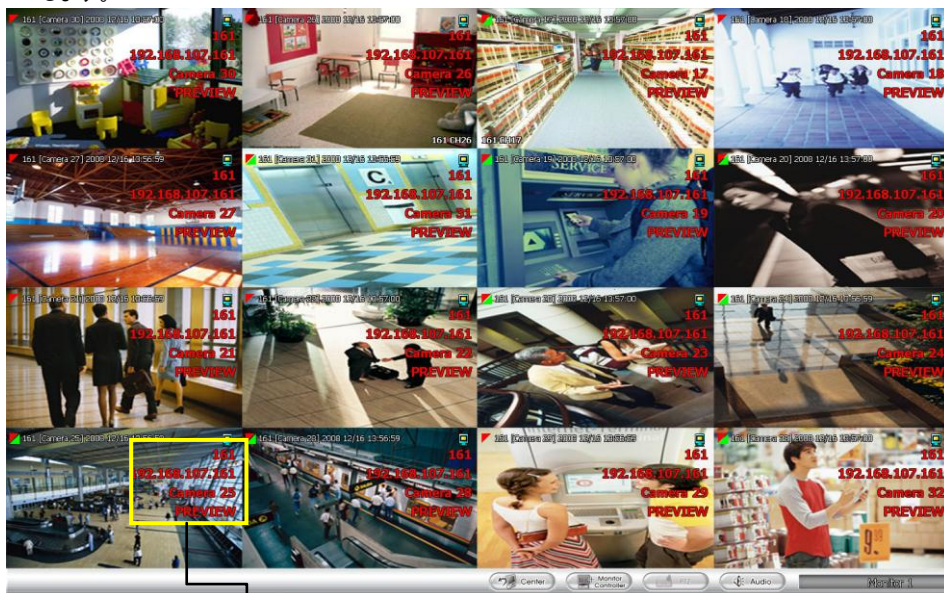
(8) **Show when receive DVR alarm (DVR アラームの受信時に表示)**

アラーム受信時の表示方法の選択

- **Alarm image (アラーム画像):** アラーム画像を表示します。
- **Alarm Live Video (アラームライブビデオ):** アラームライブビデオを表示します。

(9) Monitor Text Setting (モニタテキスト設定)

カメラ情報の有効/無効やモニタ画面上の表示位置を設定します。フォントの設定には、 をクリックします。



- ユーザーが設定したカメラ情報が表示されます。
- F1 キーで、カメラ情報の有効/無効ができます。

4.1.1 Google API キーを適用する方法

CMS システムで Google map 機能を使用するには、API キーを適用する必要があります。以下のステップに従って API キーを取得してください。



Google map 機能は CM3000 Gold バージョンでのみとなります。

1. Google Web ページ(www.google.com)にアクセスします。
2. すでに Google アカウントをお持ちの場合、**Sing in (サインイン)** をクリックして、直接ログインしてください。お持ちでない場合、**Create an account now (今アカウントを作成する)** をクリックしてアカウントを作成してください。

Google accounts

Sign in to personalize your Google experience.

Google has more to offer when you sign in to your Google Account. You can customize pages, view recommendations, and get more relevant search results.

Sign in on the right or [create one for free](#) using just an email address and password you choose.

- Gmail**
Get a fresh start with email that has less spam
- Web History**
Access and manage your web activity from any computer
- iGoogle**
Add news, games and more to the Google homepage
- Google Checkout**
A faster, safer and more convenient way to shop online

Sign in with your
Google Account

Email:

Password:

Stay signed in

[I cannot access my account](#)

Don't have a Google Account?
[Create an account now](#)

©2009 Google - [Google Home](#) - [Terms of Service](#) - [Privacy Policy](#) - [Help](#)

3. アカウントの作成ページで、必要なすべての情報を入力したら、**I accept, create my account (同意して、アカウントを作成する)** をクリックします。
4. 次に、確認のために Google アカウントを適用するときに入力した電子メールアドレスにアクセスします。確認後、Google アカウントはいつでも使用できます。

(Google 実際の画面に従って、アカウントを作成して下さい。上記は英語バージョンの例の説明となります)

5. アカウントの作成(ログイン)後、次の URL をアクセスしてAPIキーを申請して下さい。
<http://code.google.com/intl/en/apis/ajaxsearch/signup.html>
6. まずサインインし、契約条件を読んで受け入れます。**Generate API Key (API キーの生成)** をクリックします。「jdlfhsldfskjhjg」のような文字列で API キーのセットを取得する必要があります。

Google AJAX Search API

[Using an API key](#)
[AJAX Search Wizard](#)

Google AJAX Search API

[Developer Guide](#)
[Class Reference](#)
[Example Code](#)
[Code Playground](#)

[Samples](#)

Sign-up for an AJAX Search API Key

The Google AJAX Search API lets you embed Google Search in your personal web pages. A single AJAX Search API key is valid within a single directory on your web server, including any subdirectories. Signing up the URL <http://www.mygooglesearchsite.com/mysite>, for example, will create a key usable within all URLs in the <http://www.mygooglesearchsite.com/mysite/> directory. See the [API documentation](#) for more information. You must have a [Google Account](#) to obtain a Google API key, and your API key is tied directly to your Google Account. You can generate multiple API keys for your account if you have multiple web sites.

Here are some highlights from the terms of use for those of you who aren't lawyers (but be sure to read the entire document):

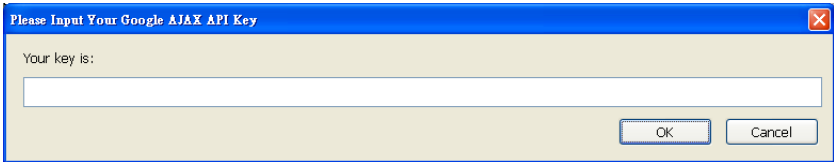
- Your web site must be freely accessible to end users.
- Google will upgrade this API periodically, and you must update your site to use new versions of the API as they become available. The Google AJAX Search API team will post notifications of updates on the [Google AJAX Search API Blog](#). If we make a change that isn't backwards-compatible, we will give you at least a reasonable amount of time to make the transition; during this period both versions of the API will be supported. Please transition your code as soon as possible to avoid interruptions in your service.

```

Google AJAX Search API Terms of Use

Thank you for using the Google AJAX Search API. By using the Google
AJAX Search API (the "Service"), you ("You") accept and agree to be
bound by the following terms and conditions (the "Terms of Use"). In
addition, if your use of the Google AJAX Search API incorporates
images or data from the Google Maps service, you agree to be bound by
the Google Maps Terms of Use. If your use of the Google AJAX Search
API incorporates videos or data from YouTube, you agree to be bound
    
```

7. CMS システムで、API キーを入力し OK をクリックします。



8. Google Map 機能の使用法については、第 4.6.1.1 章を参照してください。

4.2 DVR の設定

DVR サーバーのリストを表示します。最大 1000 台の DVR サーバーを使用することができ、DVR 設定の削除や編集ができます。



CMS を 1000 台の DVR が使用できるようにアップグレードするには、[第 1.1 章](#) をご参照ください。

4.2.1 DVR サーバーの追加と取外し

1. **Setup (設定)** をクリックします。
2. 認証ダイアログボックスに管理者ユーザーID とパスワードを入力します。
3. **DVR** をクリックします。
4. DVR Setup (DVR 設定) セクションでは、DVR サーバーの追加は **Add (追加)** をクリックし、削除は **Delete (削除)** をクリックし、設定の編集は **Edit (編集)** をクリックします。

DVR	Name	IP/Domain Name	Port	User	Status
1	90	192.168.153.90	5550	1	NV

Buttons: Add, Delete, Edit, OK, Cancel

5. DVR の追加を続けて行うには、テキストボックスにリモート DVR サーバーの名称、IP/ドメイン、ログインユーザー、パスワード、確認用パスワードを入力します。
6. イベントが発生したときに CMS 側にいる人に連絡するため、必要に応じて、連絡先などの情報を contact information (連絡先情報) 欄に記入します。
7. **Video Quality (ビデオ画質)** ドロップダウンリストから CMS システムのモニタスクリーン上のビデオ画質を選択します。初期値は **Auto (自動)** です。ビデオ画質を high (高) にすると **Show POS message (POS メッセージ表示)** ボックスを有効にできて、POS メッセージを CMS システムのモニタスクリーンに表示させることもできます。
8. 選択したカメラの記録済みビデオデータを保存するには、保存先を **Storage Path (保存パス)** で設定します。
9. CMS システムサーバー上の DVR サーバーの最大ビデオ録画保存容量を設定します。数値は、**Quota (割り当て)** ボックスに入力します。

DVR settings

Name: 161

IP/Domain Name: 192.168.107.161

Port: 5550

Login User: 1

Password: [Empty]

Confirm Password: [Empty]

Video Quality: Normal

Remote Control port: 5555

Storage Path: D:\RECORD

Quota: 3 GB

Contact Information

Phone: [Empty]

Mobile: [Empty]

Email: [Empty]

Address: [Empty]

Description: [Empty]

Show POS message

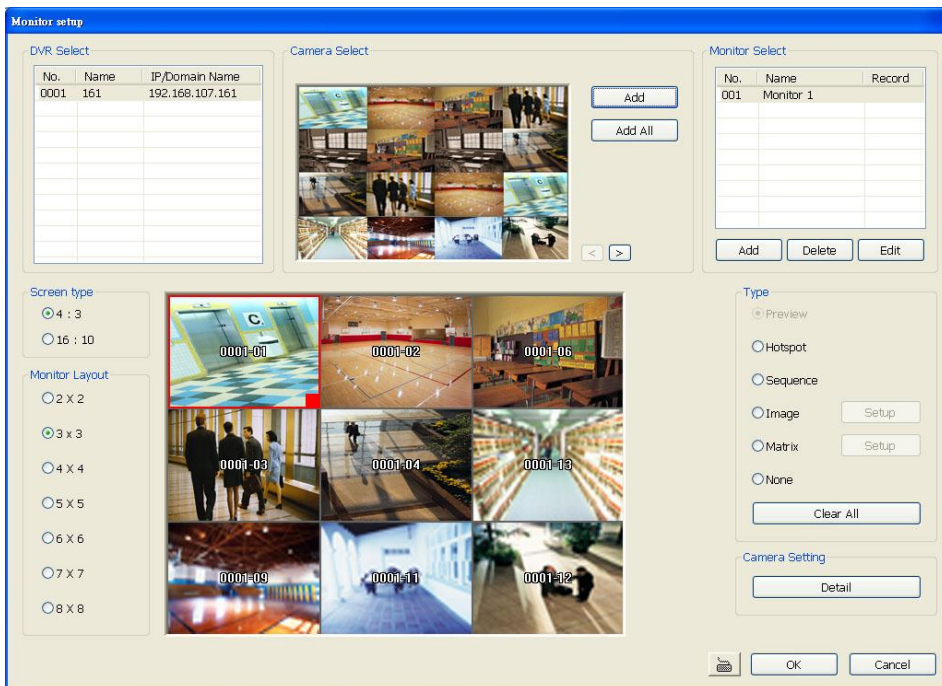
Free Space 4.11G (9.19G)

[OK] [Cancel]

10. **DVR Setting (DVR 設定)** ダイアログボックスで、**OK** をクリックすると新しい設定を適用し、**Cancel (キャンセル)** をクリックすると新しい設定内容を保存せずに終了します。
11. CMS システムは DVR サーバーに接続します。接続時間が非常に長くなってしまった場合、**Disconnect (接続解除)** ボタンをクリックして接続を解除することができます。

4.3 カメラの設定

別の DVR サーバーからカメラを選んで、同じスクリーンでモニタすることができます。選んだカメラは **Monitor (モニタ)** スクリーン上で作動します。(第 3.3 章 も参照)。



1. CMS メインインターフェースの **Setup (設定)** をクリックします。
2. 認証ダイアログボックスでは、管理者ユーザーID とパスワードを入力します。
3. **Camera (カメラ)** をクリックします。
4. モニタセットを作成するには、**Add (追加)** をクリックして **Name (名称)** 欄に名称(12文字まで)を入力します。
5. **Enable Autoscan (オートスキャンを有効する)** をマークし、**Detail (詳細)** をクリックしてモニタ上の表示順番を決めることができます。また、モニタセットがオートスキャン設定になっている場合、カメラの選択は要りません。
6. **Add into Autoscan (オートスキャンに追加)** リストを有効にすると、モニタ設定はオートスキャンリストの1つとして追加されます。
7. カメラビデオを録画するには、**Record (録画)** ボックスにチェックを入れます。チェックを入れないと、CMS システムのハードディスクにカメラビデオを保存することはできません。
8. モニタスクリーン上に時刻を表示するには、**Show Server Time (サーバー時間表示)** にチェックを入れます。
9. モニタセットの記録済みビデオを再生する場合は、**Enable Playback (再生有効)** にチェックを入れて、今から何秒後に再生を開始するか、**Start Playback Before (前に再生開始)** に時間(秒)を入力します。モニタスクリーン上に POS 情報を表示するには、**Show POS message (POS メッセージ表示)** にチェックを入れます。カメラから送信する **Frame Rate (フレームレート)** を設定することができますが、実際のフレ

ームレートはカメラ設定に基づいて決められます。

10. **OK** をクリックすると、設定を保存します。



録画については、CMS で 2 台のモニタセットまで使用することができます。

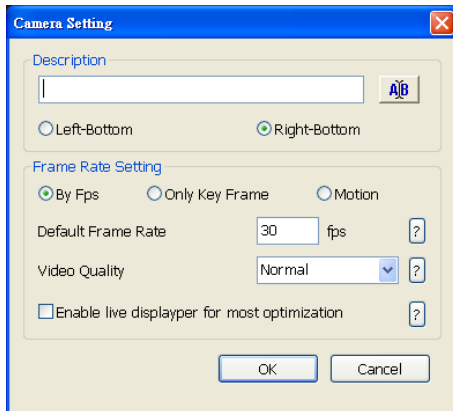
11. モニタセットが作成された後で、DVR サーバーを選択します。DVR サーバーのカメラは、**Camera Select (カメラ選択)** ウィンドウに表示されます。モニタセットとして DVR サーバーのカメラを別の DVR サーバーのカメラと組み合わせることができます。すべてのカメラを異なるモニタセットとして繰り返し選択することができます。
12. モニタサイズに基づき、画面タイプとして **4:3**(標準画面モニタ)または **16:10**(ワイド画面モニタ)から選択します。4:3 と 16:10 の画面タイプは、他のモニタレイアウトにも対応します。
13. カメラを追加するには **Add (追加)** ボタンをクリックして、追加したいカメラを選択します。選択したカメラは、**Monitor Layout (モニタレイアウト)**ウィンドウに表示されます。4:3 画面タイプは、最大 64 台まで追加できます。16:10 画面タイプは、最大 80 台まで追加できます。カメラを **Monitor Layout (モニタレイアウト)** ウィンドウから削除するには、カメラを選んで **Delete (削除)** ボタンをクリックします。**Clear All (すべて削除)** ボタンをクリックすれば、すべてのカメラを削除できます。チャンネルには、説明を入力することができます。



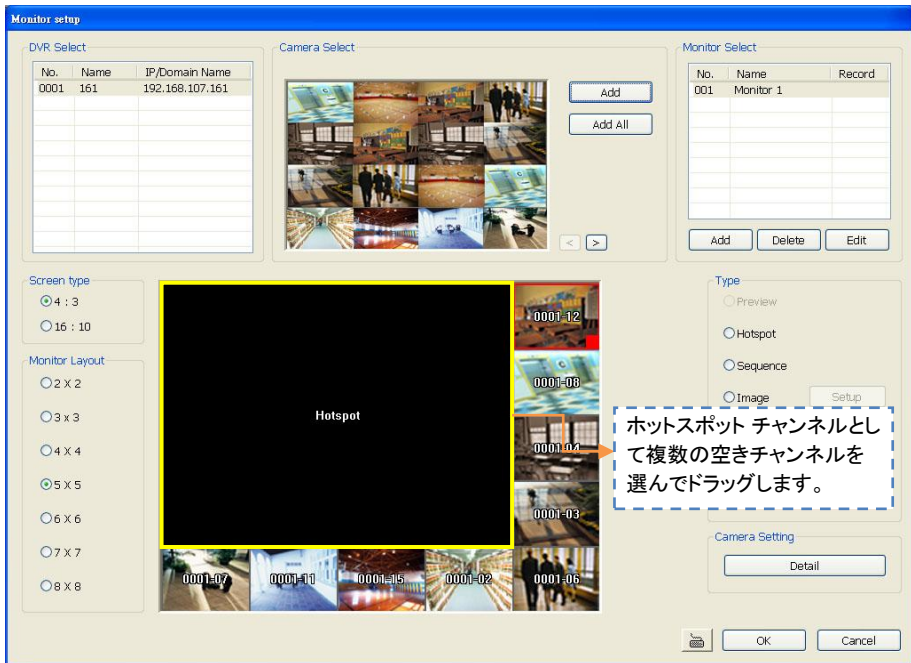
Add (追加) ボタンを使用せず、カメラチャンネルを Monitor Layout (モニタレイアウト) ウィンドウにドラックすることもできます。

14. モニタセット設定では、各カメラの名称、通信タイプ、フレームレートを設定することができます。モニタレイアウト ウィンドウからカメラを選択し、**Camera Setting (カメラ設定)** の **Detail (詳細)** ボタンをクリックします。カメラ名称を入力し、モニタスクリーン上にカメラ名を表示する位置 (**Left-bottom (左下)**)または **Right-bottom (右下)**) を選びます。 **AB** をクリックしてフォントを変更します。
15. 通信タイプはラジオボタン (**By Fps (Fps によって)**)、**Only Key Frame (キーフレームのみ)**、**Motion (動き)** をクリックして選びます。 **Frame Rate (フレームレート)** 欄にカメラの通信フレームレートを設定します。フレームレートの値は、ライブビューと録画設定の両方に適用されます。
16. **Video Quality (ビデオ画質)** - **High (高)**、**Medium (中)**、**Low (低)**、**Auto (自動)** も選択できます。 **Enable live displayer for most optimization (もっとも最適化されるようにライブディスプレイャーを有効にする)**

をマークすると、複数のチャンネルを表示しているとき、IPカメラ(jpeg メガピクセル)のライブビデオフレームレートが改善されます。



17. Monitor Layout (モニタレイアウト) ウィンドウでは、DVR サーバーから追加したカメラの代わりに、特別なタイプの機能を持つチャンネルを設定することもできます。Monitor Layout (モニタレイアウト) ウィンドウの空きチャンネル(NONE)の中から1つ選んで、希望のタイプ(Hotspot(ホットスポット)、Sequence(シーケンス)、Matrix(マトリクス)、Image(イメージ)、None(なし))のラジオボタンをクリックします。
 - **Hotspot (ホットスポット):** 選択したカメラ チャンネルのビデオを再生するためチャンネルを設定します。クリックとドラッグによって、ホットスポット チャンネル エリアとして複数のチャンネルを選択できます。



モニタスクリーンでは、右クリックしてカメラをホットスポット チャンネルにドラッグすることによって拡大表示することができます。

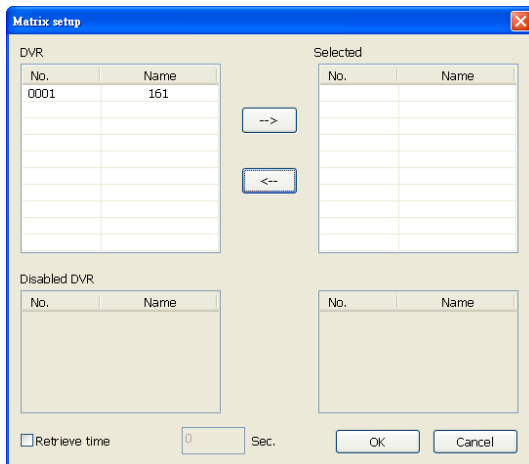


- **Sequence (シーケンス):** 選択したカメラチャンネルの映像が、順番に繰り返し自動的に入れ替わるように設定します。

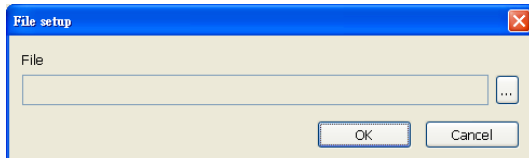
- **Matrix (マトリクス):** 選択した DVR サーバーからのアラームイベントを受信し表示するために、選択したチャンネルの設定をします。DVR サーバーを選んで **Setup (設定)** をクリックします。**Retrieve time (取得時間)** にチェックを入れて有効にすると、アラームイベントを表示する時間(0~255 秒)を設定することができます。**Retrieve time (取得時間)** が有効になっていない場合、アラームイベントは次のアラームイベントが受信されるまでスクリーン上に表示されません。



DVR 側で、CMS に送信するための Matrix (マトリクス) の有効化と設定を行う必要があります。(NV/SA/NX の取扱説明書の **Alarm Setting (アラーム設定)** をご参照ください)



- **Image (イメージ):** 選択したチャンネルにイメージを挿入します。イメージは、*.bmp と *.jpg 形式に対応します。**Setup (設定)** をクリックして、イメージの保存場所を指定します。

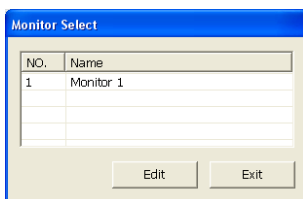


18. 設定内容を保存するには **OK** をクリックします。保存せずに終了するには **Cancel (キャンセル)** をクリックします。
19. モニタセットを削除するには、**Monitor Select (モニタ選択)** ウィンドウで選択して **Delete (削除)** ボタンをクリックします。
20. モニタセットを編集するには、**Monitor Select (モニタ選択)** ウィンドウで選択して **Edit (編集)** ボタンをクリックします。
21. モニタセットのモニタについては、[第 3.3 章](#) をご参照ください。

4.4 スケジュールの設定

すべてのカメラについて、1週間単位または単発的に録画やバックアップのスケジュールを組むことができます。

1. スケジュールするモニタセットを選択します。




録画機能が有効になっている場合にのみ、モニタセットのスケジュールができます。

2. カレンダーで日付を選択します。◀と▶のボタンで、カレンダーを左右に移動させることができます。
3. ドロップダウンリストから、希望のスケジュール条件を選択します。

- Record (録画)

Recording setting (録画設定)に基づいて、すべてのカメラで設定時刻にビデオ録画を開始させます。

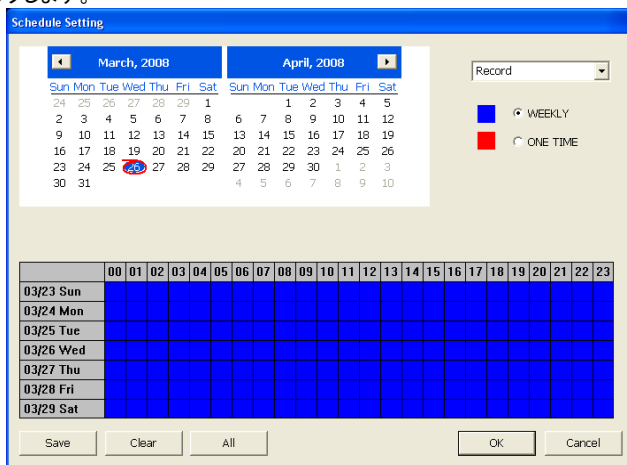
- Backup (バックアップ)

すべてのデータの設定時刻と、指定されたバックアップパスを別にコピーして保存します。DVRは未だアーカイブに含まれていないデータのみを自動的に更新してバックアップします。バックアップパスを指定するには、をクリックします。



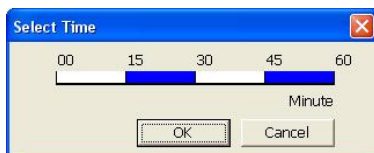
バックアップフォルダと保存フォルダが同じドライブ上にないことを確認してください。

4. 1週間単位または単発的のスケジュールを指定します。⊙ ボタンをクリックして選択します。
5. ブロックをクリックして、スケジュールを設定します(第4.4.1章も参照)。あるいは、All (すべて)をクリックして、すべてのブロックを選択します。設定を保存するには、Save (保存)をクリックします。設定を削除するには、Clear (クリア)をクリックします。
6. スケジュールの設定を終了するには OK をクリックし、設定を保存せずに終了するには Cancel (キャンセル)をクリックします。



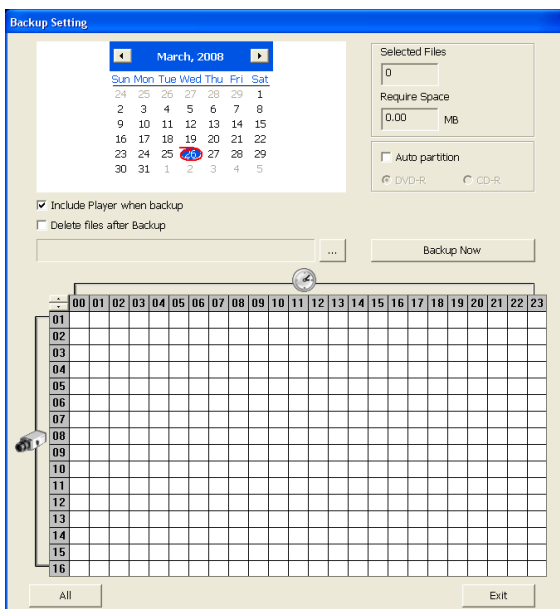
4.4.1 ある時間内の特定部分のスケジュール設定

1. 色の付いたブロックを右クリックします。
2. Select time (時間選択) のダイアログボックスで、設定したい時間帯をクリックして有効か無効かを設定します。
3. 設定を適用するには **OK** をクリックし、設定を保存せずに終了するには **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

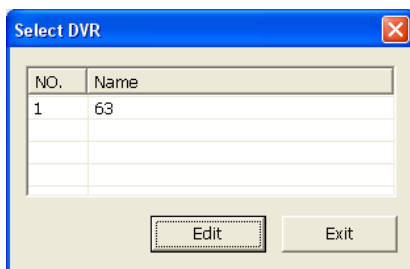


4.5 バックアップの設定

Backup Setting (バックアップ設定)のダイアログボックスで、00 から 23 までの数字は 24 時間表記の時計の時刻を表しています。01 から 16 までの数字は、カメラ番号を表しています。


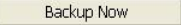


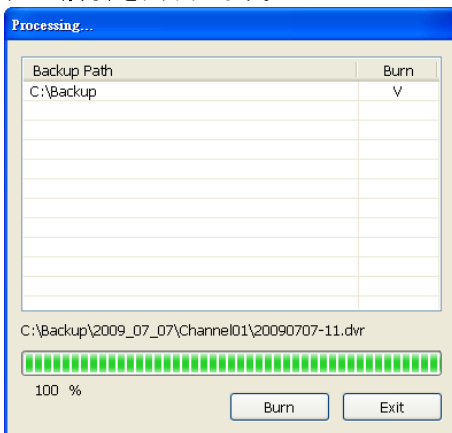
1. バックアップしたい DVR を選択します。



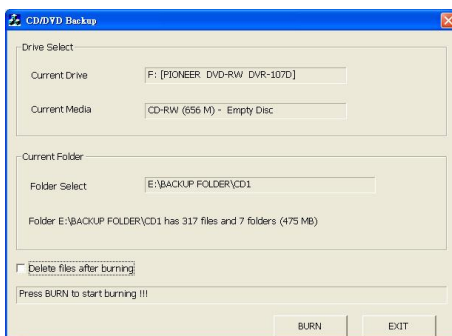
2. カレンダーでバックアップしたい録画ファイルの日付を選択します。◀ と ▶ のボタンで、カレンダーを左右に移動させることができます。
3. 下表で、青色のブロックのすべての行と列をクリックして、録画済みファイル、クリックカメラ(01~16)、時刻(00~23)を選択します。選択すると青色のブロックが赤色になります。白色のブロックはデータがないことを示しています。特定の時刻を設定したい場合、選択したブロックを右クリックし、開始時刻と終了時刻を入力します。
4. カレンダー横の情報をチェックします。
 - **Selected Files (選択されたファイル):** 選択されたファイルの数を示します。
 - **Require Space (必要なスペース):** 選択されたファイルの合計サイズを示します。
5. **Auto partition (自動分割)** を有効にして、DVD-R と CD-R で分割するファイルサイズを選択します。DVR は、DVD または CD ディスクに焼き付けることができるように自動的にバックアップし、ファイルサイズを分割します。
6. バックアップ時に保存フォルダにバックアップファイル再生用の **Qplayer (Q プレーヤ)** プログラムを含める場合は、**Include player when backup (バックアップ時にプレーヤを含める)** を有効にします。管理者ユー

ザーのみが、この機能の有効/無効を設定できます。

- 保存フォルダに録画ファイルを**保存したくない場合は、Delete files after Backup (バックアップ後にファイルを削除)** チェックボックスにチェックを入れます。
-  をクリックして、バックアップファイルを保存するパスを設定します。
-  をクリックすると、選択されたファイルのバックアップを開始します。
- バックアップを中止したい場合、Processing... (処理中...) のダイアログボックスの **Abort (中止)** をクリックします。バックアップが完了すると、バックアップパスのリストにバックアップされたファイルが表示されます。ファイルを CD に焼き付けるには、コンピューターに NERO 6 またはそれ以降のバージョンがインストールされている必要があり、リストからファイルを選択して **Burn (焼付け)** をクリックします。後で焼き付けるため作業を中止する場合は、**Exit (終了)** をクリックします。





- CD/DVD Backup (CD/DVD のバックアップ) のダイアログボックスで、Delete file after burning (焼き付けた後でファイル削除) のチェックボックスにチェックを入れると、焼き付けた後にバックアップファイルが削除されます。**Burn (焼付け)** をクリックすると開始され、**Exit (終了)** をクリックすると作業を中止して終了します。

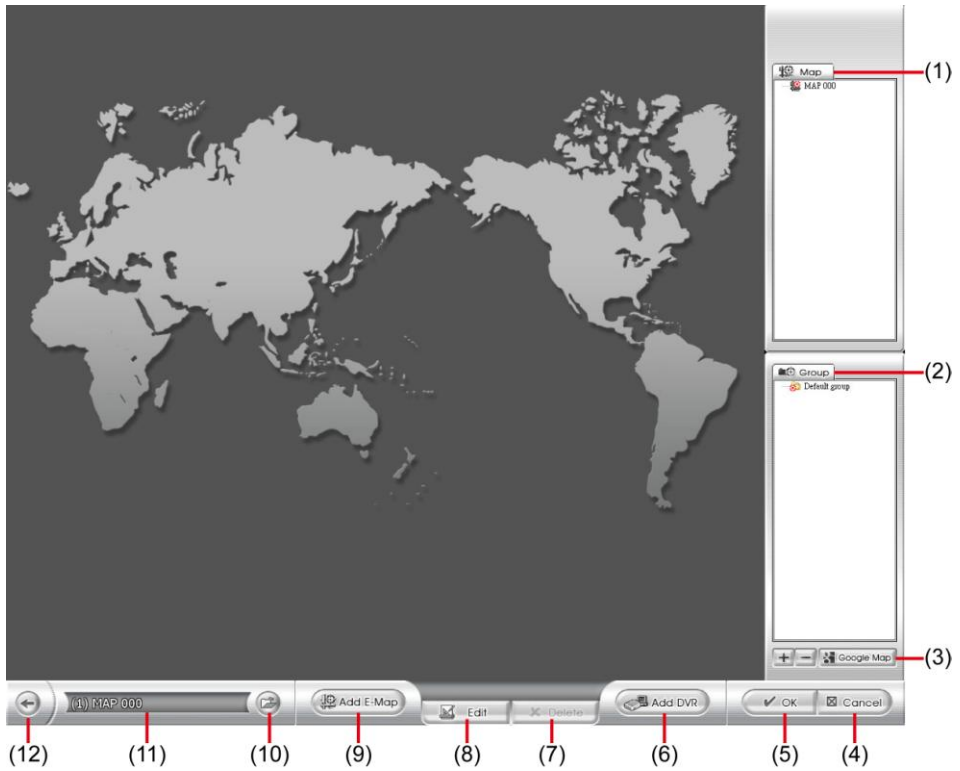


4.6 E-マップの設定

E-マップは、*.bmp や *.jpg 形式で最大 64 枚のマップを保持します。マップ内は階層構造になっています。マップ上に DVR アイコンを追加することもできます。


4.6.1 E-マップの設定

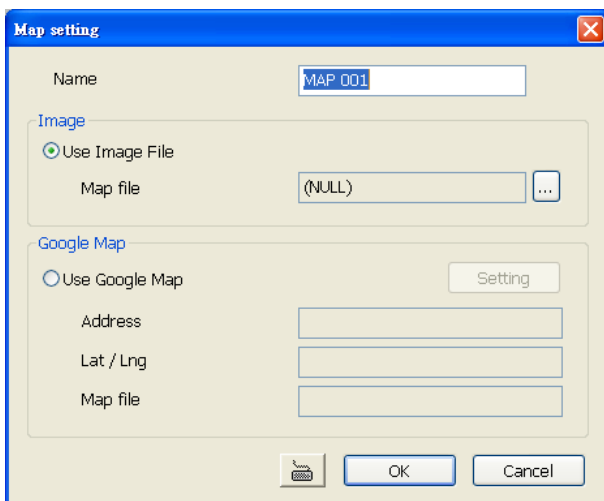
1. **Setup (設定)** をクリックします。
2. 認証ダイアログボックスに、管理者ユーザーID とパスワードを入力します。
3. **E-Map (E-マップ)** をクリックします。
4. CMS システムで複数のモニタを使用している場合、E-マップは指定したモニタに表示されます。CMS システムで 1 台のモニタしか使用していない場合、E-マップは CMS アプリケーションインターフェースの全面に表示されます。**Esc (エスケープ)** を押すか、**Center (センター)** のボタンをクリックして、CMS アプリケーションインターフェースに戻します。または、**F3** を押すと、再度 E-マップインターフェースに戻すことができます。
5. E-マップのインターフェース上で:
 - (1) **Map List (マップリスト)**: 追加された E-Map とすべての DVR サーバーを一覧表に出します。
 - (2) **Group List (Group リスト)**: 管理しやすくするために、グループの DVR サーバーに対してグループを作成できます。  で新規グループを追加します。Map List (マップリスト) から DVR をグループにドラッグするとグループに追加されます。グループを削除するには、  をクリックします。DVR サーバーをダブルクリックすると、DVR Watch (DVR ウォッチ) ウィンドウが呼び出されます (第 4.6.1.3 章も参照)。
 - (3) **Google Map (Google マップ)**: Google Map (Google マップ) をクリックして Google マップ機能を使用し、ユーザーが希望する場所マップを見つけ E-Map として保存します (第 4.6.1.1 章も参照)。Google マップ機能を有効にするには、第 4.1.1 章の Google API Key (Google API キー) を参照してください。
 - (4) **Cancel (キャンセル)**: E-Map インターフェースの設定を保存しないで終了します。
 - (5) **OK**: E-Map インターフェースの設定を保存して終了します。
 - (6) **Add DVR (DVR の追加)**: マップに DVR サーバーのアイコンを追加します。(第 4.6.1.2 章も参照)
 - (7) **Delete (削除)**: DVR サーバーを削除します
 - (8) **Edit (編集)**: 選択した DVR サーバーを変更します
 - (9) **Add E-Map (E-Map の追加)**: 新規マップを追加します。新しいマップが次のレベルとして現在のマップに追加されます。(第 4.6.1.1 章も参照)
 - (10) マップをロードして現在のマップに置き換える
 - (11) マップの現在の名前とレイヤを表示する
 - (12) マップの前のレイヤに戻る




E-マップを右クリックすると、ショートカットメニューを表示できます。

4.6.1.1 新しいマップの追加

1.  ボタンをクリックします。
2. 認証ダイアログボックスに、管理者ユーザーID とパスワードを入力します。
3. **E-map (E-マップ)** ボタンをクリックします。
4. E-Map にて、**Setup (セットアップ)** >> **Add Map (マップの追加)** ボタンをクリックすると、**Map setting (マップ設定)** ウィンドウが呼び出されます。



5. 新しいマップに名前を付けます。
6. **Use Image File (画像ファイルの使用)** または **Use Google Map (Google Map の使用)** を選択します。
1. **Use Image File (画像ファイルの使用) を選びます。**
 1.  をクリックして、マップファイルの保存場所を指定します。表示されたダイアログボックスで、場所およびマップを選択し、**Open (開く)** をクリックします。
 2. マップアイコンはマップ上にドラッグして移動させることができます。
 3. マップアイコンをダブルクリックすると、マップを表示させることができます。
 4. マップの編集や削除をするには、マップアイコンをクリックして **Edit (編集)** と **Delete (削除)** ボタンをマップインターフェース上に表示させます。マップの編集は **Edit (編集)** をクリックし、削除は **Delete (削除)** をクリックします。
 5. 新しい設定を適用する場合は **OK** をクリックし、新しい設定を保存せずに終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。



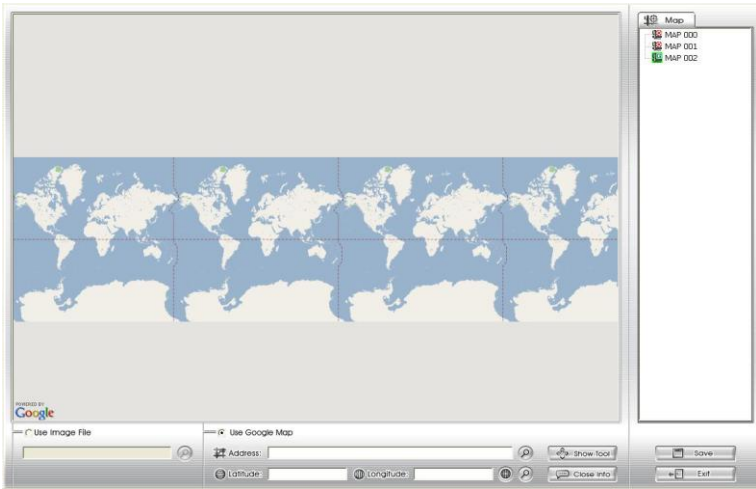
- 合計 64 枚までマップを追加することができます。
- マップ上を右クリックすると、ショートカットメニューを表示できます。

■ Use Google Map (Google Map の使用)




Google map 機能は CM3000 Gold バージョンでのみサポートされます。

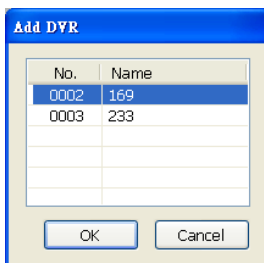
1. **Setting (設定)** をクリックすると、New map (新規マップ) ウィンドウが表示されます。



2. **Use Google Map (Google Map の使用)** を選択します
3. マップリストで MAP (マップ) を右クリックすると、マップの名前を変更することができます。
4. **Address (住所)** を入力すると、その場所のマップを見つけることができます。
5. また、**Latitude (緯度)** と **Longitude (経度)** を入力して場所のマップを見つけることもできます。
6. 場所のマップが見つかったら、**Save (保存)** をクリックしてマップを保存します。
7. 終了するには、**Exit (終了)** をクリックします。

4.6.1.2 DVR サーバーの追加

1.  ボタンをクリックします。
2. 認証ダイアログボックスに、管理者ユーザーID とパスワードを入力します。
3. **E-Map (E-マップ)** ボタンをクリックします。
4. **Add DVR (DVR 追加)** ボタンをクリックすると、DVR 追加ウィンドウが表示されます。
5. Add DVR (DVR 追加) ウィンドウから DVR サーバーを選択して、OKをクリックします。



6. DVR アイコンは、マップ上にドラッグして移動させることができます。
7. マップ上の DVR の編集や削除をするには、DVR サーバーアイコンをクリックして、**Edit (編集)** と **Delete (削除)** ボタンをマップインターフェース上に表示させます。DVR サーバーを編集するには **Edit (編集)** をクリックします(第 4.2.1 章 No.5~10 を参照)。マップから DVR サーバーを削除する場合、DVR サーバーアイコンをクリックし、**Delete (削除)** をクリックします。
8. 新しい設定を適用する場合は **OK** をクリックし、新しい設定を保存せずに終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。





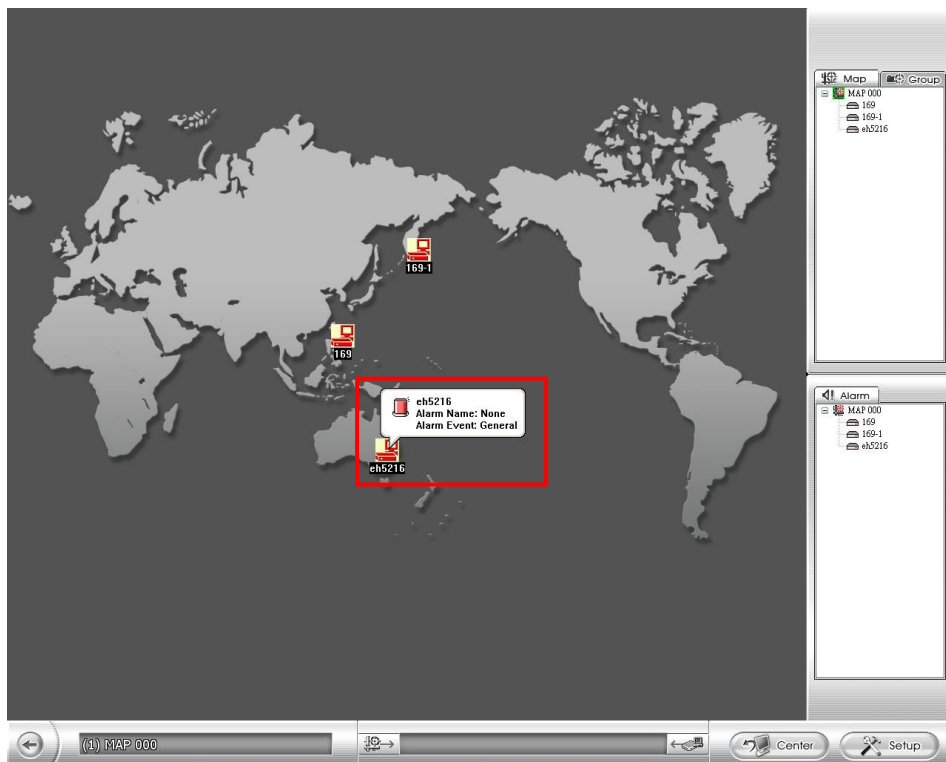
ショートカットメニューの機能を以下に一覧します。

- **Add DVR(DVR の追加)**: E-Map に DVR サーバーを追加します。
 - **Edit DVR(DVR の編集)**: DVR サーバーを編集します
 - **Delete DVR(DVR の削除)**: E-Map から選択した DVR サーバーを削除します。
 - **Change Bitmap(ビットマップの変更)**: E-Map を新しいマップに置き換えます。マップファイルは *.jpg と *.bmp のみをサポートします。
 - **Add New map(新規マップの追加)**: 現在の E-Map レベルに新規マップを追加します。
 - **Remote EMAP(リモート EMAP)**: 選択したリモート DVR サーバーの E-map を表示します。
 - **Remote I/O(リモート I/O)**: 選択したリモート DVR サーバーの I/O ステータスを表示します。
 - **Setup OK(セットアップ OK)**: 現在の構成を保存します。
-
-

4.6.1.3 E-マップを使用するには

アラームが起動されると、DVR アイコンが点滅し赤色に変わります。

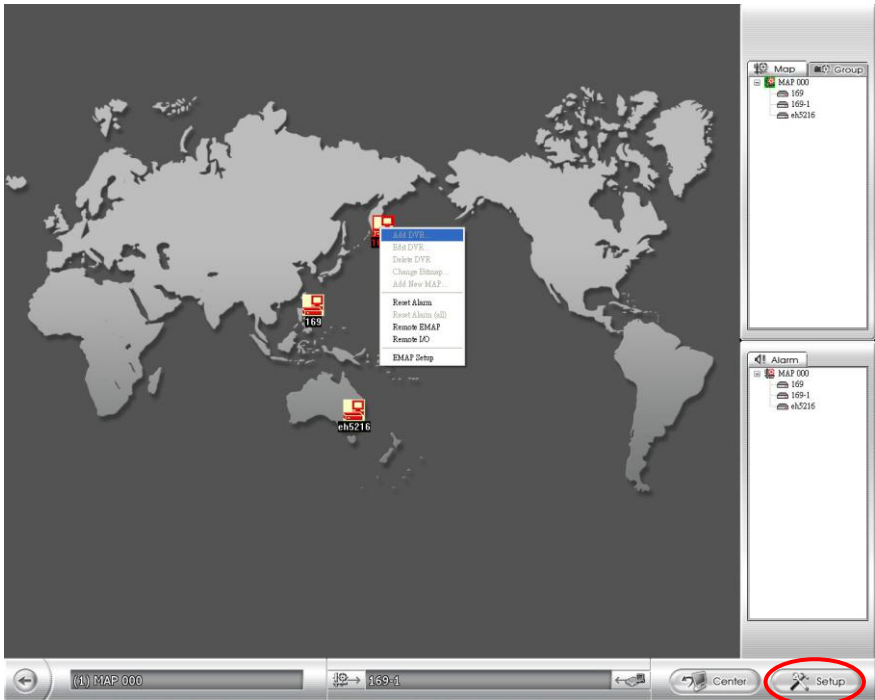
1. CMS メインアプリケーション上で、**E-map (E-マップ)** をクリックするか **F3** を押します。
2. DVR サーバーでアラームが発生した場合、マウスのカーソルを使用して DVR サーバーアイコンの上に置くと、アラーム情報が表示されます。



3. DVR サーバーアイコンをクリックすると、**DVR watch (DVR 表示)** ウィンドウが表示され、ライブビデオ表示のため DVR サーバーに接続します。
4. DVR 表示 UI では、PTZ カメラが利用可能な場合、PTZ コントロールパネルを表示させることができます。また、オーディオの有効/無効を設定することもできますが、オーディオの再生は一度に 1 チャンネルのみです。緑色のオーディオアイコンは、現在オーディオ再生中のチャンネルであることを示しています。



5. DVR サーバーアイコンの点滅を止めるには、右クリックして **Reset Alarm (アラームリセット)** または **Reset Alarm(all) (アラームリセット(すべて))** を選択します。DVR サーバーアイコンの点滅が止まります。
6. メインアプリケーションに戻る場合は、**エスケープ** を押します。



7. E-マップの設定は、**Setup** ボタンをクリックするか、マウスボタンを右クリックして **E-Map setup (E-マップ)**

ブ設定)を選択すれば、E-マップは設定モードに切り替わります。(第 4.6.1 章 も参照)



- デュアルモニタを使用する場合、E-マップの設定モードは E-マップウィンドウで起動します。また、E-マップの設定モードは CMS のメインスクリーンでは起動しません。
 - OK または **Cancel (キャンセル)** をクリックすると、E-マップインターフェースの設定モードを終了します。
-

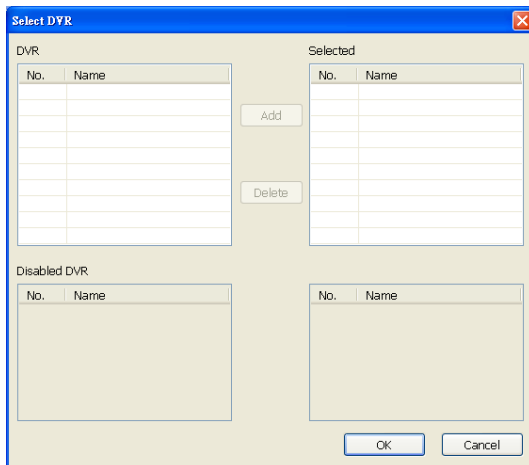
8. マップ上のマップアイコンをクリックすると、マップを見ることができます。マップはレベル毎に最大 64 枚まで追加することができます。(第 4.6.1.3 章 も参照)

4.7 アラームの設定

Alarm Setting (アラーム設定) ダイアログボックスで、アラームを起動させる条件とアラームが起動したときにシステムに実行させるアクションを選択します。アラームの設定条件として合計 16 通りの組み合わせの中から設定できます。各アラーム設定は、複数の DVR サーバーに適用させることができます。新しい設定を適用する場合は **OK** をクリックし、保存せずに終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

4.7.1 アラーム条件の設定

1. **Add (追加)** ボタンをクリックして、新しいアラーム条件追加します。
2. アラーム条件に名前を付けます。
3. **Description (説明)** 欄にアラーム条件の簡単な説明を記入します。
4. **Select DVR (DVR 選択)** をクリックして、DVR サーバーに適用させます。DVR 選択ウィンドウで DVR サーバーを選択し、**Add (追加)** をクリックします。**OK** をクリックして、設定を保存して終了します。



5. **Conditions (条件)** を選択します。
6. **Action (アクション)** を選択します。(第 4.6.2.1 章、第 4.6.2.2 章、第 4.6.2.3 章、第 4.6.2.4 章、第 4.6.2.5 章、第 4.6.2.6 章 を参照)

Alarm Setting

No. Name Description

Conditions

System

Connection loss

Connection success

Alarm

DVR Exit

Login DVR

DVR Video Loss

DVR Hard disk failed

General

Action

Make Phone Calls

Send E-Mail

Play Warning Sound

Launch program

SMS/MMS

Popup video

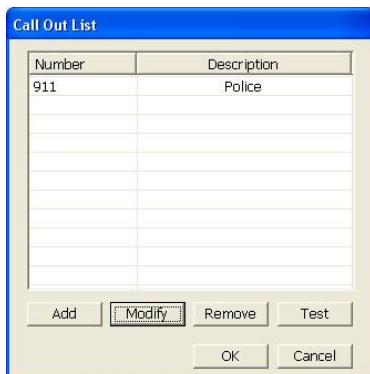
No.	Name	Description
1	Alarm1	

7. 設定を保存する場合は **OK** をクリックし、キャンセルする場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

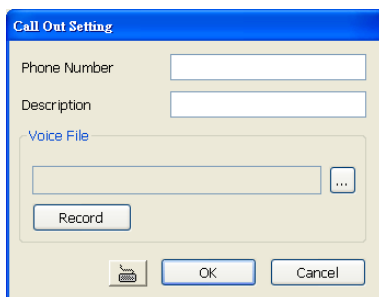
4.7.1.1 呼び出しリストの設定

この機能を使用するためには、パソコンに音声モデムが接続されている必要があります。8KHz 16ビットのモノラルのオーディオシステムにのみ対応しています。

1. 電話するのチェックボックス横の **Detail (詳細)** をクリックします。
2. Call Out List (呼び出しリスト) の Add (追加) をクリックして、新しい連絡先電話番号を入力します。編集する場合は、連絡先を選んでから Modify (修正) をクリックします。削除する場合は、連絡先を選んでから Remove (削除) をクリックします。動作確認する場合は、Test (テスト) をクリックします。



3. Call Out Setting (呼び出し設定) に、電話番号と説明を入力します。… ボタンをクリックして、既に録音されているサウンドを選びます。また、Record (録音) をクリックすると、新しい音声メッセージを作成することができます。



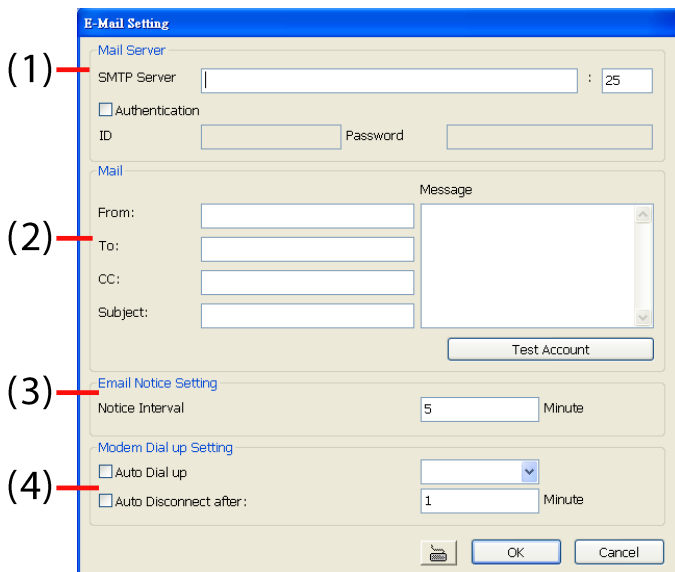
4. サウンドレコーダが表示されたら、録音コントロールパネルで録音、停止、再生、巻き戻し、早送りが使用できます。既存のファイルを保存するには、**ファイル > 名前を付けて保存** をクリックし、ファイル名を入力して Save (保存) をクリックします。コンピューターにマイクロホンが接続されていることを確認してください。
5. 設定を適用して終了する場合は OK をクリックし、設定を保存せずに終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。



電話機能を使用する場合、Windows OS のコントロールパネルのモデムのプロパティで、“wait for dial tone before dialing” (発信音を待ってからダイヤルする) が選択されていないことを確認してください。

4.7.1.2 Eメール送信の設定

Send Email (Eメール送信) のチェックボックスの横にある Detail (詳細) をクリックします。E-mail Setting (Eメール設定) のダイアログボックスで OK をクリックすると設定が保存されて作業が終了し、Cancel (キャンセル) をクリックすると設定が保存せずに終了します。



(1)Mail Server (メールサーバー)

SMTP サーバーとポートを入力します。EメールシステムがユーザーIDを必要とする場合、**Authentication (承認)** チェックボックスを有効にして、ユーザーIDとパスワードを入力します。

(2)Mail (メール)

動作を確認するには、Test Account (テストアカウント) ボタンをクリックします。

From (送信元): 送信者の E メールアドレスを入力します。

To and CC (宛先とコピー送付先): 受信者の E メールアドレスを入力します。複数の場合は、カンマまたはセミコロン(;)で区切ります。

Subject (件名): メッセージの件名を入力します。

Message (メッセージ): メッセージの内容を入力します。

(3)Email Notice Setting (Eメール通知設定)

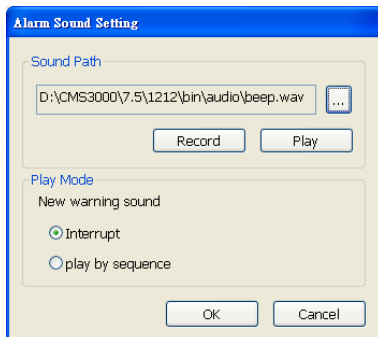
Notice Interval (通知間隔) のテキストボックスに、別の Eメール通知を送信するまでの時間間隔を設定します。

(4)Modem Dial up Setting (モデムダイアルアップ設定)

ダイアルアップモデムを使用している場合、Auto Dial up (自動ダイアルアップ) のチェックボックスにチェックを入れて、モデム名を選択しておきます。また、Auto Disconnect after (後で自動接続解除) のチェックボックスにチェックを入れ、時間を設定すると、自動的に設定した時間で接続を解除できます。

4.7.1.3 アラーム音の設定

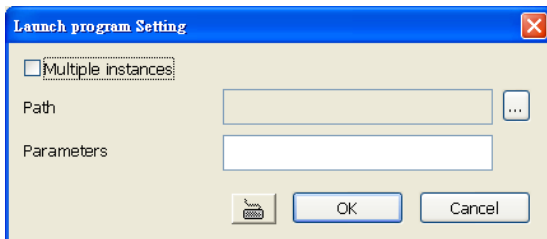
1. Play Warning Sound (警告音再生) のチェックボックスの横にある **Detail (詳細)** をクリックします。



2. Alarm Sound Setting (アラーム音設定) のダイアログボックスで、**...** をクリックして、他のソースまたはフォルダから wav ファイルを選択します。**Play (再生)** で聞くことができ、**Record (録音)** でその音の新しいコピーを作成することができます。
3. **Play Mode (再生モード)** を選択します。
 - ✓ **Interrupt (割り込み):** 新しいアラーム警告を受信したときに、すぐに新しい警告音を再生します。
 - ✓ **Play by sequence (順に再生):** 新しいアラーム警告を受信したときに、再生中のアラーム警告が終了してから新しい警告音を再生します。
4. **Record (録音)** をクリックすると、ファイルを入れ替えるかどうかを聞かれます。継続するには **OK** をクリックし、終了するには **Cancel (キャンセル)** をクリックします。
5. サウンドレコーダが表示されたら、録音コントロールパネルで録音、停止、再生、巻き戻し、早送りができます。既存のファイルを保存するには、**ファイル>名前を付けて保存** をクリックし、ファイル名を記入して **Save (保存)** をクリックします。コンピューターにマイクロホンが接続されていることを確認してください。
6. **OK** をクリックすると設定が保存されて作業が終了し、**Cancel (キャンセル)** をクリックすると設定を保存せずに終了します。

4.7.1.4 プログラムの起動

サードパーティーが提供する外部プログラムを呼び出すには、Detail (詳細) をクリックし、**...** をクリックしてプログラムパスを指定します。外部アプリケーションが繰り返し実行するようにプログラムされている場合、**Multiple instance (複数例)** のチェックボックスにチェックを入れます。



4.7.1.5 MMS/SMS の設定

この機能を使用するには、GSM/GPRS モデムが必要です。GSM/GPRS モデムをコンピュータのシリアル COM ポートに接続してください。SMS/MMS のチェックボックスの横にある **Detail (詳細)** をクリックします。

1. **ComPort (COM ポート)** のドロップダウンリストで、GSM/GPRS モデムを接続するポート番号を選択します。
2. **Enter Pincode (ピンコード入力)** のボタンをクリックすると、携帯電話のシステムが SMS/MMS 送信でピンコード確認を要求する場合に対応して、携帯電話のピンコードを入力しておくことができます。



ピンコードが間違っている場合、携帯電話がロックされてしまうことがあります。

3. **Phone Num (電話番号)** のテキストボックスに、連絡先の電話番号を入力します。
4. これで SMS と MMS で送信できるように設定されました。**SMS setting (SMS 設定)** を有効にした場合、**Message Text (メッセージ文)** のテキストボックスにメッセージを入力するだけです。SMS が正しく設定されているか確認するには、**SMS Test (SMS テスト)** をクリックします。
5. MMS を有効に設定した場合、ログインアカウント、パスワード、APN 名、WAP IP、MMS アドレス、MMS メッセージの件名と本文を入力します。以前の MMS 設定内容を **Import (インポート)** することができ、また、現在の MMS 設定内容を **Export (エクスポート)** することができます。ご不明な点がある場合は、

携帯電話サービスプロバイダーにお問い合わせください。**MMS Test (MMS テスト)**をクリックすると、正しく設定されているか確認することができます。

6. **OK**をクリックすると新しい設定が適用され、**Cancel (キャンセル)**をクリックすると設定を保存せずに終了します。

4.7.1.6 ポップアップビデオ

ポップアップビデオは、**Receive Alarm (アラーム受信)**のアラーム条件と連動しています。アラーム受信の条件を選択すると、ポップアップビデオのアクションが灰色表示ではなくなり、選択できるようになります。ポップアップビデオは、一度に4つのウィンドウで表示することができます。ポップアップビデオの設定については、[To Setup Popup Video](#) (ポップアップビデオ設定方法)を参照してください。



ポップアップビデオのウィンドウの右上隅に、ポップアップビデオのウィンドウを固定させる機能と MiniCenter 機能を表示させるための2つのアイコンが表示されます。



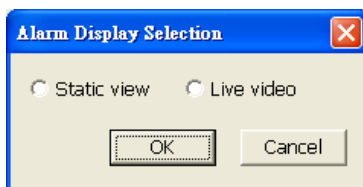
- (a) DVR 表示ウィンドウを呼び出します。DVR 表示ウィンドウは、DVR のすべてのチャンネルのビデオ画像を表示します。



- (b) 新しいアラームの受信で画面が入れ替わらないように、ポップアップビデオのウィンドウを固定させます。
(c) MiniCenter を呼び出します。(第 3.3 章 も参照)

ポップアップビデオの設定方法:

1. アラーム設定ウィンドウで、ポップアップビデオの **Detail (詳細)** をクリックします。
2. ポップアップビデオのタイプを選択します。
 - **Static View (静止画像):** DVR サーバーは、CMS 側のビデオとポップアップのフレームのみ送信します。
 - **Live View (ライブビュー):** DVR サーバーは、ポップアップビデオのウィンドウが開いている間、CMS 側へビデオ画像を送信し続けます。
3. ポップアップビデオのウィンドウを閉じるには、ウィンドウの “X” をクリックするだけです。



4.8 ユーザー設定

CMS ではオペレータと管理者アカウントを含め、256 のユーザーアカウントに対応します。

1. 認証レベルを選択します。 - **Operator (オペレータ)** または **Administrator (管理者)**。DVR サーバーとモニタセットに対するオペレータと管理者のアカウント権限を各アカウントごとに決めることができます。**管理者のみが CMS システムの終了とカスタム化の権限を与えられています。**
2. アカウントの **Name (名前)**、**Description (説明)**、**Password (パスワード)**、**Confirm password (確認用パスワード)** を入力します。
3. アカウントユーザーによるプレビュー操作と再生操作を許可する DVR サーバーを選択します。チェックマークが付いた DVR サーバーは選択されたことを意味します。
4. アカウントユーザーによるビュー操作を許可するモニタセットを選択します。チェックマークが付いたモニタセットは選択されたことを意味します。
5. オペレーターユーザーに対して有効期限を設定することができます。オペレーターアカウントに対する有効期限を設定するには、**Being Date (開始日)** と **End Date (終了日)** を選択します。**アカウントは、有効期限内でのみ有効です。**
6. 新しい設定を適用する場合は **OK** をクリックし、保存せずに終了する場合は **Cancel (キャンセル)** をクリックします。

User Setting

Authorization Level

Operator Administrator

Name Password

Description Confirm Password

Allowed DVR View For This User

NO.	DVR Name	Watch This DVR
1	EXR	v
2	nv	v
3	nv5k-43c	v
4	183	v
5	aa8	v

Allowed Monitor View For This User

NO.	Monitor Name	Watch This Monitor
1	Monitor 1	v
2	Monitor 2	v
3	Monitor 3	v
4	Monitor 4	v
5	Monitor 5	v
6	Monitor 6	v
7	Monitor 7	v


Enable Valid Date Configuration

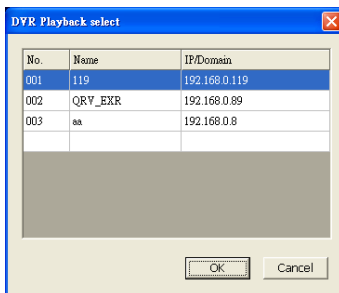
Begin Date End Date

第5章 再生機能を使用するには

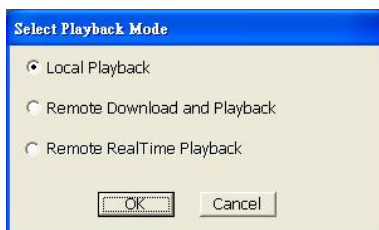
ローカルハードディスクに保存されているビデオを再生するか、または遠隔地にある DVR サーバーのビデオをダウンロードして再生するかを選ぶことができます。

5.1 ビデオの再生

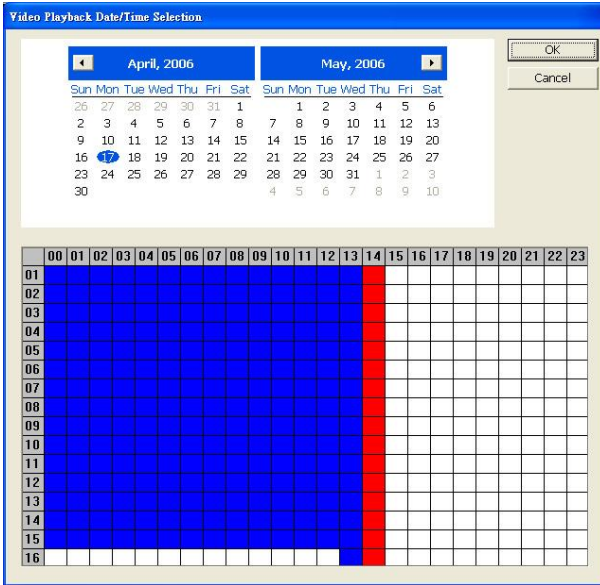
1.  をクリックします。
2. **DVR Playback select (DVR 再生選択)** ウィンドウで、リモート DVR サーバーのビデオを再生するため、DVR サーバーを選択します。



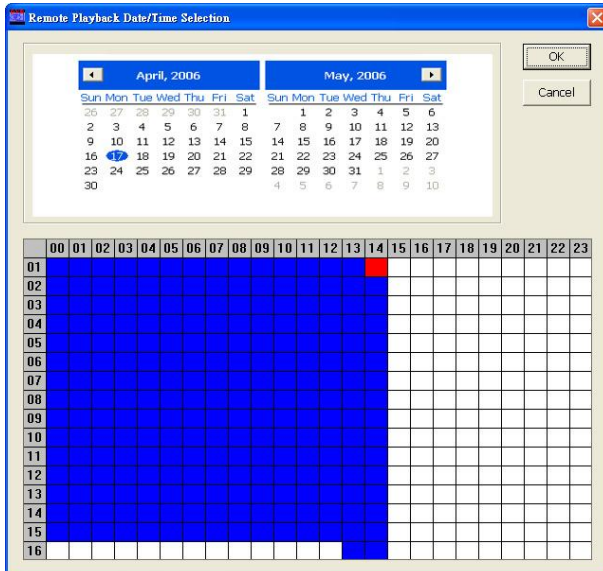
3. ローカル再生、ダウンロードして再生、リアルタイム再生から選択することができます。操作を進めるには **OK** をクリックし、操作を中止するには **Cancel (キャンセル)** をクリックします。



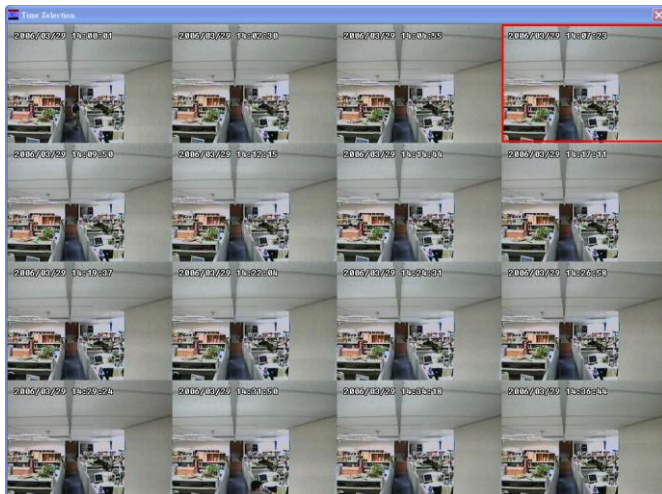
4. ローカル再生では、一度に 16 チャンネルのプレビューを選択することができます。**Monitor (モニタ)** の中で以前に選択されたカメラで、しかも **Record (録画)** のボタンが有効/録画に設定されている場合のみ、録画することができます。Video Playback Date/Time Selection (ビデオ再生の日付/時刻の選択) ウィンドウで、00 から 23 までの数字は 24 時間表示の時計の時刻を表しています。01 から 16 までの数字はカメラ番号を表しています。青色のブロックは、その時間帯の録画済みビデオファイルが存在していることを示しています。赤色のバーのある時間帯は、録画済みビデオが表示のため選択されていることを示しています。(第 5.2 章 [ローカル再生アプリケーションを使用するには](#) も参照)



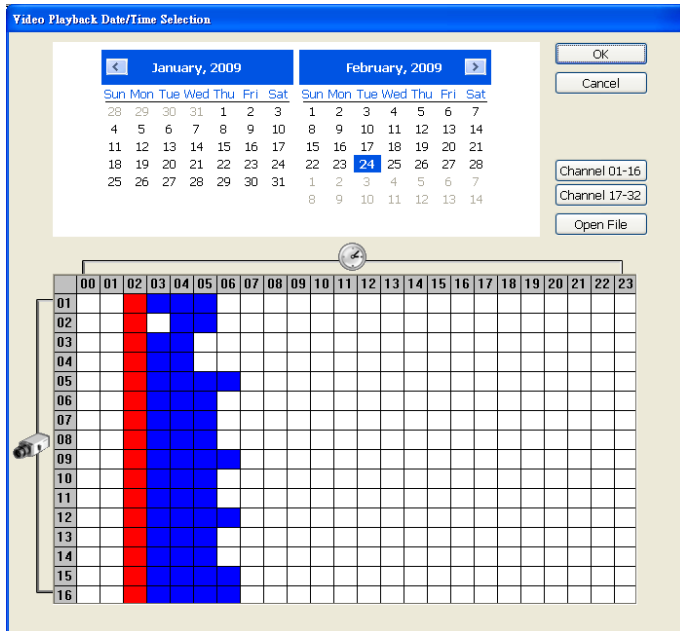
5. ダウンロードして再生では、Video Playback Date/Time Selection (ビデオ再生の日付/時刻の選択) ウィンドウで、00 から 23 までの数字は 24 時間表示の時計の時刻を表しています。01 から 16 までの数字はカメラ番号を表しています。青色のブロックは、その時間帯の録画済みビデオファイルが存在していることを示しています。赤色のブロックのある時間帯は、録画済みビデオが表示のため選択されていることを示しています。



6. Time Selection (時間選択) の画面では、ダウンロードして開きたいビデオサムネールをクリックします(第 5.3 章 [ダウンロードと再生アプリケーションを使用するには](#) も参照)。



7. リアルタイム再生では、Video Playback Date/Time Selection (ビデオ再生の日付/時刻の選択) ウィンドウで、00 から 23 までの数字は 24 時間表示の時計の時刻を表しています。01 から 16 までの数字はカメラ番号を表しています。(第 5.4 章 [リアルタイム再生アプリケーションを使用するには](#) も参照)



5.2 ローカル再生アプリケーションを使用するには



名称	機能
----	----

- (1) 分割画面モード すべてのカメラを表示することができる6種類の分割画面から選択します。または、1つのカメラ画面の上に別の画面を重ねたり、1つの画面上に横に並べることができます。



- カメラが4台しか接続されていない場合、9、16、13の分割画面モードに切り替えることはできません。
- 画面上の一部分を拡大するには、拡大したい部分の四隅を右クリックしドラッグしてください。
- 32のチャンネルを見るには、16チャンネルの画像を表示する16分割画面モードボタンをクリックします。現在表示されている画面が何チャンネルか知るには、カメラIDアイコンをチェックします。

(2) 終了	プレーヤを閉じます。
(3) 進行バー	再生中のビデオの進行状況を表示します。バーを動かすことによって、トラック内の任意の位置に移動することができます。
(4) 時間ボタン	選択してクリックすると、特定の時間帯に録画済みビデオファイルを再生することができます。
(5) 再生コントロールボタン	<p>頭出し: 録画済みビデオファイルの最初に移動します。</p> <p>以前: 以前のフレームに戻ります。</p> <p>スロー: 録画済みビデオファイルの再生速度を1/2、1/4、1/8に遅めます。</p> <p>巻き戻し: 録画済みビデオファイルを巻き戻します。</p> <p>一時停止: 録画済みビデオファイルの再生を一時停止します。</p> <p>再生: 録画済みビデオファイルを再生します。</p> <p>早送り: 録画済みビデオファイルの再生速度を2倍、4倍、8倍、16倍、32倍に速めます。</p> <p>次: 次のフレームに進みます。</p> <p>エンドサーチ: 録画済みビデオファイルの最後に進みます。</p>

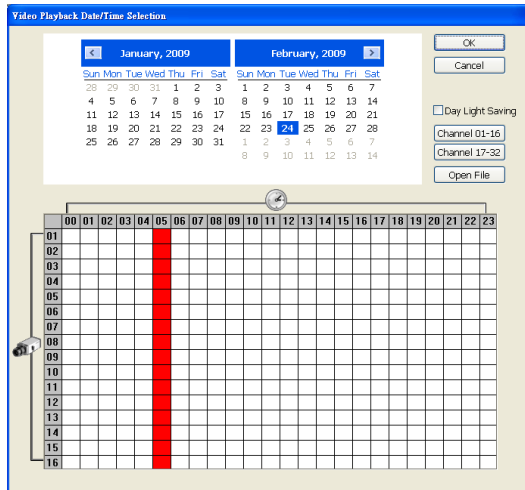
名称

機能

(6) 日付

録画済みビデオファイルの再生を開始する日付や時刻を、カレンダーおよび 00 時～23 時から選択します。

- 録画された動画の読みだすことも出来ます。OPEN FILE(ファイルを開く)ボタンをクリックして特定の場所から動画ファイルを選んでください。
- Channel 01～16(チャンネル 01～16)と Channel 17～32(チャンネル 17～32)ボタンをクリックして、再生カレンダーの異なるチャンネルグループに切り替えます。
- Day Light Saving(サマータイム)を選択すると、再生カレンダーにサマータイム期間に録画のあるデータが表示されます。



00 から 23 までの数字は、24 時間表示の時計の時間を表わしています。01 から 16 までの数字はカメラ ID を表わしています。青色のカラムは、その時間内にビデオが録画されていることを表しています。赤色のカラムは、録画済みビデオファイルの再生を始める場所を示しています。

(7) ステータスバー

録画した日付、時間、再生速度を表示します。

(8) カメラ ID

現在表示されているカメラ番号を示します。単一画面モードの場合、カメラ ID 番号をクリックすると別のカメラに切り替わります。

(9) エクスポート

エクスポートには、スナップショット、印刷およびビデオクリップの出力機能が含まれます。

- **Snapshot(スナップショット)**: *.jpg または *.bmp 形式で画面ショットをキャプチャし、保存します。
- **Print(印刷)**: 画面ショットを印刷します。
- **Output Video Clip(ビデオクリップの出力)**: *.mpg、*.avi、または *.dvr 形式で分割したファイルを保存します(第 5.5 章も参照)。

(10) セグメント

録画済みビデオの必要な部分を保存します。(第 5.5 章も参照)

(11) フルスクリーン

再生コンパクトモードで表示されます。マウスの右クリックか、キーボードのエスケープを押すと元の画面に戻ります。

複数画面のモードからフルスクリーンに切り替える場合、左クリックで複数画面またはすべてのビデオの中から1つだけ表示させることができます。

(12) ブックマーク

録画したビデオを再生した状態で、後にまた参照したい場所をブックマークに登録

名称	機能
	することができます。そのファイルの保護設定も出来ます。(第 5.6 章も参照)
(13) ビジュアルサーチ	特定のカメラで、日付、時刻、分、10 秒、秒で検索します。(第 5.7 章も参照)
(14) 次を検索	次のイベントまたはモーション検出によるフレームの変更を検索します。この機能は、インテリジェントサーチ機能またはイベントサーチ検索機能を使用しているときのみ利用できます。
(15) イベントサーチ	システムで記録されたアクティビティ(センサー、モーション、ビデオ消失、POS)を検索します。(第 5.8 章も参照)
(16) インテリジェントサーチ	モーション検出によるフレームの変更を検索します。(第 5.9 章も参照)
(17) オーディオ	オーディオを有効/無効及び音量の調整ができます。
(18) インターレース除去	ビデオ画質を向上させます。静止ピクチャをキャプチャしている場合は、インターレース除去モードを#1 に、動きの多いピクチャをキャプチャしている場合は、#2 に設定します。

5.3 ダウンロードと再生アプリケーションを使用するには

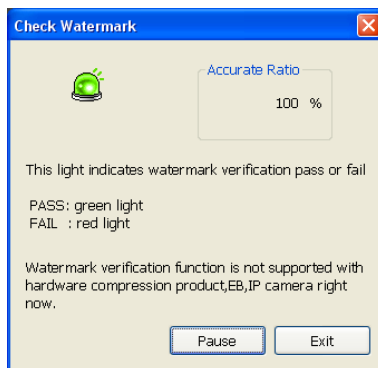


名称	機能
(1) 終了	プレイヤーを閉じます。
(2) 進行バー	再生中のビデオの進行状況を表示します。バーを動かすことによって、トラックの任意の位置に移動することができます。
(3) 再生コントロールボタン	<p>頭出し: 録画済みビデオファイルの最初に移動します。</p> <p>以前: 以前のフレームに戻ります。</p> <p>スロー: 録画済みビデオファイルの再生速度を 1/2、1/4、1/8 に遅めます。</p> <p>巻き戻し: 録画済みビデオファイルを巻き戻します。</p> <p>一時停止: 録画済みビデオファイルの再生を一時停止します。</p> <p>再生: 録画済みビデオファイルを再生します。</p> <p>早送り: 録画済みビデオファイルの再生速度を 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍に速めます。</p> <p>次: 次のフレームに進みます。</p> <p>エンドサーチ: 録画済みビデオファイルの最後に進みます。</p>
(4) 言語	表示言語の切替
(5) エクスポート	<p>エクスポートには、スナップショット、印刷、ビデオクリップ出力、バックアップなどの機能を含みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ スナップショット: スクリーン画像をキャプチャして、*.jpg または *.bmp 形式で保存します。 ■ 印刷: スクリーンの画面コピーを印刷します。 ■ ビデオクリップ出力: セグメントファイルを *.mpg、*.avi、*.dvr 形式で保存します。(第 5.5 章も参照)
(6) セグメント	録画済みビデオの必要な部分を保存します。(第 5.5 章も参照)
(7) フルスクリーン	再生コンパクトモードで表示されます。マウスの右クリックか、キーボードの Esc キーを押すと、元の画面に戻ります。複数画面のモードからフルスクリーンに切り替える場合、 左 クリックで複数画面

名称	機能
	またはすべてのビデオの中から1つだけ表示させることができます。
(8) ビジュアル サーチ	特定のカメラで、日付、時刻、分、10秒、秒で検索します。(第5.7章も参照)
(9) 次を検索	次のイベントまたはモーション検出によるフレームの変更を検索します。この機能は、インテリジェントサーチ機能またはイベントサーチ検索機能を使用しているときに利用できます。
(10) イベント サーチ	システムで記録されたアクティビティ(センサー、モーション、ビデオ消失、POS)を検索します。(第5.8章も参照)
(11) インテリジェントサーチ	モーション検出によるフレームの変更を検索します。(第5.9章も参照)
(12) オーディオ	音声再生の有効・無効及び音量の調整
(13) インターレース除去	ビデオ画質を向上させます。静止ピクチャをキャプチャしている場合は、インターレース除去モードを#1に、動きの多いピクチャをキャプチャしている場合は、#2に設定します。
(14) ウォーターマーク	再生ビデオが変更されていないことを確認します。



をクリックしてビデオをチェックします。ウォーターマーク確認ウィンドウが次のように表示されます。



ウォーターマーク確認は EB シリーズ DVR と、IP カメラから録画されたビデオではサポートされません。

5.4 リアルタイム再生アプリケーションを使用するには



名称	機能
----	----

- | | |
|-------------|--|
| (1) 分割画面モード | すべてのカメラを表示することができる6種類の分割画面から選択できます。または、1つのカメラ画面の上に別の画面を重ねたり、1つの画面上に横に並べることができます。 |
|-------------|--|




- カメラが4台しか接続されていない場合、9、16、13の分割画面モードに切り替えることはできません。
- 画面上の一部分を拡大するには、拡大したい部分の四隅を右クリックしドラッグしてください。

- | | |
|-----------|---|
| (2) 終了 | プレーヤを閉じます。 |
| (3) 進行バー | 再生中のビデオの進行状況を表示します。バーを動かすことによって、トラックの任意の位置に移動することができます。 |
| (4) 時間ボタン | 選択してクリックすると、特定の時間帯に録画済みビデオファイルを再生します。 |



- 時間ボタンは24時間表示の時計の時間を表わしています。青色のバーは、その時間内にビデオが録画されていることを表しています。赤色のバーは、録画済みビデオファイルの再生を始める場所を示しています。

- | | |
|-----------------|--|
| (5) 再生コントロールボタン | <p>頭出し: 録画済みビデオファイルの最初に移動します。</p> <p>以前: 以前のフレームに戻ります。</p> <p>スロー: 録画済みビデオファイルの再生速度を 1/2、1/4、1/8 に遅めます。</p> <p>巻き戻し: 録画済みビデオファイルを巻き戻します。</p> <p>一時停止: 録画済みビデオファイルの再生を一時停止します。</p> <p>再生: 録画済みビデオファイルを再生します。</p> <p>早送り: 録画済みビデオファイルの再生速度を2倍、4倍、8倍、16倍、32倍に速めます。</p> |
|-----------------|--|

名称	機能
(5) 再生コントロールボタン	次: 次のフレームに進みます。 エンドサーチ: 録画済みビデオファイルの最後に進みます。
(6) 日付	録画済みビデオファイルの再生を開始する日付や時刻を、カレンダーおよび 00 時～23 時から選択します。
 00 から 23 までの数字は、24 時間表示の時計の時間を表わしています。01 から 16 までの数字は、カメラ ID を表わしています。青色のカラムは、その時間内にビデオが録画されていることを表わしています。赤色のカラムは、録画済みビデオファイルの再生を始める場所を示しています。	
(7) ステータスバー	録画した日付、時間、再生速度を表示します。
(8) カメラ ID	現在表示されているカメラ番号を示します。単一画面モードの場合、カメラ ID 番号をクリックすると、別のカメラに切り替わります。
(9) エクスポート	スナップショット: スクリーン画像をキャプチャして、*.jpg または *.bmp 形式で保存します。
(10) フルスクリーン	再生コンパクトモードで表示されます。マウスの右クリックか、キーボードの エスケープ を押すと元の画面に戻ります。 複数画面のモードからフルスクリーンに切り替える場合、 左 クリックで複数画面またはすべてのビデオの中から1つだけ表示させることができます。
(11) イベントログ	システムの活動記録を表示します。Event(イベント)、System(システム)、Operation(操作)、Network(ネットワーク)、POS などの絞り検索ができます。
(12) 次を検索	次のイベントまたは次のモーション検出点に飛びます。この機能は、インテリジェントサーチ機能またはイベントサーチ検索機能を使用しているときに利用できません。
(13) イベント サーチ	システムで記録されたアクティビティ(センサー、モーション、ビデオ消失、POS)を検索します。(第 5.9 章も参照)
(14) オーディオ	オーディオを有効/無効、及び音量の調整ができます。
(15) インターレース除去	ビデオ画質を向上させます。静止ピクチャをキャプチャしている場合は、インターレース除去モードを#1 に、動きの多いピクチャをキャプチャしている場合は、#2 に設定します。

5.5 録画済みビデオで希望の部分を切り取って保存

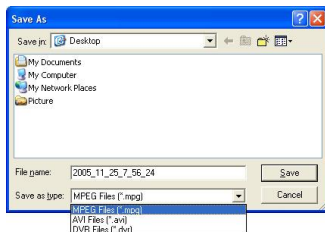
1. Playback Control (再生コントロール) ボタンを使用するか、切り取りを開始したい場所で一時停止させます。次に、**セグメント**をクリックして、開始マークを設定します。



2. Playback Control (再生コントロール) ボタンを使用するか、再生進行バーの上にバーをドラッグして、切り取りを終了したい場所で一時停止させます。次に、**セグメント**をクリックして、終了マークを設定します。分割をキャンセルする場合や分割を最初からやり直したい場合には、もう一度**セグメント**ボタンをクリックします。

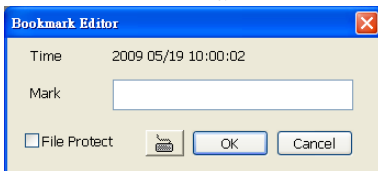


3. 出力ボタンをクリックすると、必要な部分が保存されます。
4. Save As (名前を付けて保存) ダイアログボックスでファイルを保存したいフォルダを指定し、ファイル名を入力し、ビデオフォーマットを選択します。



5.6 ビデオの部分をブックマークするには

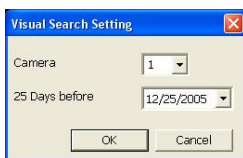
1. Bookmark (ブックマーク) をクリックします。ブックマークボタンを押すと、ビデオの再生は停止します。
2. Bookmark (ブックマーク) ダイアログボックスで、以下の操作ができます。
 - **Add (追加)** は、ブックマークリストに新しい参照マークを含めます。File Protect (ファイル保護) を有効/無効にして、ブックマークファイルが上書きされないように保護することができます。





-
- i**
- ブックマークが保護されているとき、ファイルは上書きされません。
 - **Delete the recorded data (録画したデータを削除)** が **Backup setting (バックアップ設定)** で有効になっている場合、保護されたブックマークは削除されます (第 4.5 章も参照)。
-
- **Edit (編集)** はマークの説明を変更したり、ファイル保護を有効/無効にします。
 - **Delete (削除)** はリストの選択した参照マークを削除します。
 - **Delete All (すべて削除)** はリストにある全ての参照マークを削除します。
 - **Exit (終了)** は Bookmark (ブックマーク) ダイアログボックスを閉じます。
3. ブックマークリストのどれか 1 つを選択してクリックし、ファイルをプレビューします。

5.7 ビジュアルサーチを使用して検索

1. **Visual Search (ビジュアルサーチ)** をクリックします。
2. Visual Search Setting (ビジュアルサーチ設定) のダイアログボックスで、カメラ番号と日付を選択し、**OK** をクリックします。

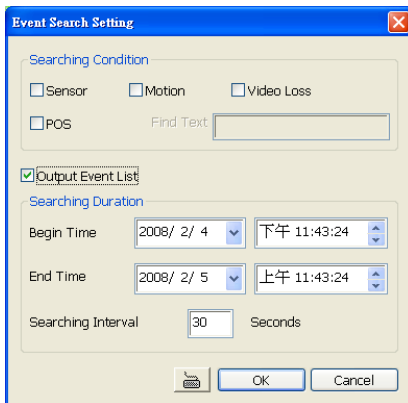



3. フレームが日付毎に順に表示されているときに、ある日のフレームをクリックすると、その日の1時間毎のフレームが表示されるようになります。さらに、その中のフレームをクリックすると、その時間の1分間毎のフレームが表示されるようになります。また、その中のフレームをクリックすると、10秒間毎のフレームが表示されるようになります。また、その中のフレームをクリックすると、1秒間毎のフレームが表示されるようになります。前に戻るには  をクリックします。選択したフレームから表示させたり、イベントサーチを終了するには  をクリックします。

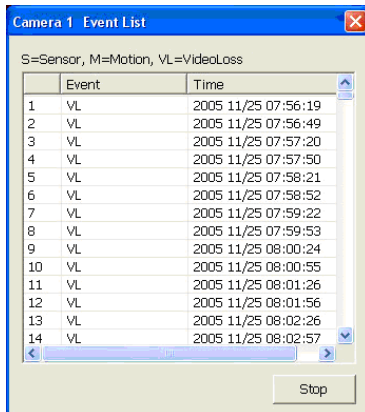


5.8 イベントサーチを使用して検索

1. ビデオ画面上で検索したい部分をクリックします。
2. **イベントサーチ**をクリックします。画面の左下に、**イベントサーチ**のテキスト(赤色)が表示されます。



3. **Event Search Setting (イベントサーチ設定)** ダイアログボックスで、検索したい条件タイプにチェックマークを入れます。POS を選択した場合、Find Text (テキスト検索) のボックスにワードを入力し、**OK** をクリックすると検索を開始します。条件に一致したフレームでビデオ検索が停止します。検索を継続するには、 をクリックします。
4. 検索を行って検索結果をリスト表示させることもできます。その場合は、**Output Event List (出力イベントリスト)** のボックスにチェックマークを入れます。Search Duration (検索期間)のセクションで、**Begin Time (開始時刻)**、**End Time (終了時刻)**、**Searching Interval (検索間隔)**を設定し、**OK** をクリックすると検索を開始します。
5. イベントリストが表示されたら、見たいアイテムをクリックして選択します。



5.9 インテリジェントサーチを使用して検索

1. ビデオ画面上で、検索したい部分をクリックします。
2. **Intelligent Search (インテリジェントサーチ)** をクリックします。画面の左下に **Intelligent Search (インテリジェントサーチ)** のテキスト(赤色)が表示されます。
3. インテリジェントサーチ設定のダイアログボックスとモーション検出器のフレームが表示されたら、感度バーとモーション検出器フレームサイズとその位置を調整することができます。モーション検出器フレームサイズとその位置を設定するには、左クリックして画面内へドラッグします。次に、**OK** をクリックすると検索を開始します。条件に一致したフレームでビデオ検索が停止します。検索を継続するには、**▶** をクリックします。
4. 検索を行って検索結果をリスト表示させることもできます。その場合は、**List (リスト)** ボックスにチェックマークを入れてください。検索期間セクションでは、**Begin Time (開始時刻)**、**End Time (終了時刻)**、**Searching Interval (検索間隔)** を設定して、**OK** をクリックすると検索を開始します。

